HITACHI
Inspire the Next

日立ハイビジョンHDD/DVDレコーダー

DV-DH400T
DV-DH250T

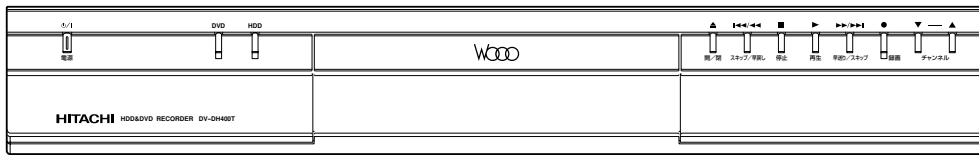
ハイ録 デジタルハイビジョンレコーダー Wooo［ウー！］

取扱説明書

接続・設定編

はじめにお読みください。
「接続・設定編」では、接続、受信チャンネル、各種機能の設定など、お使いになる前の準備について説明しています。
本機をもっと楽しむためには、別冊の取扱説明書 操作編 をご覧ください。

（イラストはDV-DH400Tです。）

PROGRESSIVE

●本機は業務用には対応していません。

※ Gコード（またはG-CODE）は、ジェムスター社の登録商標です。
※ Gコードシステムは、ジェムスター社のライセンスに基づいて生産しております。
※ TruSurround DIGITAL5.1CHは、SRS Labs, Inc.の商標です。
※ TruSurround DIGITAL5.1CH技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。

はじめに
接続する
操作を始める前に
チャンネルの設定
各種機能を設定する
外部機器の映像を見る
付録

こんなことができます

デジタル放送（地上・BS・110度CS）が見れる・録れる

デジタル放送を見る
（『操作編』⑳ページ）
高画質なハイビジョン放送を受信できます。

ハイビジョン映像を録画する
（『操作編』㊵ページ）
デジタル放送のハイビジョン映像を、画質の劣化なしにデジタルのままハードディスクに録画できます。

番組表（EPG）で探す
（『操作編』㉔ページ）
デジタル放送の見たい番組を簡単に探せます。

※地上アナログ放送の番組表には対応していません。

録画したい番組を手軽に予約する

番組表（EPG）予約
（『操作編』㊺ページ）
デジタル放送の番組表から録画したい番組を選ぶだけで、簡単にデジタル放送の番組を予約できます。

ミルカモ予約
（『操作編』㊻ページ）
連続ドラマなど、毎週同じ時間に放送される番組の予約に便利です。

Gコード®予約
（『操作編』㊼ページ）
新聞などに掲載されている最大8桁のGコード®予約番号を入力するだけで、簡単にタイマー予約できます。地上波アナログ放送の予約録画に便利です。

いろいろな種類のDVDディスクを使う

DVDマルチドライブ
（『操作編』⑫ページ）
DVD-RAM、-RW、-Rの3種類のディスクに録画できます。

録画中に再生する

追っかけ再生
（『操作編』㊾ページ）
録画中の番組を始めから再生します。

同時録画再生
（『操作編』㊾ページ）
録画中に別の番組を再生します。

録画した番組を編集する

番組内の不要な部分を削除する
（『操作編』86ページ）
番組内の不要な部分を削除することができます。

番組を2つに分ける
（『操作編』80ページ）
HDDに録画した長い番組を、DVDにダビングする場合に便利です。

お好みの場面を集める（プレイリスト）
（『操作編』88ページ）
録画した番組やお好みのシーンだけを集めたり、再生したい順番に並べ替えることができます。

ダビングする

高速ダビング
（『操作編』92ページ）
HDDにTSXモードで録画したハイビジョン番組をDVDに高速ダビングできます。

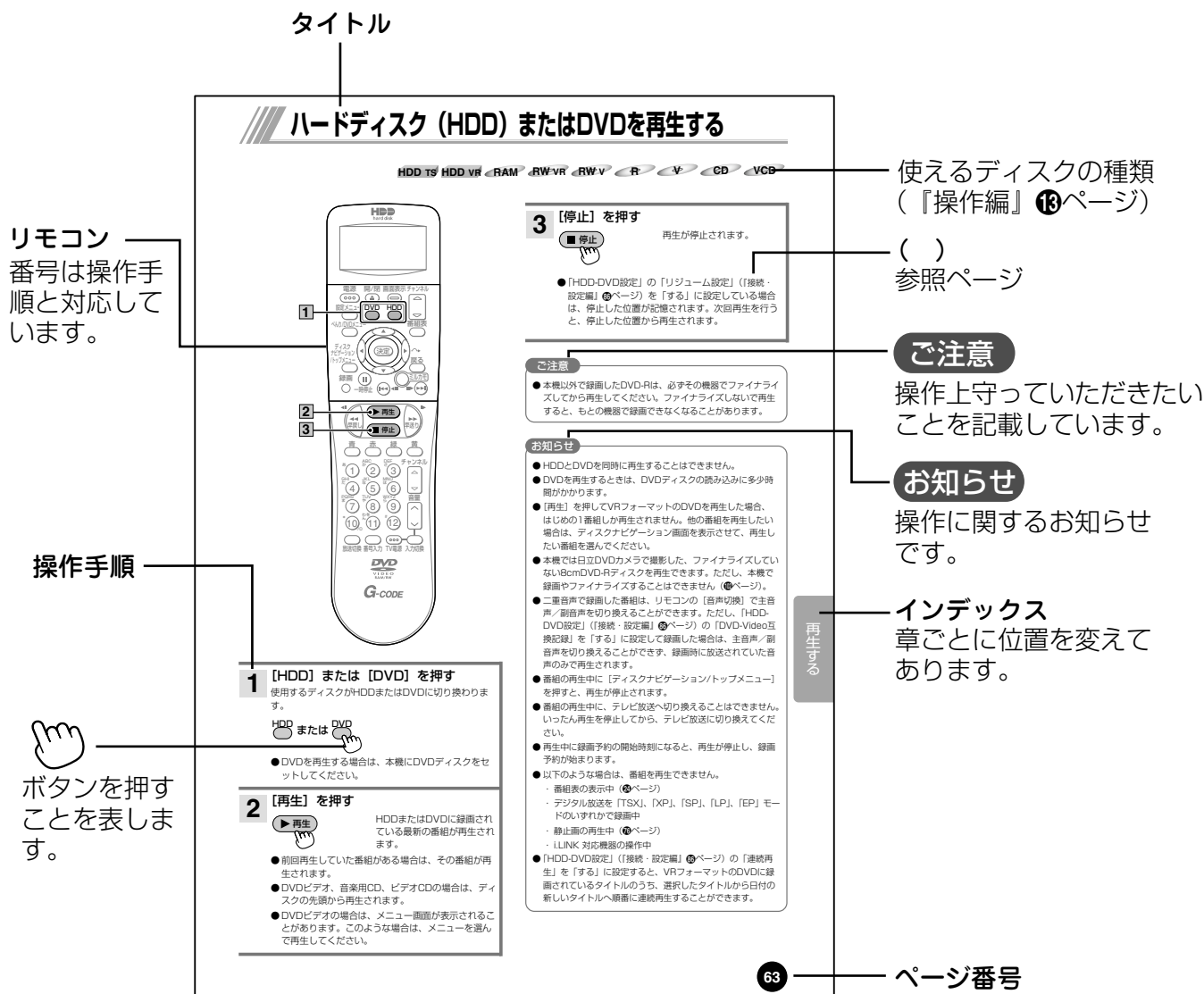
再生の便利な機能

ディスクナビゲーション
（『操作編』66ページ）
録画した番組を一覧リストで表示しますので、見たい番組が簡単に探せます。サムネイル表示にすると動画がプレビューされます。

1.5倍速再生
（『操作編』65ページ）
映像を早送りしながら、音声のトーンを変えずに早聞きできます。

マニュアルスキップ
（『操作編』65ページ）
再生中に30秒間とばして再生できます。

本書の見かた

この取扱説明書はほとんどが次のようになっています。よくお読みいただき、正しくお使いください。（ページによって配置などが異なる場合もありますが、基本的には同じ説明方法です。）

（上記のページは『操作編』63ページの例です。）

HDDについて
必ずお読みください

HDD(ハードディスク)の取扱いについてのお願い

本機に内蔵のハードディスク(以下HDD)は非常に精密な機器です。使用する環境や取扱いにより HDDの動作および寿命に影響を与える場合がありますので、次の内容を必ずお守りください。

■ HDDは一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。あくまでも一度見るまで、または編集やDVDディスクにダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

■ HDDに異常を感じた場合はすぐにダビングを

HDD内に不具合箇所があると、異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、最悪の場合、HDD全体が使えなくなってしまうおそれがあります。このような現象が確認された場合には、すみやかにDVDディスクにダビングし、修理をご依頼ください。
HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

■ 設置時

●後面の冷却用ファンや側面の通風孔をふさがないでください。
●水平で振動や衝撃が起こらない場所に設置してください。
●ごみやほこりの少ない場所に設置してください。
●「結露」(つゆつき)が発生しにくい場所に設置してください。「結露」は故障の原因になります。
「結露」とは、冷たいコップの表面に水滴がついたりする現象です。急な温度変化が起きた場合や、寒い所から暖かい場所へ移動して設置する場合は「結露」が起こりやすくなります。そのような場合は、室温に約2～3時間なじませてから電源を入れてください。
●温度や湿度が高くない場所、直射日光があたらない場所に設置してください。温度や湿度の高い場所に設置すると故障の原因になります。
●安定した動作を維持するため、長期間ご使用されない場合でも、一年に一回程度は通電していただくことをおすすめします。
●HDDは精密部品であり、5℃以下の低温では動作保証しかねます。冬季などの録画予約時には本機の周囲温度にご注意ください。

■ 動作中

●電源プラグを抜いたり、電源ブレーカを切らないでください。
●振動や衝撃を与えたり、本機を動かしたりしないでください。
●動かすときには・・・①本体前面の電源スイッチを「切」にしてください。
②電源プラグをコンセントから抜いてください。
③2分以上待ってから本機を動かしてください。

お知らせ

●本体前面のイルミネーションランプが点灯している間、HDDは高速で回転しています。起動時や回転中に発生する音や振動は故障ではありません。
●データ読み取りの状態により、再生画面にまれにノイズが発生することがありますが、これは故障ではありません。

■ 停電が発生した場合

●記録中や再生中に停電等で電源が供給されなくなった場合、HDDの録画内容が損なわれる可能性があります。

■ 故障時のお願い

●再生画面が一時停止したり乱れが頻繁に発生する場合は、HDDの故障が考えられます。このような場合はHDDの交換修理が必要です。
●HDDを交換修理する場合、HDDの録画内容を新しいHDDに移すことはできません。
●修理の際は、必ずお買い上げの販売店またはお客様ご相談窓口にお問い合わせください。
ご自分でHDDを交換修理することはできません。本機を分解されますと、保証が無効になります。

■ 録画内容の補償に関する免責事項

万一何らかの不具合により、録画や再生ができなかった場合HDDの内容（録画済みの番組データなど）の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理も含む）にも同様です。あらかじめご了承ください。

もくじ

はじめに

接続する

操作を始める前に

チャンネルの設定

各種機能を設定する

外部機器の映像を見る

付録

安全上のご注意

ご使用の前にまず「安全上のご注意」をお読みになってから、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。

絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が障害を負ったり物的損害を発生する可能性があります。

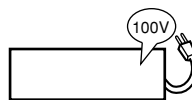
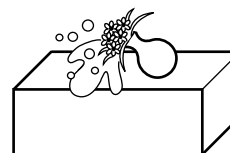
〈絵表示の例〉

△記号は警告（注意）を促すことです。（この例は「手を挟まれないよう注意」）

⃠記号は行為を禁止することです。（この例は「分解禁止」）

●記号は行為を強制することです。（この例はコンセントから必ず「電源プラグを抜く」）

⚠ 警告

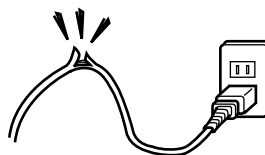
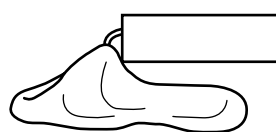
不安定な場所に置かない	● ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。		禁止
表示された電源電圧以外の電圧で使用しない	● 表示された交流100ボルト以外の電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。		禁止
水にぬらさない	● 水場では本機を使用しないでください。 ● 窓辺で使用するときは、本機をぬらさないようにご注意ください。火災・感電の原因となります。 ● 万一内部に水などが入った場合は、使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。		水ぬれ禁止 電源プラグをコンセントから抜く
風呂場では使用しない	● 風呂、シャワー室では使用しないでください。　火災・感電の原因となります。		風呂、シャワー室での使用禁止
水の入った容器をのせたり、小さな金属物を置かない	● 本機の上に、花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品、水などの入った容器、または小さな金属物を置かないでください。誤って本機の内部に入ると、火災・感電の原因となります。		禁止

⚠ 警告

電源プラグが不完全な接続のまま使わない！たこ足配線をしない！

- ショートや発熱により、火災や感電につながります。
- 最後までしっかりと正しく接続してください。

禁止

電源コードを傷つけない

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したり、引っ張ったりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを敷物などでおおわないでください。コードに気づかず、重い物をのせて電源コードを傷つけることがあるのでご注意ください。火災・感電の原因となります。

禁止

禁止

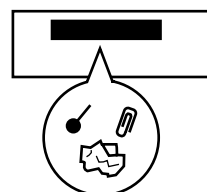
電源コードを加工しない

電源コードが傷んだら交換する

- 電源コードを加工したり、無理に曲げたりねじったり、引っ張ったりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードの芯線が露出したり、断線したときは、販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

内部に異物を入れない

- 本機の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 万一異物が本機の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

禁止

電源プラグを
コンセントから抜く

改造しない カバーを開けない

- 本機を改造すると火災・感電の原因となります。
- 本機の裏ぶた、カバーは外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

異常なときは使わない

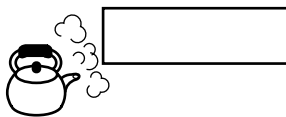
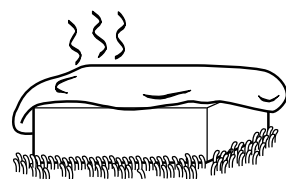
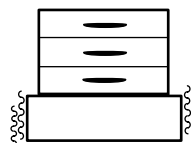
- 万一煙が出ている、へんな臭いがするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。

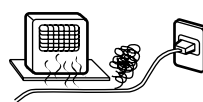
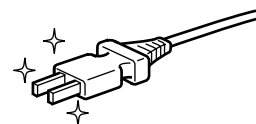
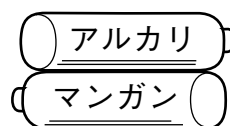
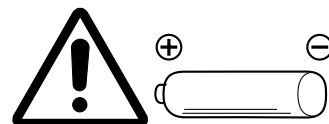
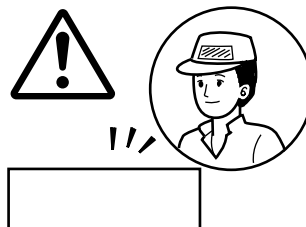
電源プラグを
コンセントから抜く

⚠ 警告

雷が鳴るときはアンテナ線、機器、電源プラグには触れない	●雷が鳴り出したら、アンテナ線、機器、電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。	

⚠ 注意

油煙や湯気が当たる場所に置かない	●火災・感電の原因となることがあります。	
湿気やほこりの多い場所に置かない	●調理台や加湿器のそばに置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。	
移動させるときは注意を！	●移動させるときは、取出しボタンを押して必ずディスクを取り出し、テレビなどとの接続線をはずしたことを確認のうえ、下記を行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ① 本体の電源を切る ② 電源プラグをコンセントから抜く ③ 2分以上待ってから本機を動かす	
直射日光が当たる場所や熱器具の近くに置かない	●キャビネットが変形したり、部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	
通風孔をふさがない	●本機の通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。 また、内部に熱がこもった状態で本機に触れると、火傷の原因となることがあります。 本箱や押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込んだり、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置いたりしないでください。	
本機の上に乗らない	●倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。	
本機の上に重い物を置かない	●本機の上に重い物やテレビなどを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。	

⚠注意

電源コードを熱器具に近づけない	●コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
電源プラグを持ってコンセントから抜く	●電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。	禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない	●感電する原因となることがあります。	ぬれ手禁止
電源プラグのゴミやホコリにご注意！	●電源プラグにゴミやホコリが付着したまま使用すると発熱・火災の原因となります。電源プラグの刃やその周辺は、乾いた布で拭きいつもきれいにしておいてください。	
お手入れするときは	●安全のため電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。	電源プラグをコンセントから抜く
本機で指定されていない乾電池は使わない	●指定されていない乾電池を使ったり、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂、液漏れにより、火災・けがの原因となることがあります。	禁止
乾電池は本機の指示どおり正しく入れる	●極性表示（プラス⊕とマイナス⊖の向き）に注意してください。まちがえますと乾電池の破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	
内部の掃除について	●5年に1度くらいは、内部の掃除を販売店にご相談ください。本機の内部にほこりがたまったまま、長いあいだ掃除しないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除費用については、販売店にご相談ください。	
ディスクトレイに指を挟まれないように注意する	●トレイが閉まるときにはさまれて、けがの原因となることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。	手を挟まれないよう注意

使用上のご注意

お手入れについて	●化学ぞうきんを使用するときは、その注意書に従ってください。 ●キャビネットや操作パネル部分の汚れは、軟らかい布で軽くふきとってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。 ●キャビネットをベンジンやシンナーでふかないでください。塗装がはげたり変質することがあります。 ●キャビネットに殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。塗装がはげることがあります。
本機の機能動作について	●誤動作および故障などにより、本機が正しく動作しないことがあります。これによる付随的損害（機会損失による補償など）は、当社は一切の責を負いませんので、あらかじめご容赦ください。
ガラスドア付きラックに入れたとき	●ガラスドアを閉めたままリモコンの開／閉ボタンを押して、ディスクを取り出さないでください。強い力で動きが妨げられると、故障の原因になります。
ディスク挿入時は本機を絶対に動かさない	●ディスクが高速回転しているので、本機を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
熱を受けないようにする	●アンプなど、熱を発生する機器の上にのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱をさけるため、アンプよりできるだけ下の棚（ホコリをかぶらない程度）に入れてください。
結露について	●冬期などに本機を寒いところから温かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部やレンズ）に水滴が付きます（結露）。結露したままでは本機は正常に動作せず、録画や再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れずに室温で1～3時間放置してから、ご使用ください。 ●夏でもクーラーやエアコンの風が、本機に直接あたると結露がおこることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

その他の注意

- 本機の近くでラジオを使用すると、ラジオ放送に“ブー”というハム音が出ることがあります。本機から離してご使用ください。
- ステレオシステムと一緒に使う場合、スピーカーとモニターテレビは少し離してください。
- テレビやカラーモニターの上に本機を設置しないでください。カセットデッキなど、磁気の影響を受けやすい機器とは離して設置してください。
- テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面にしま模様が出る場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。
- 静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しない場合があります。このようなときは電源コードを一度抜いて再度差し込むことにより正常に動作します。
- ディスクの挿入口から異物を入れないでください。異物が取り出せなくなるなど、故障の原因となることがあります。

電話回線の接続が必要な場合

デジタル放送では、電話回線を使って視聴記録データの送信や視聴者参加番組への参加などができるシステムを採用しています。本機にはNTTの2線式公衆電話回線で、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS)の電話機に接続の電話線を分配して接続してください。また、接続した電話回線は異常が発生しない限り、取り外さないでください。不特定多数の人が利用する公衆電話や共同電話、および2線式電話回線と接続しない電話機（携帯電話、PHSなど）では利用できない場合があります。

インターネット網への接続が必要な場合

地上デジタル放送では、インターネット網への接続により、さらに多様な双方向データサービスを利用することができます。本機で、このサービスを利用するには、常時接続の回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。

インターネット網への接続をしていないと、双方向データサービスを利用できない場合があります。

本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください

本機の受信周波数帯域（470MHz～2072MHz）に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やアンテナケーブルの途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像・音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。

また、アンテナの接続時にアンテナケーブルや分配器、分波器などの機器を使用する場合は、共聴用のものをご使用ください。

本機の電源プラグは常時コンセントに接続しておいてください

長期間留守にされる場合や本機に異常が発生したとき以外は、本機の電源プラグをコンセントから抜いたままにしないでください。本機は電源オフ（スタンバイ／機能待機）状態でも、自動的にデジタル放送の情報を受信したり、視聴記録の送信を行ったりする場合があります。

天候不良によっては、画質、音質が悪くなる場合があります

雨の影響により衛星からの電波が弱くなっている場合は、引き続き放送を受信できる降雨対応放送に切り換えます。（降雨対応放送が行われている場合）降雨対応放送に切り換わったときは、画面にメッセージが表示されます。

降雨対応放送では、画質や音質が少し悪くなります。また、番組情報も表示できない場合があります。

視聴記録の送信について

B-CASカードに記録される視聴記録データは、定期的に電話回線を通じ（株）B-CAS〔(株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ〕へ自動送信されます。データ送信の電話料金は無料ですが、データ送信中は、同じ回線に接続の電話機は使用できません。

操作できなくなった場合は

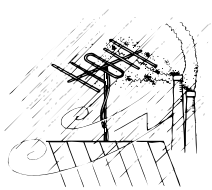
受信異常などにより、本機の操作ができなくなった場合は、本機前面左側のフタの中のリセットボタンを押すか、電源プラグをコンセントから抜き、再度電源ボタンを押してください。

ダウンロードについて

放送運用などに変更が生じた場合、本機のソフトウェアを更新して対応させるために、放送によるダウンロードサービスを行うことがあります。このサービスを受けるには、ご使用にならないときは、電源を切った状態にしておいてください。

110度CSデジタル放送をご覧になるには

110度CSデジタル放送に対応したアンテナが必要です。また、ブースターや分配器などをご使用の場合は、2150MHz対応の伝送機器が必要です。詳しくは販売店にご相談ください。

アンテナの点検・交換について

アンテナは風雨にさらされるため、美しい画像でお楽しみ頂くためにも点検・交換することをおすすめします。

特に、煤煙の多い所、潮風にさらされる所では、アンテナが早く傷みますので、映りが悪くなった場合は、販売店にご相談ください。

ファンモーターについて

本機は、電源を入れたり、機能待機状態（ダウンロードなど）のときに、本機内部の温度を下げるためにファンモーターの動作音がするときがありますが、故障ではありません。また、本機の電源を切っていても、以下のような場合はファンモーターが動作しますが、故障ではありません。

●「ダビング実行中」、「予約録画中」または「ワンタッチタイマー動作中」の間。

●「i.LINK待機」の設定を「する」に設定している場合は、常にファンモーターが動作します。

●有料チャンネルの契約情報更新が行われた場合、約2時間以上。

●放送チャンネルのロゴデータ等の共通データダウンロードが行われた場合、BS/CSで最大20分、地上デジタル放送で最大10分×チャンネル数。

●「メール・ボード」に受信されたダウンロード予告メールに表示されるダウンロード予定時刻にダウンロードが行われた場合、BSデジタル放送で最大7分、地上デジタル放送で最大12分。

●「受信設定」の「ダウンロード」を「自動」に設定している場合で、午前4:00にダウンロードしたデータの更新が行われる場合、約7分。

●番組表の情報更新が行われた場合（毎日1：30am)、BS/CSで最大2時間、地上デジタル放送で最大10分×チャンネル数。

●番組ガイドから予約を設定した時、EPG予約実行開始61分前の数分間。

本機の温度について

本機は、長時間使用したり、密閉されたラックに入れて使用したときなどに、上部が熱くなる場合があります。手で触れると熱く感じる場合もありますが、故障ではありません。また、熱で変形しやすいもの（オーディオテープ、ビデオテープなど）を上に置かないでください。

本機に記憶される個人情報などについて

お客様または第三者が本機の操作を誤ったとき、静電気などのノイズの影響を受けたとき、停電があったとき、または故障、修理のときなどに、本機に記憶または保存されたデータなどが変化、消失する恐れがあります。これらの場合の損害や不利益について、当社は何ら責任を負うものではありません。

メモリーカードについて

本機またはメモリーカードリーダーに挿入されたメモリーカードに保存、記憶されているデータは、本機の操作を誤った場合や静電気などのノイズの影響を受けた場合、消失する恐れがあります。このような場合や万一何らかの不具合により、データが消失した場合の補償や損失、直接・間接の損害について、当社は一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。大切なデータは、他のメディアにバックアップを取っておくことをおすすめします。

■ 本製品には、ACCESS社製データ放送用BMLブラウザNetFront v3.0 DTV Profileを搭載しています。
NetFrontは株式会社ACCESSの日本国における登録商標です。

ACCESS NetFront v3.0 DTV Profile

留意点

- 付属の B-CAS（ビーキャス）カードは、デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。破損や紛失などの場合は、ただちにB-CAS（ビーキャス）「（株）ビーエス・コンディショナル アクセス システムズ」カスタマーセンターへご連絡ください。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。
- 万一、本機の不具合により録画ができなかった場合の補償についてはご容赦ください。
- あなたが本機やビデオデッキなどで録画、録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- 本機から電話回線などを通じて通信を行なうと、通話料金無料のフリーダイヤルでないかぎり、電話料金はお客様の負担になります。
- 本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロビジョン社及びその他の著作権利者が保有する米国特許及びその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の許可が必要で、また、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用及びその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- この説明書に記載の画面イラストは、実際に表示される画面と異なる場合があります。チャンネル番号、チャンネル名、番組名などを含め、実際に表示される内容については画面でご確認ください。
- 本機の仕様および機能などは、ダウンロードなどにより予告なく変更することがあります。

著作権について

- **ディスクを無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、レンタル（有償、無償を問わず）することは、法律により禁止されています。**
- **ビデオデッキなどを接続してディスクの内容を複製しても、コピー防止機能の働きにより、複製した画面は乱れます。**
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- DTS、DTSデジタルサラウンドは、デジタルシアターシステムズ社の登録商標です。
- DVDロゴは登録商標です。
- TruSurround DIGITAL5.1CHは、SRS Labs. Inc.の商標です。
- Gコード（またはG-CODE）は、ジェムスター社の登録商標です。

あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録画補償金が含まれております。
お問合せ先：（社）私的録画補償金管理協会
☎03-3560-3107（代）

リサイクルについて

本製品の梱包材はリサイクルができ、再利用が可能です。お住まいの地域のリサイクルに関する取り決めに従って梱包材を処分してください。乾電池は、投棄や焼却処分をしないで、化学廃棄物に関する地元自治体の規制に従って処分してください。

デジタル放送の特長

本機はデジタル放送チューナーを内蔵しているので、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上デジタル放送を見ることができます。

デジタル放送の特長

デジタルハイビジョン放送

デジタルハイビジョンの放送フォーマットは走査線1125本（有効1080本）・飛び越し走査1125i（1080i）と走査線750本（有効720本）・順次走査750p（720p）の2種類があり、細部まできれいに表現され、臨場感豊かな映像を楽しめます。また、現行のテレビ放送とほぼ同等の画質のデジタル標準テレビ放送もあります。

多チャンネル放送

デジタル信号圧縮技術により、従来のアナログ放送に比べると多くのチャンネル放送を行うことができます。デジタルハイビジョン放送やデジタル標準テレビ放送の多チャンネル化の他に、独立データ放送やデジタルラジオ放送も行われます。

データ放送

文字や静止画で送られてくる情報から必要な情報を選んで画面に表示させることができます。データ放送には、テレビ放送やラジオ放送の番組に連動したデータ放送と、独立したデータ放送の2種類があります。また、電話回線を使用した視聴者参加番組やショッピング、バンキングなどの双方向サービスもあります (地上デジタル放送では、インターネット網への接続が必要な場合があります)。

サラウンド・ステレオ

音声信号圧縮技術MPEG-2 AAC方式の採用により、最大5.1チャンネル (5チャンネルステレオ+低域強調チャンネル) のサラウンド音声の番組も放送され、臨場感ある音声を楽しむことができます。
(ただし、5.1チャンネルのサラウンド音声をお楽しみいただくには、AAC方式の光デジタル音声入力に対応したオーディオ機器を接続する必要があります。)

電子番組ガイド（EPG：Electronic Program Guide）

デジタル放送では、それぞれのチャンネルごとに約1週間分の番組情報が送られることがあります。それらの番組情報は電子番組ガイドとして利用することができます。電子番組ガイドでは画面上にそれぞれのチャンネルの番組表を表示させ、番組表から見たい番組を選んだり、番組の詳細情報を表示させたり、録画したい番組を事前に予約したりすることができます。

デジタル放送の種類

本機で視聴できるデジタル放送には、BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上デジタル放送の3種類があります。

BSデジタル放送

BSデジタル放送は、東経110度に位置する放送衛星を利用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送が中心で、無料放送の多いことが特長です（一部有料放送もあります)。基本的に放送事業者ごとの放送となるため、受信契約や登録が必要な場合は放送事業者ごとに申し込みが必要です。

110度CSデジタル放送

110度CSデジタル放送は、東経110度に位置する通信衛星を利用したデジタル放送です。BSデジタル放送とは異なり、デジタル標準テレビ放送が中心で、映画、スポーツ、エンターテイメントなど有料専門チャンネルが多いのが特長です（一部無料放送もあります)。

地上デジタル放送

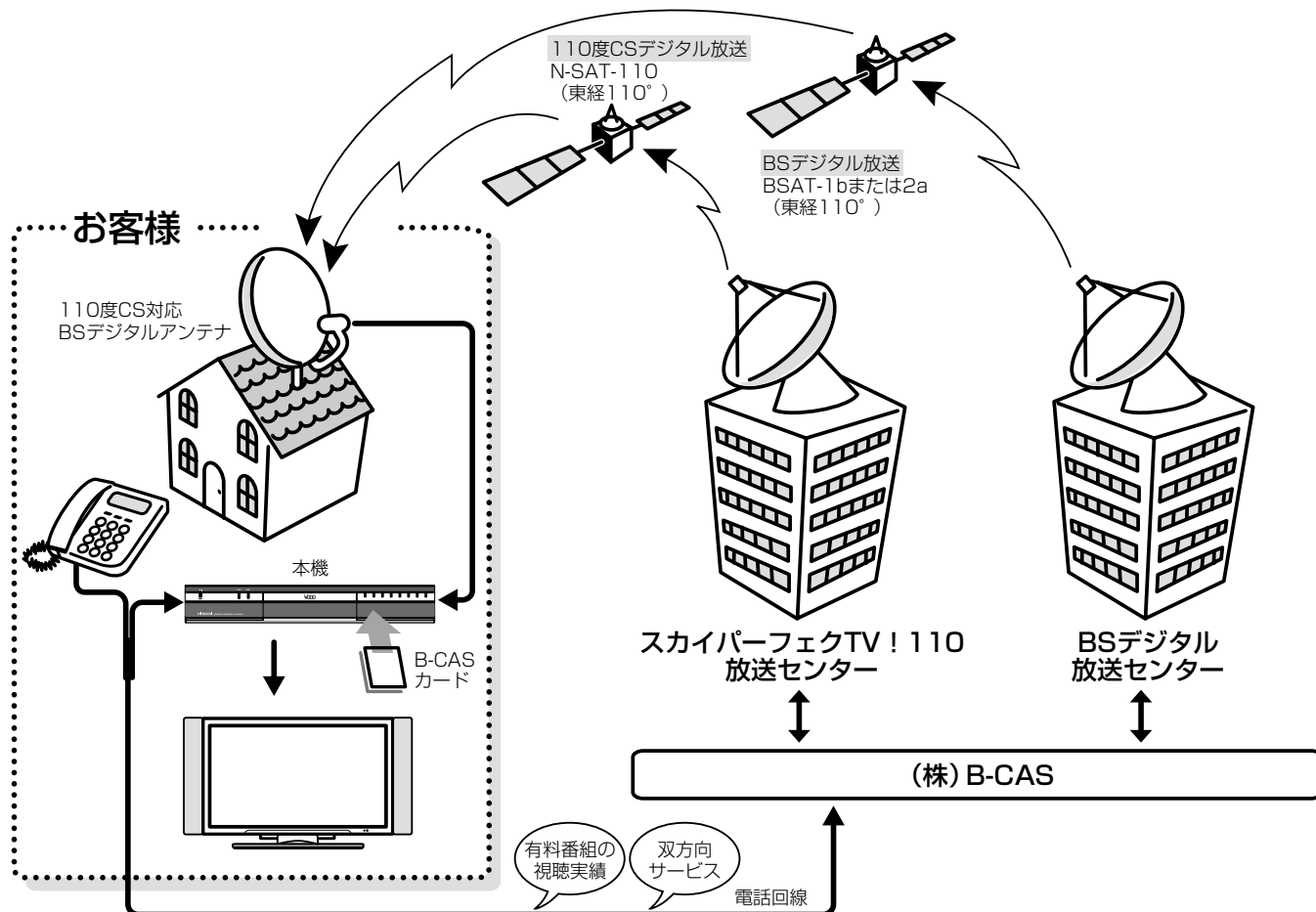
2003年12月から順次放送開始予定となっている、地上波のUHF帯を使用したデジタル放送です。デジタルハイビジョン放送に加えて、データ放送や双方向データサービスなどが予定されています。地上アナログ放送に比べてゴーストなどの影響を受けにくいのが特長です。

お知らせ

- 本機でBSデジタル放送および110度CSデジタル放送の両方を受信するには、110 度CS対応BSデジタルアンテナを使用する必要があります。
- 110度CSデジタル放送は、従来のCSデジタル放送「スカイパーフェクTV!（スカパー!)」(東経128度、124度のJSAT-3、JSAT-4を利用）とは異なる放送です。従来の「スカイパーフェクTV!（スカパー!)」を受信するには、専用デジタルチューナーが必要です。本機では受信できません。

デジタル放送の受信契約について

限定受信システム（CAS）とは

BSデジタル放送、110度CSデジタル放送、地上デジタル放送では、限定受信システム（CAS）を使って視聴者の受信状況を管理します。本機に付属のB-CASカードを挿入しておくと、有料番組の契約や購入状況情報がB-CASカードに記録され、その情報が電話回線を通して（株）B-CASへ自動送信されるという仕組みになっています。

B-CASカードは必ず登録してください
本機に付属のB-CASカード台紙の一部が（株）B-CASへのユーザー登録用はがきになっています。台紙に記載の文面をよくお読みのうえ、ユーザー登録はがきに必要事項を記入・押印してお送りください。B-CASカードを登録しないと、デジタル放送が利用できません（登録料は無料です）。

デジタル放送を見るときや録画するときは、必ずB-CASカードを挿入してください
B-CASカードは、有料放送の課金や放送局からのメッセージを管理する他、著作権保護のためのコピー制御にも利用されます。デジタル放送はB-CASカードを挿入しないと映りません。

BSデジタル放送を受信するには

WOWOW、スター・チャンネルなどのBSデジタル放送の有料放送サービスを受信するには、B-CASカードの登録の他に、見たい番組を放送している放送局との受信契約が必要になります。本機に同梱されている加入契約書に必要事項をご記入のうえ、お送りください。

● 詳しくはそれぞれの放送局のカスタマーセンターへお問い合わせください。お問い合わせの際は、電話番号のお間違えのないようにお願いいたします。

BSデジタル放送局のお問い合わせ先（2005年4月現在）

BS放送局	お問い合わせ先	参考
NHK BS1 NHK BS2 NHK デジタルハイビジョン （101、102、103ch）	0120 -151515 （受信契約専用フリーダイヤル） 受付時間　9:00～20:00（年中無休） http://www.nhk.or.jp/ps/	NHKと衛星放送受信を契約していない場合は、衛星放送受信の契約が必要です。
WOWOW （191、192、193ch）	0120－480801（フリーダイヤル） 0570－008080（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの場合は、 045－683－8080 ） 受付時間　9:00～20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/	WOWOWはテレビ放送のみの申し込みが必要な放送です。ラジオ放送（491、492ch）と独立データ放送（791、792ch）は無料放送です。
スター・チャンネルBS （200ch）	0570－010－110（ナビダイヤル） （携帯電話などをお使いの場合は、 045－339－1555） 受付時間　10:00～20:00（年中無休） http://www.star-ch.co.jp/pc/star	スター・チャンネルBSはテレビ放送のみの申し込みが必要な放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

お知らせ

● NHKでは、BSデジタル放送のメッセージ機能を利用して受信確認を行っています。すでにNHKと衛星放送受信を契約していても、本機に同梱されている「B-CASカードユーザー登録はがき」を送っていない場合、またははがきを送っていても下部の「はい」に○がついていない場合は、B-CASカードを本機に挿入してから30日経過後、NHK-BSデジタル放送のチャンネルに合わせると、画面左下にＮＨＫへの連絡をお願いするメッセージが表示されます。このメッセージは、画面に表示されるNHKのフリーダイヤルに連絡し、B-CASカード番号、住所、名前、電話番号などを伝えると消えます。
● 一部のデータ放送などには、無料放送でもユーザー登録が必要な場合があります。詳しくは、それぞれの放送局へお問い合わせください。

110度CSデジタル放送を受信するには

110度CSデジタル放送の有料放送サービスを受信するには、B-CASカードの登録の他に、「スカイパーフェクTV！110（スカパー!110）」との受信契約が必要になります。110度CSデジタル放送は、BSデジタル放送のように個別の放送事業者ごとではなく、「スカイパーフェクTV！110（スカパー!110）」が放送チャンネル受信契約の代行を行っています。

● 110度CSデジタル放送では、チャンネルごとの受信契約の他に、チャンネルごとに契約するよりも料金がお得なパック契約が用意される場合があります。
● 詳しくはカスタマーセンターへお問い合わせください。お問い合わせの際は、電話番号のお間違えのないようにお願いいたします。

スカイパーフェクTV ！110（スカパー!110）・カスタマーセンター
0570－012－110または045－339－0002
受付時間　10:00～20:00（年中無休）
http://www.skyperfectv110.jp/
（2005年4月現在）

地上デジタル放送を受信するには

地上デジタル放送を受信するには、以下の条件をすべて満たしていることが必要です。

受信地点が、すでに放送地域になっていること

関東・中京・近畿の三大都市圏では、2003年12月から放送が開始されています。その他の地域では、2006年末までに順次開始される予定となっています。
地上デジタル放送の受信エリアの目安については、下記にお問い合わせください。
総務省地上デジタルテレビジョン受信相談センター
0570-07-0101
受付時間　9：00～21：00（平日）
　　　　　9：00～18：00（土、日、祝祭日）
http://www.d-pa.org/
（2005年4月現在）

UHFアンテナが、地上デジタル放送に対応していること

UHFアンテナには全帯域型と帯域専用型があります。地上デジタル放送を受信するには全帯域型または地上デジタル放送対応型のUHFアンテナをご使用ください。

UHFアンテナが、地上デジタル放送の送信塔の方向に向いていること

現在お住まいの地域で、地上デジタル放送の送信塔が地上アナログ放送と同じ方向の場合は、そのままの向きで地上デジタル放送を受信できます。地上デジタル放送の送信塔が違う方向の場合は、UHFアンテナの向きを地上デジタル放送の送信塔の方向に変更してください。

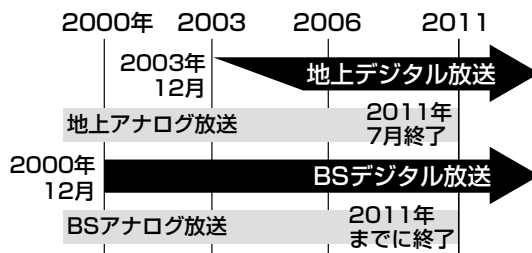
地上デジタル放送受信機の入力信号に、必要な強度があること

地上デジタル放送は、現在のアナログ放送との混信を避けるために、当初は非常に小さな出力で放送されます。そのため受信エリアが限定されます。また、受信エリア内であっても、地形やビル陰などによって電波がさえぎられる場合や電波の伝搬状況などにより、視聴できない場合があります。

お知らせ

- ケーブルテレビまたは共聴・集合住宅施設で地上デジタル放送を受信する場合は、ケーブル事業者または共聴施設管理者にお問い合わせください。

アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上デジタル放送は、関東、中京、近畿の三大広域圏の一部で2003年12月から開始され、その他の地域でも、2006年末までに放送が開始される予定です。該当地域における受信可能エリアは、当初限定されていますが、順次拡大される予定です。
地上アナログ放送は2011年7月に、BSアナログ放送は2011年までに終了することが、国の方針として決定されています。

接続の流れ

1

本機とアンテナを接続する
▶21ページ

B-CASカードを挿入する
▶24ページ

本機にテレビを接続する
▶26、27ページ

2

ビデオデッキ/ビデオカメラを接続するには
▶28～30ページ

オーディオ機器と接続するには
▶31ページ

3

有料番組や双方向データを楽しむには
▶32ページ

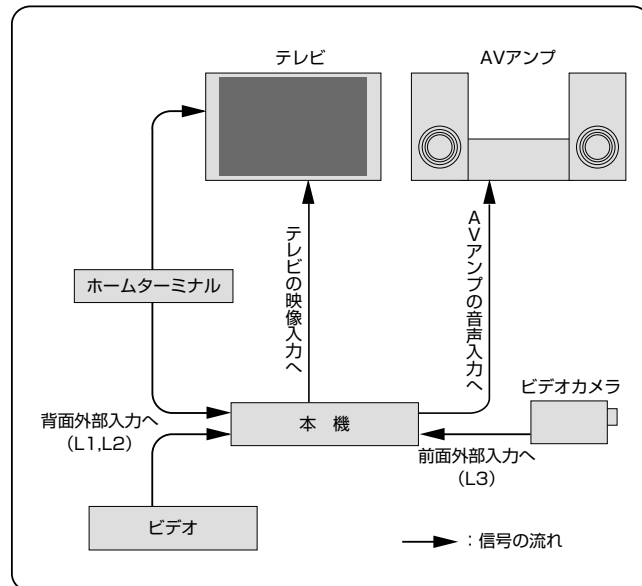
4

コンセントに電源プラグを差し込む
▶35ページ

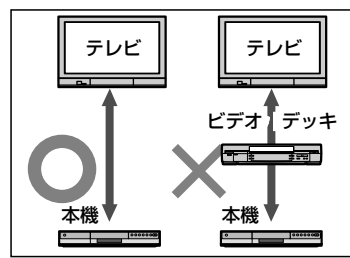
リモコンと本体の時計を合わせる
▶42、46ページ

チャンネルの設定を行う
▶48ページ

接続例

例えば下図のように接続すれば、本機で再生した番組の映像がテレビに映り、音声がオーディオ機器から聞こえます。また、ホームターミナルの接続により、CATV（ケーブルテレビ）の番組を本機で録画することができます。さらに、ビデオデッキとビデオカメラで再生した映像を本機にダビングすることができます。

ご注意

- 本機と他の機器を接続するときは、以下の点に注意してください。
  - ・各機器の電源を切ってから接続してください。
  - ・接続する機器の取扱説明書をよくお読みください。
- ビデオデッキ経由で本機とテレビを接続しないでください。コピーガードの影響により、再生時に画面が乱れることがあります。

- ビデオ内蔵テレビと本機を接続するときは、ビデオ側ではなく、テレビ側の入力端子に映像・音声コードを接続してください。画面の乱れが発生する場合は、他のテレビと接続してください。

■ **長期間使用しないときには**

節電のため、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

待機時の消費電力

電源「切」時（時刻表示消灯時）　　約1.8W

お知らせ

- デジタル放送を受信するには、本機をアンテナと接続（㉓、㉔ページ）したあと、本機にB-CASカードを挿入してください（㉔ページ）。また、受信チャンネルを設定するには、最初に「地域名」と「初期スキャン」の操作が必要です。詳しくは、「地上デジタル放送のチャンネルを設定する」（57ページ）をご覧ください。

本機とアンテナ線を接続する

本機には、BS・110度CSデジタル放送用、および地上デジタル・地上アナログ放送用のアンテナ入力端子があります。それぞれの入力端子にアンテナ線を接続することで、アナログ・デジタル放送を受信できるようになります。

BSデジタル放送と110度CSデジタル放送の両方を受信するには

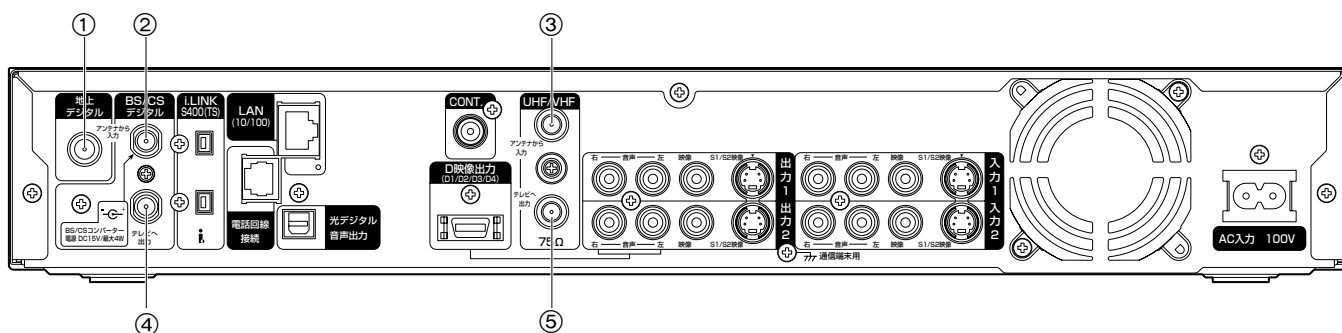
市販品の110度CS対応BSデジタルアンテナを使用してください。 110度CS対応BSデジタルアンテナではない従来のBSアンテナでは、110度CSデジタル放送は受信できません。また、場合によってはBS放送が映らないこともあります。

地上デジタル放送を受信するには

UHFアンテナを使用してください。 VHFアンテナでは受信できません。また、現在お使いのアンテナがUHFアンテナでも、調節や取替えが必要な場合もありますので、その際は販売店にご相談ください。

ご注意

- アンテナ工事は技術が必要です。販売店にご相談ください。
- VHF/UHFアンテナが独立しているなど、混合器の取り付けが必要な場合は、販売店にご相談ください。
- アンテナ線の接続には、妨害の少ない同軸ケーブルの使用をおすすめします。平行フィーダーを使用すると、受信状態が不安定なために妨害電波を受けやすくなり、画面にしま模様が現れたりします。やむを得ず平行フィーダーを使用する場合は、テレビからできるだけ離してください。また、室内アンテナも妨害電波を受けやすいので、使用を避けてください。
- 電源コードや他の接続コード類は、アンテナ線からできるだけ離してください。

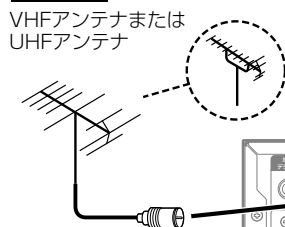
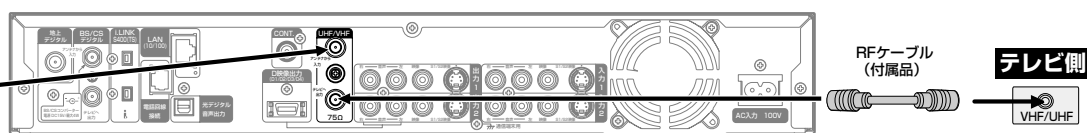
本機のアンテナ端子

① **地上デジタル放送用アンテナ入力端子**
地上デジタル放送用のUHFアンテナ線を接続します。

② **BS・110度CSデジタル放送用アンテナ入力端子**
BS・110度CSデジタル放送用アンテナ線を接続します。

③ **地上アナログ放送用UHF/VHFアンテナ入力端子**
地上アナログ放送用のUHF/VHFアンテナ線を接続します。

④ **BS・110度CSデジタル放送用アンテナ出力端子**
付属のRFケーブルで、テレビのアンテナ入力端子と接続します。

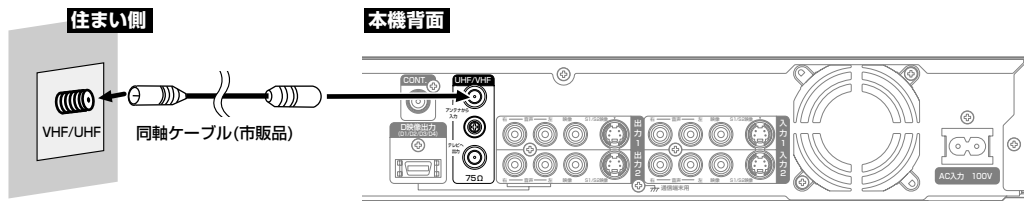
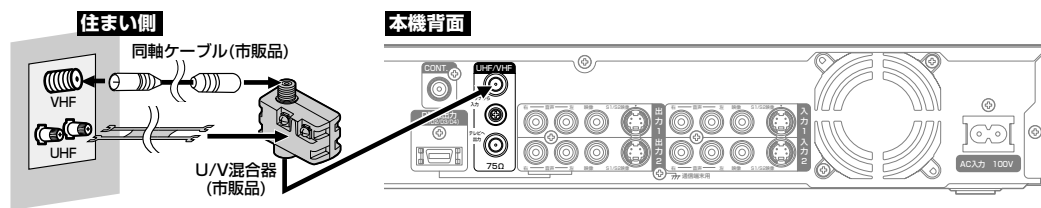
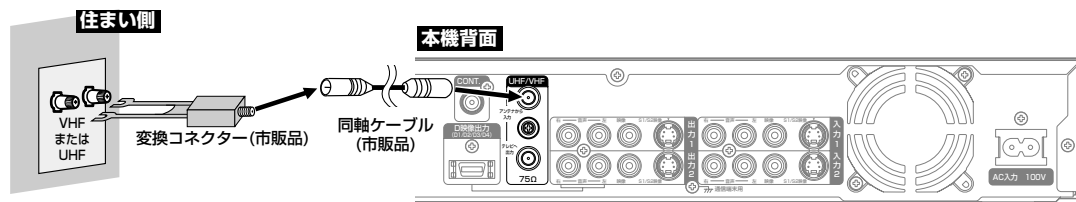
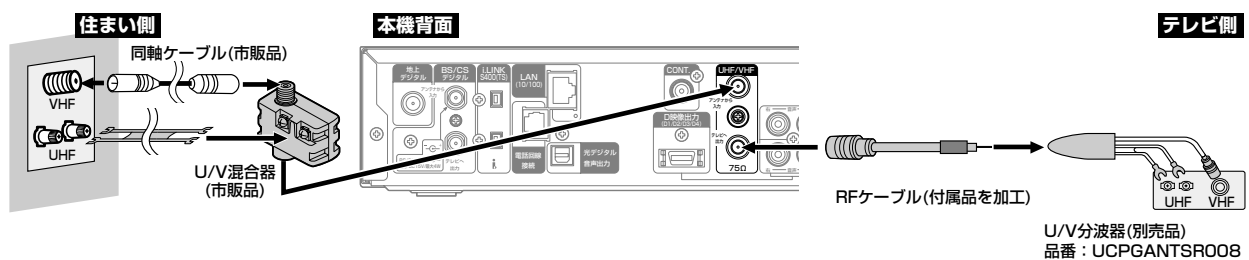
⑤ **地上アナログ放送用UHF/VHFアンテナ出力端子**
付属のRFケーブルで、テレビのアンテナ入力端子と接続します。

地上アナログ放送のアンテナ線接続

①現在お使いのテレビに接続しているアンテナ線を外して、本機の地上アナログ放送用UHF/VHFアンテナ入力端子に接続する。

②RFケーブルを使用して、本機の地上アナログ放送用UHF/VHFアンテナ出力端子とテレビのVHF/UHFアンテナ入力端子を接続する。

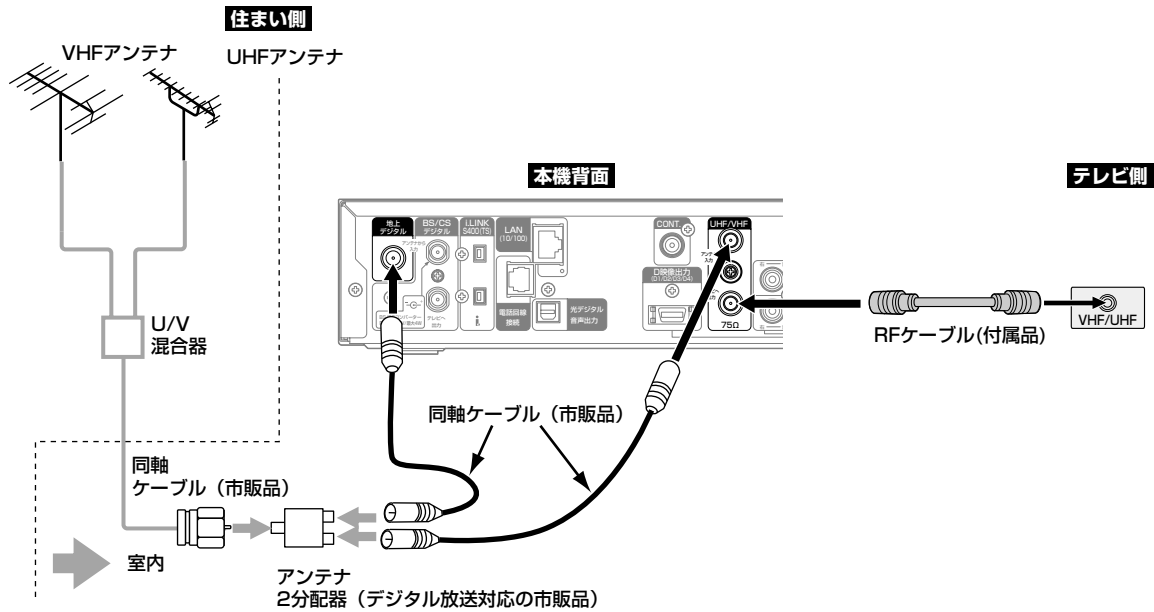
アンテナ線の種類について

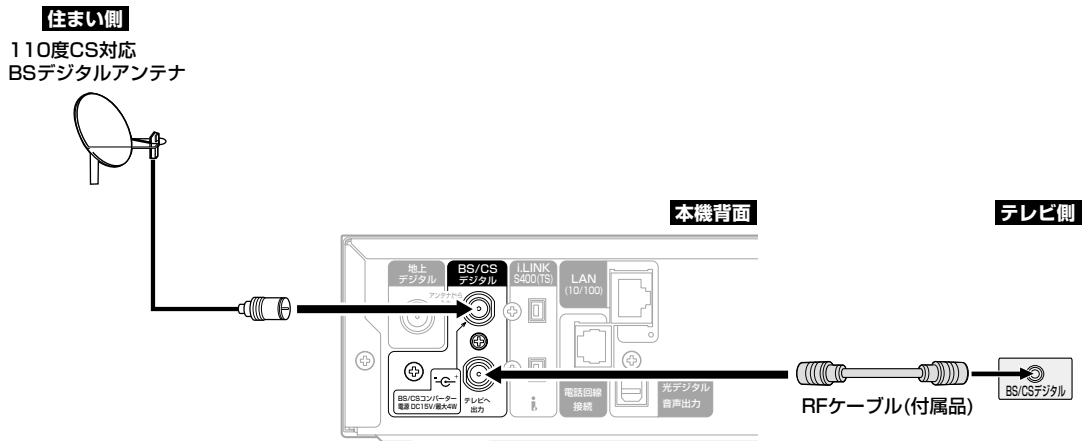
お住まいの地域によって、VHF/UHFアンテナ線の種類および接続形態が異なります。

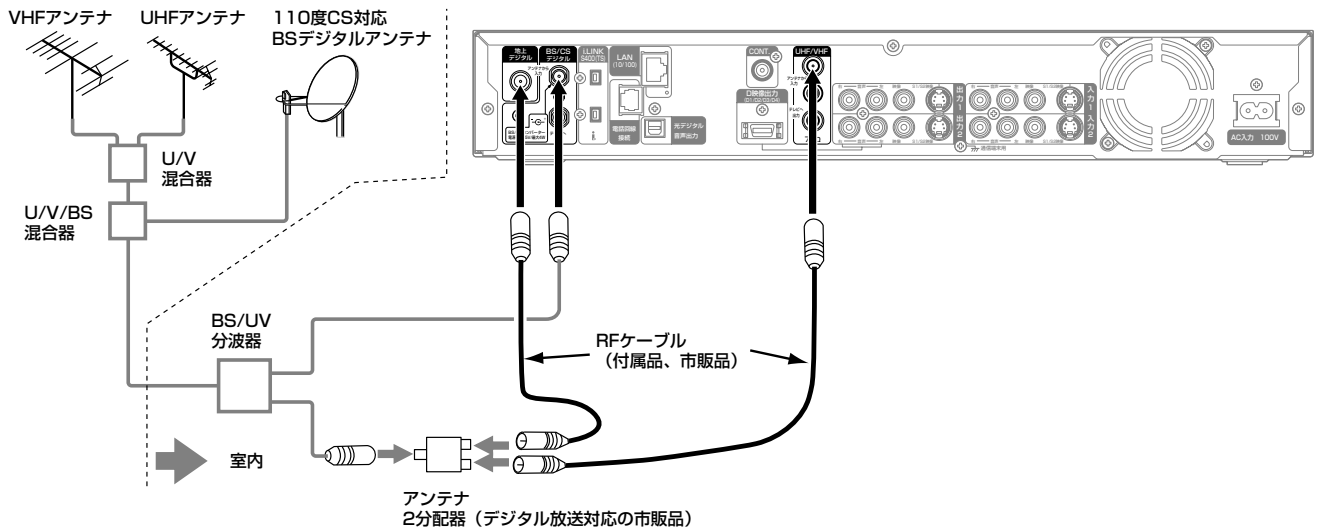
住まい側がVHFアンテナ線、UHFアンテナ線、VHF/UHF混合アンテナ線のいずれかのとき

住まい側にVHFアンテナ線とUHFアンテナ線の両方があるとき

住まい側がVHFまたはUHFアンテナ線のとき

テレビのVHFアンテナ入力端子とUHFアンテナ入力端子が別々の場合

①RFケーブルの先端を加工してU/V分波器の入力端子に接続する。
②U/V分波器の出力端子をテレビのVHFアンテナ入力端子およびUHFアンテナ入力端子にそれぞれ接続する。

ご注意

- アンテナ線を接続しないと、テレビ放送の受信や録画はできません。
- アンテナ線の種類によっては、アンテナプラグ（市販品）やU/V混合器（市販品）が必要な場合があります。
- 電波が弱い地域の場合、アンテナブースター（市販品）をご使用いただくことにより、電波の受信感度を全体的に増幅させることができますが、ノイズも同じく増幅されるために、テレビ画像にノイズが残る場合があります。詳しくは販売店にご相談ください。

地上アナログ・地上デジタル放送のアンテナ線接続（VHF/UHFアンテナが混合のとき）

①2つのRFケーブルの片方を、本機の地上デジタル放送用アンテナ入力端子および地上アナログ放送用UHF/VHFアンテナ入力端子にそれぞれ接続する。
②①で接続した2つのRFケーブルの片方をアンテナ2分配器の出力端子に接続する。
③ U/V混合器の出力端子または室内のアンテナ端子とアンテナ2分配器の入力端子を同軸ケーブルで接続する。
④RFケーブルを使用して、本機の地上アナログ放送用UHF/VHFアンテナ出力端子とテレビのUHF/VHFアンテナ入力端子を接続する。

BS・110度CSデジタル放送のアンテナ線接続

①110度CS対応BSデジタルアンテナを、本機のBS・110度CSデジタル放送用アンテナ入力端子に接続する。
②RFケーブルを使用して、本機のBS・110度CSデジタル放送用アンテナ出力端子とテレビのアンテナ入力端子を接続する。

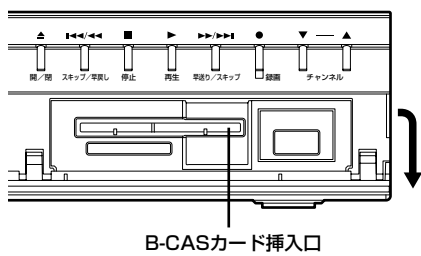
すべての放送を受信するときのアンテナ接続

① 2つのRFケーブルの片方を、本機の地上デジタル放送用アンテナ入力端子および地上アナログ放送用UHF/VHFアンテナ入力端子にそれぞれ接続する。
② ①で接続した2つのRFケーブルの片方をアンテナ2分配器の出力端子に接続する。
③ 同軸ケーブルを使用して、BS/UV分波器のUV出力端子とアンテナ2分配器の入力端子を接続する。
④ 同軸ケーブルを使用して、BS/UV分波器のBS出力端子と本機のBS・110度CSデジタル放送用アンテナ入力端子を接続する。

B-CASカードを挿入する

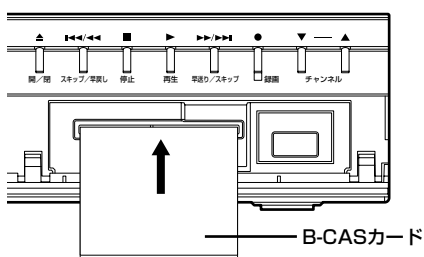
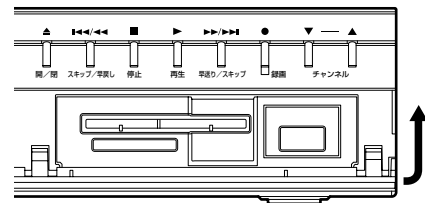
ご注意

- B-CASカードを挿入するときは、本機の電源プラグを電源コンセントに接続しない状態にしてください。

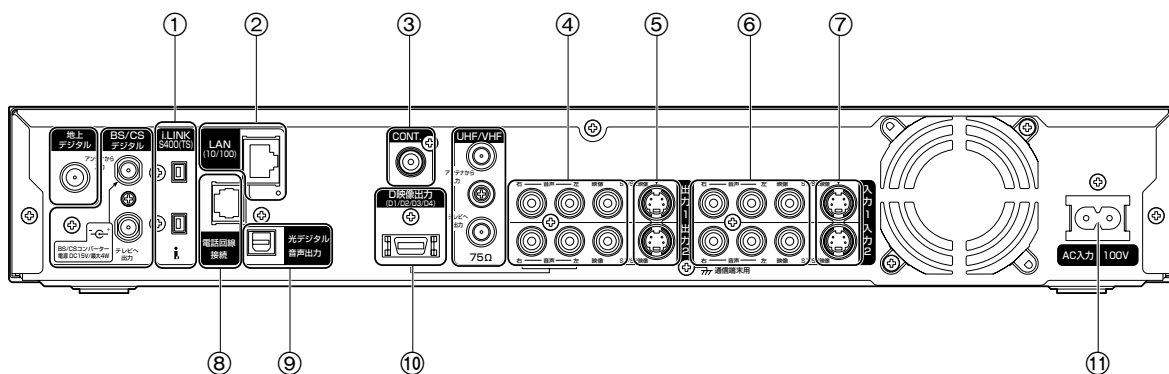
1 本機前面右側のフタを開ける

B-CASカード挿入口

2 絵柄表示面を上にしてB-CASカードを挿入する

- 絵柄の矢印を挿入口に合わせ、挿入が止まるまでゆっくりと押し込みます。

B-CASカード

3 本機前面右側のフタを閉める

本機と他の機器を接続する

本機はテレビやビデオデッキ、オーディオ機器などと接続することができます。他の機器と接続することによって、テレビ放送を見たり、音声をオーディオ機器から聞こえるようにしたり、ビデオデッキやビデオカメラで再生した映像を本機にダビングしたりなど、さまざまな操作ができるようになります。

本機の接続端子

① **i.LINK端子（㉙ページ）**
i.LINKコードを使用して、D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキなどのi.LINK対応機器と接続します。i.LINK対応機器と接続すると、機器間で映像、音声、制御信号を送信することができます。

② **ネットワーク端子（㉝ページ）**
地上デジタル放送の双方向データサービスを利用できるように、LANケーブルを使用して常時接続環境のインターネット網と接続します。

③ **CONT端子（DV-DH400Tのみ）**
将来の拡張用制御入力端子です。なにも接続しないでください。

④ **映像・音声出力1／2端子（㉖ページ）**
映像・音声コード（黄、白、赤）を使用して、テレビと接続します。

⑤ **S1／S2映像出力端子（㉖ページ）**
S映像コードを使用して、S映像入力端子のあるテレビと接続します。映像・音声出力端子よりも映像が鮮明に映ります。

⑥ **映像・音声入力1／2 端子（㉘ページ）**
映像・音声コード（黄、白、赤）を使用して、ビデオデッキやビデオカメラなどと接続します。

⑦ **S1／S2 映像入力端子（㉘ページ）**
S映像コードを使用して、ビデオデッキやビデオカメラなどと接続します。映像・音声入力端子よりも映像が鮮明になります。

⑧ **電話回線接続端子（㉜ページ）**
モジュラーケーブルとモジュラー分配器を使用して、電話回線と接続します。電話回線に接続すると、デジタル放送の有料番組の視聴記録を送信したり、視聴者参加番組に参加したりできます。

⑨ **光デジタル音声出力端子（㉛ページ）**
光デジタルケーブルを使用して、光デジタル音声入力端子付きアンプやデコーダーと接続します。

⑩ **D映像出力端子（㉖ページ）**
D端子映像ケーブルを使用して、D映像入力端子のあるテレビと接続します。映像・音声出力端子やS映像出力端子よりも高画質の映像になります。

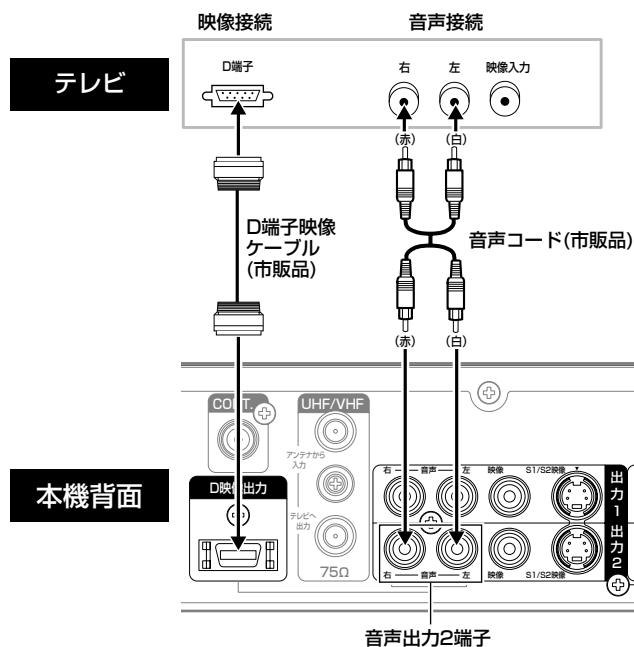
⑪ **電源コード差込口（㉟ページ）**
電源コードを使用して、本機と電源コンセントを接続します。

テレビと接続する

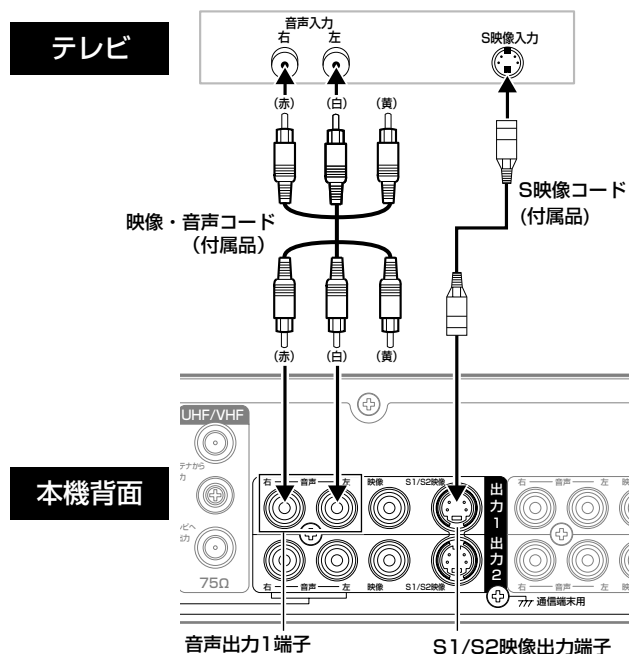
テレビ放送や録画番組の再生を高画質でお楽しみいただくには、D映像出力端子でテレビのD映像入力端子と接続することをおすすめします。お使いのテレビにD映像入力端子やコンポーネント入力端子がない場合は、映像・音声入力端子やS映像入力端子で接続してください。

テレビのD映像入力端子と接続する（推奨）

D端子映像ケーブルと音声コードを使用して、下図のように接続してください。

● D端子映像ケーブルは本機に同梱されていません。

テレビの外部入力端子またはS映像入力端子と接続する

映像・音声コードおよびS映像コードを使用して、下図のように接続してください。S映像コードを利用する方が、映像がより鮮明に映ります。

音声コードの接続方法は、映像コード接続とS映像コード接続のどちらの場合も同じです。

ご注意

● D端子映像ケーブルでテレビと接続するときは、S映像コードは接続しないでください。

● D端子映像ケーブルでテレビを接続する場合、音声コードは必ず音声出力2端子に接続してください。音声出力1端子に接続すると、追っかけ再生時などに音声が正しく出力されないことがあります。

● D1/D2映像入力端子のあるテレビに接続する場合は、D端子をいったん外して「外部入力端子またはS映像入力端子でテレビと接続する」の接続を行ってから、「TV接続設定」(90ページ)の「D端子出力設定」を「D1固定」または「D2自動」に設定してください。「TV接続設定」の設定が正しくないと、D映像入力端子からの映像がテレビに映りません。

● お使いのテレビが、ピンジャックタイプのY、CB/PB、CR/PRコンポーネント入力端子の場合は、市販品のコンポーネントビデオケーブル（D- ピンプラグ×3）を使用してください。
ただし、お使いのテレビがD端子規格に合っていない場合は、映像が正しく表示されないことがあります。

● D映像出力端子と映像出力端子またはS映像出力端子と同時に接続した場合、映像出力端子およびS映像出力端子からの映像は正しく出力されません。映像出力端子およびS映像出力端子で接続する場合は、本機からD端子映像ケーブルを取り外してください。

お知らせ

● お使いのテレビにオートワイドやスムーズワイド機能がある場合、画面上の表示が一部見えなくなることがあります。そのような場合は、テレビの表示モードをフルモード（16:9 固定表示モード）またはノーマルモード（4:3 固定表示モード）に切り換えてください。

● S映像コードを接続する場合、映像・音声コードの黄色端子を接続する必要はありません。

● 本機は自動的にワイドテレビの画面表示を切り換えるS1/S2規格に対応しています。

CATVと接続する

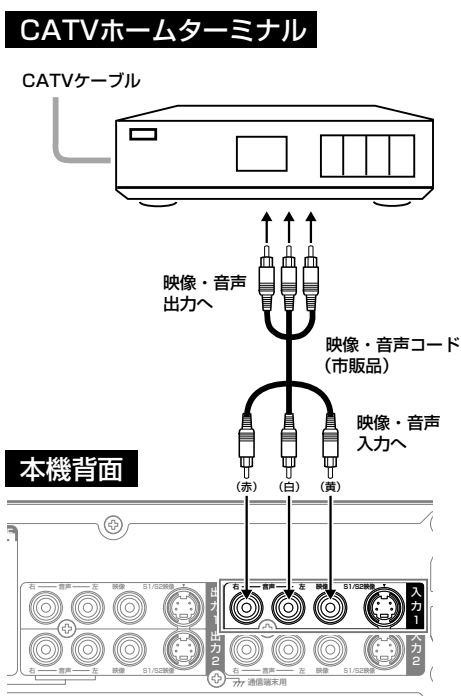
CATV（ケーブルテレビ）には、以下のような伝送方式があります。

●CATVの受信はCATV会社との契約が必要です。また、放送方式や接続について、詳しくはCATV会社にお問い合わせください。

伝送方式	特長	本機の対応
トランスモジュレーション方式	放送局から受信した電波をケーブルテレビ局の電波に変換して送信する方式です。CATVホームターミナルと本機を接続すると、CATVの番組を本機で録画することができます。CATVホームターミナル側の接続については、CATVホームターミナルの取扱説明書をご覧ください。	○
同一周波数パススルー方式	UHF帯の地上デジタル放送が変換されずにそのまま伝送される方式です。CATV局と接続するだけで、地上デジタル放送を受信することができます。	○
周波数変換パススルー方式	UHF帯の地上デジタル放送をCATVで伝送可能な周波数に変換して伝送する方式です。CATV局と接続するだけで、地上デジタル放送を受信することができます。	○

お知らせ

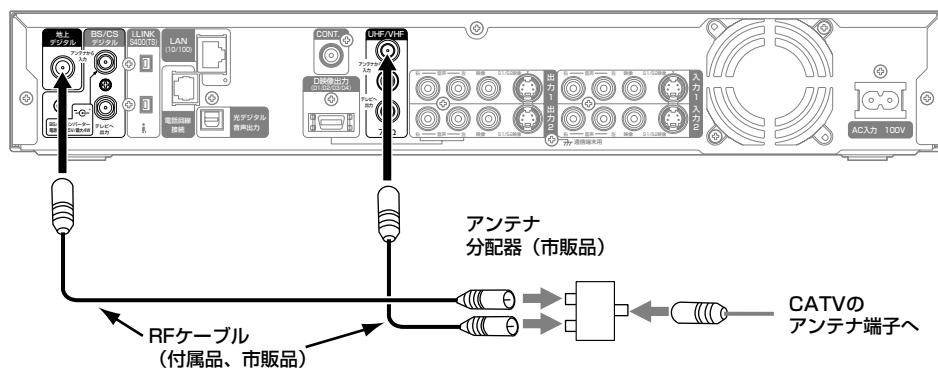
● CATVの受信は、サービスが行われている地域のみ可能で、使用する機器ごとにCATV会社との受信契約が必要です。さらにスクランブル放送（有料）を受信するにはアダプター（ホームターミナル）が必要です。詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。

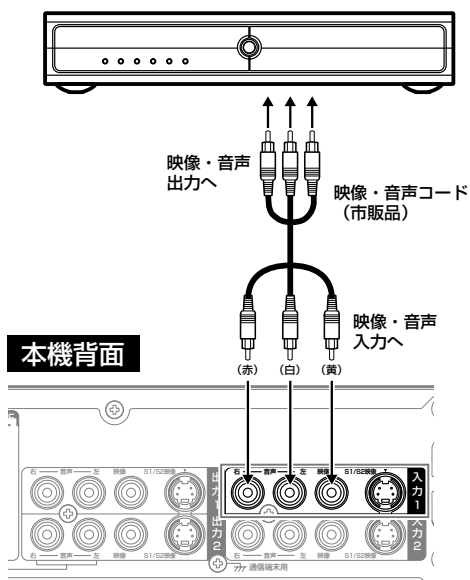
トランスモジュレーション方式（CATVホームターミナル）で接続する

ご注意

● CATVホームターミナルにD映像端子やコンポーネント映像端子が搭載されていても、それらの端子からの映像を録画することはできません。

お知らせ

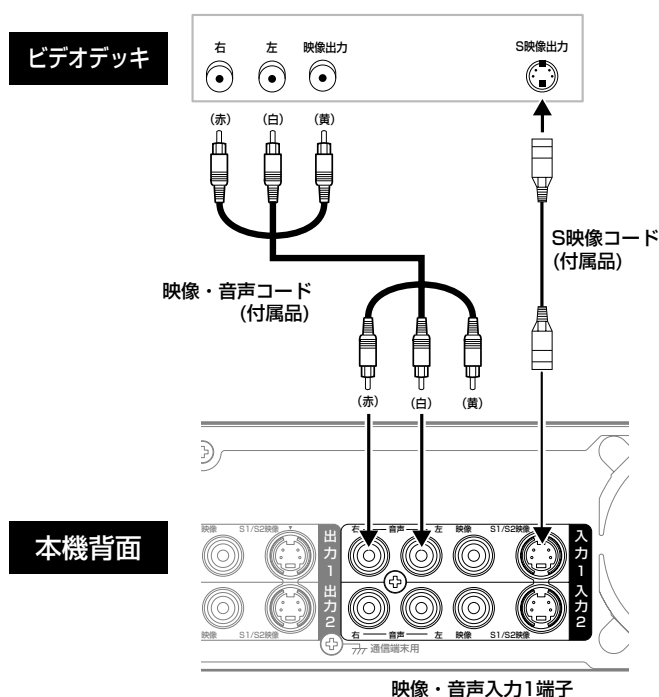
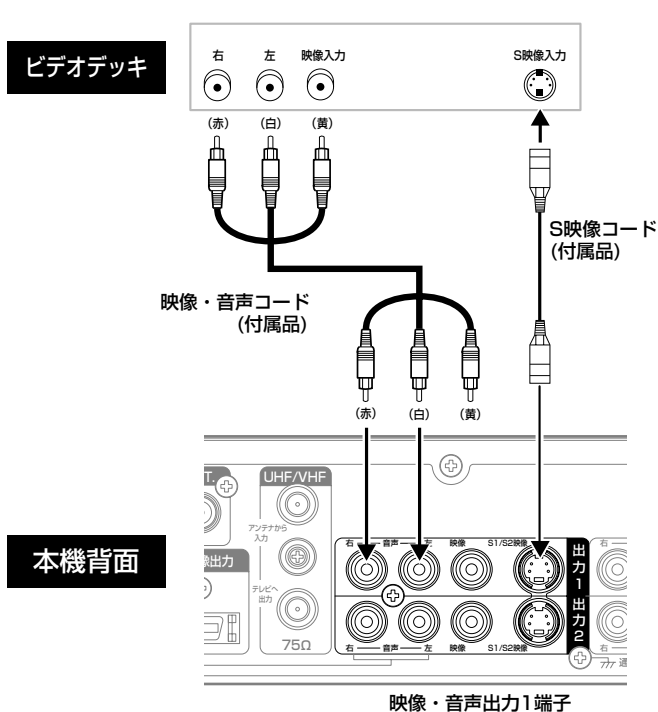
● トランスモジュレーション方式は、BSデジタル放送や110度CSデジタル放送の再送信にも使用されているため、受信側は1台のデジタル放送対応のCATVホームターミナルで地上・BS・110度CSのすべてのデジタル放送を受信することができます。詳しくは、CATV会社にお問い合わせください。

同一周波数パススルー方式、周波数変換パススルー方式で接続する

AVCステーションと接続する

AVCステーション側の接続については、AVCステーションの取扱説明書をご覧ください。

ビデオデッキと接続する

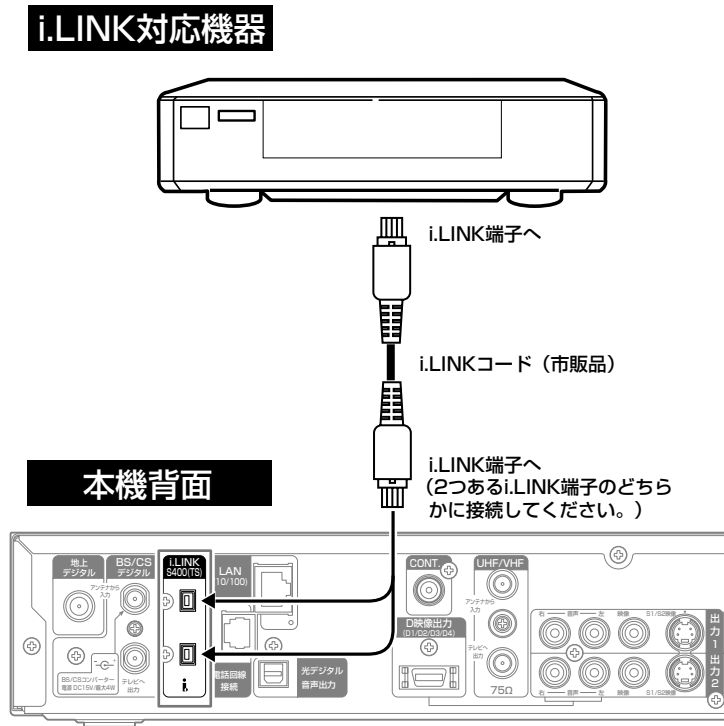
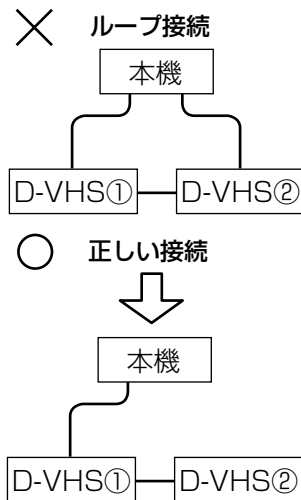
ビデオデッキと本機を接続すると、ビデオデッキで再生している映像をテレビに映したり、本機に録画することができます。また、本機で再生している映像をビデオデッキで録画することもできます。
映像・音声コードおよびS映像コードを使用して、下図のように接続してください。

本機で録画できるように接続する場合

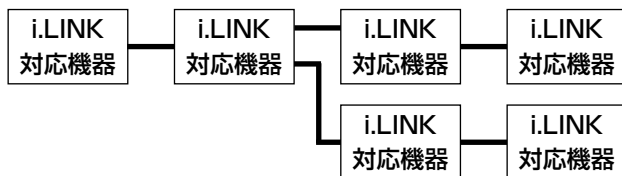
ビデオデッキで録画できるようにする場合

お知らせ

- コピーガード信号が入っているテープを再生した場合は、コピーガードの影響により本機で正常に録画できません。
- S映像コードを接続する場合、映像・音声コードの黄色端子を接続する必要はありません。

i.LINK対応機器と接続する

i.LINK対応機器と本機を接続すると、双方向で映像、音声、制御信号を送信することができます。例えば、本機とD-VHSビデオデッキを接続すれば、本機からD-VHSビデオデッキへ録画を予約したり、本機のリモコンでD-VHSビデオデッキの基本的な操作を行うことができるようになります。
i.LINKコードを使用して、下図のように接続してください。

i.LINK対応機器の複数接続について

i.LINK対応機器は最大17台まで接続することができます。
信号は接続したすべてのi.LINK対応機器に流れます。操作したいi.LINK対応機器の間に別のi.LINK対応機器が接続されていても、データのやりとりや操作ができます。

i.LINK端子が3端子以上ある機器の場合、途中から分岐してツリー型に接続することもできます。ツリー型で接続する場合は、i.LINK対応機器を最大63台まで接続することができます。

本機と接続できるi.LINK 対応機器

本機では、下記のi.LINK 対応機器と接続したときの動作を確認しています。

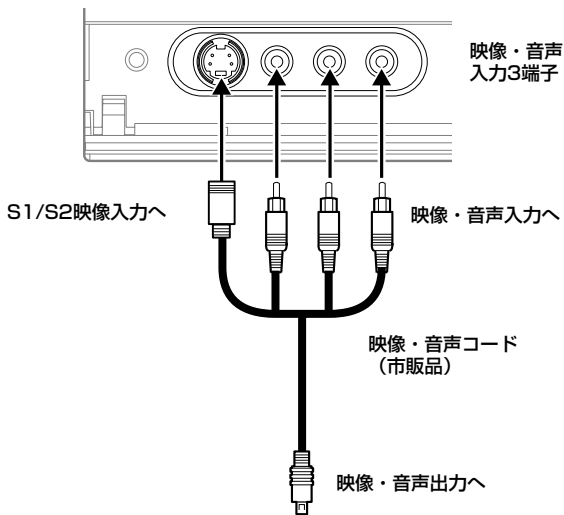
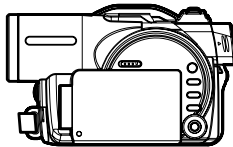
D-VHSデジタルハイビジョンビデオデッキ
DT-DRX100（日立製）、HM-DHX1（日本ビクター製）、HM-DHX2（日本ビクター製）、HM-DHS1（日本ビクター製）

Rec-POT M デジタルハイビジョン ハードディスクレコーダー
HVR-HD160M（I・O DATA製）（D-VHSモードでご使用ください）

お知らせ

- 本機は最大転送速度が400Mbpsのため、i.LINK対応機器と接続する場合はS400対応以上の4ピンi.LINKコード（市販品）を使用してください。
- i.LINKコードはプラグ部を持って、端子にまっすぐに差し込んでください。斜めからは入りません。
- i.LINKコードは、本機の2つあるi.LINK端子のどちらに接続しても使用できます。
- ループ接続にならないようにしてください。データを送信したi.LINK対応機器に同じデータが戻り、誤作動を起こします。
- i.LINKコードをテレビに近付けると、映像・音声が乱れたり、誤動作を起こすことがあります。i.LINKコードは、テレビからできるだけ離してください。
- 本機とD-VHSビデオデッキをアナログ接続する場合は、「ビデオデッキと接続する」（㉘ページ）を参照してください。
- 本機と接続したi.LINK対応機器の使用中は、使用していないi.LINK対応機器のi.LINKコードを外したり、接続したり、電源を入れる／切るなどの操作を行わないでください。映像・音声が乱れる場合があります。
- i.LINK対応機器には、電源を切っているとデータを中継できない機器があります。接続するi.LINK対応機器の取扱説明書もお読みください。
- 本機では「i.LINK待機」（㊻ページ）の設定で、本機の電源を切っているときでも接続しているi.LINK対応機器の制御を受けるように設定することができます。

ビデオカメラと接続する

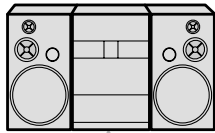
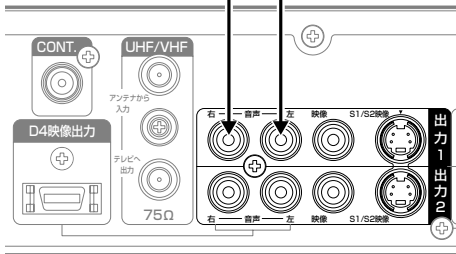
ビデオカメラと本機を接続すると、ビデオカメラで再生している映像をテレビに映したり、本機に録画することができます。
映像・音声コードおよびS映像コードを使用して、下図のように接続してください。

お知らせ

- S映像コードを接続する場合、映像・音声コードの黄色端子を接続する必要はありません。映像・音声コードの黄色端子とS映像コードの両方を接続した場合は、S映像コードの信号が優先されます。

オーディオ機器と接続する

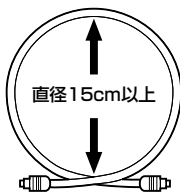
お手持ちのオーディオ機器と接続すると、テレビ放送や録画した番組を迫力ある音響で楽しむことができます。

アナログ音声端子で接続する

音声コードを使用して、下図のように接続してください。

ご注意

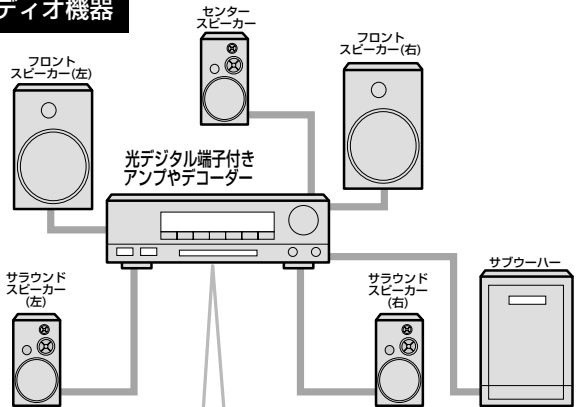
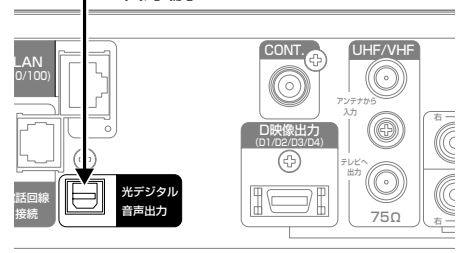
- 長さが3m以下の光デジタルケーブルを使用してください。
- 光デジタルケーブルを接続するときは、しっかり奥まで差し込んでください。
- 光デジタルケーブルは、折り曲げると損傷することがあります。保管する際は、直径が15cm 以上になるように巻いてください。

直径15cm以上

- 本機に接続しているアンプやデコーダーがAACに対応している場合は、各種設定メニューの「デジタル音声出力」(⑦⓪ページ)を「AAC」に設定してください。AACに対応していない場合は、「PCM」に設定してください。
  また、ドルビーデジタルおよびDTSに対応している場合は、各種設定メニューの「デジタル音声出力」(⑦⓪ページ)を「AAC」に設定してください。ドルビーデジタルおよびDTSに対応していない場合は、「PCM」に設定してください。
  各機能の設定が正しくないと、デジタル放送を映すときに音が歪み、スピーカーが壊れることがあります。
- AACのデジタル放送番組では、[音声切換]を押しても光デジタル音声出力の音声は切り換わりません。

お知らせ

- MPEG-2 AACやドルビーデジタル、DTS方式で記録されたディスクの音声を、そのままMDデッキやDATデッキでデジタル録音することはできません。

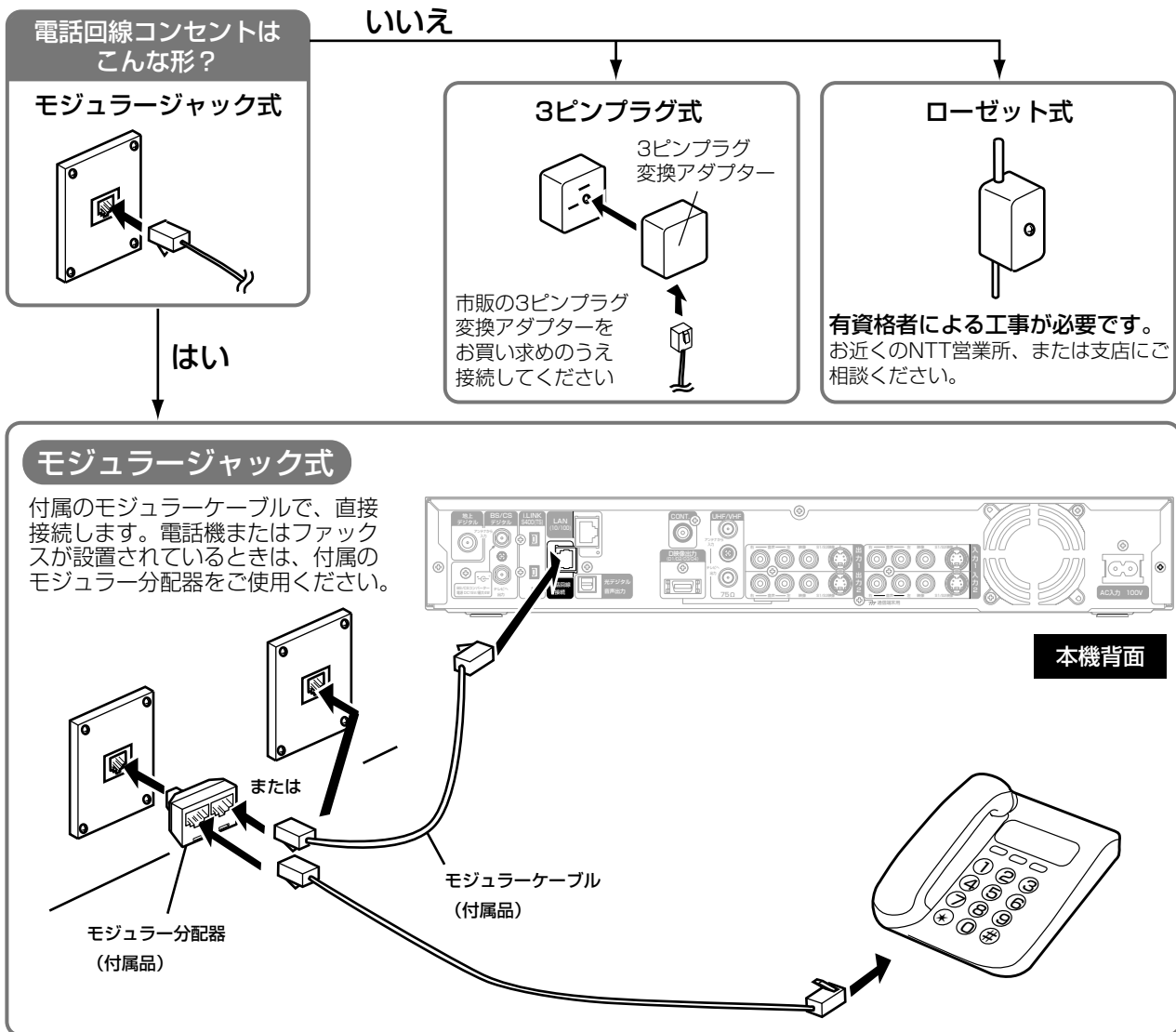
光デジタル音声端子で接続する

デジタル放送やTS/TSXモード(『操作編』④⓪ページ)で録画した番組を見るとき、またドルビーデジタルサラウンドまたはDTSデジタルサラウンドフォーマットのDVD ディスクを再生するときには、AACやドルビーデジタル、DTS対応のアンプまたはデコーダーと本機を接続すると、大迫力の臨場感あふれるサラウンド音声を楽しむことができます。
光デジタル音声端子は、電気信号を光信号に変換して送るため、電気的影響を受けにくく、また他の外部装置に悪影響を及ぼすおそれも少なくなります。
光デジタルケーブルを使用して、下図のように接続してください。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。「ドルビー」「Dolby」およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

DTSとDTS Digital Outは米国Digital Theater Systems.Inc.の登録商標です。

電話回線と接続する

本機を電話回線に接続すると、デジタル放送の有料番組の視聴記録を送信したり、視聴者参加番組へ参加したりできます。モジュラー分配機とモジュラーケーブルを使用して、下図のようにNTTの2線式公衆電話回線を分配し、プッシュ式またはダイヤル式（10 PPS/20 PPS）の電話機と本機を接続してください。

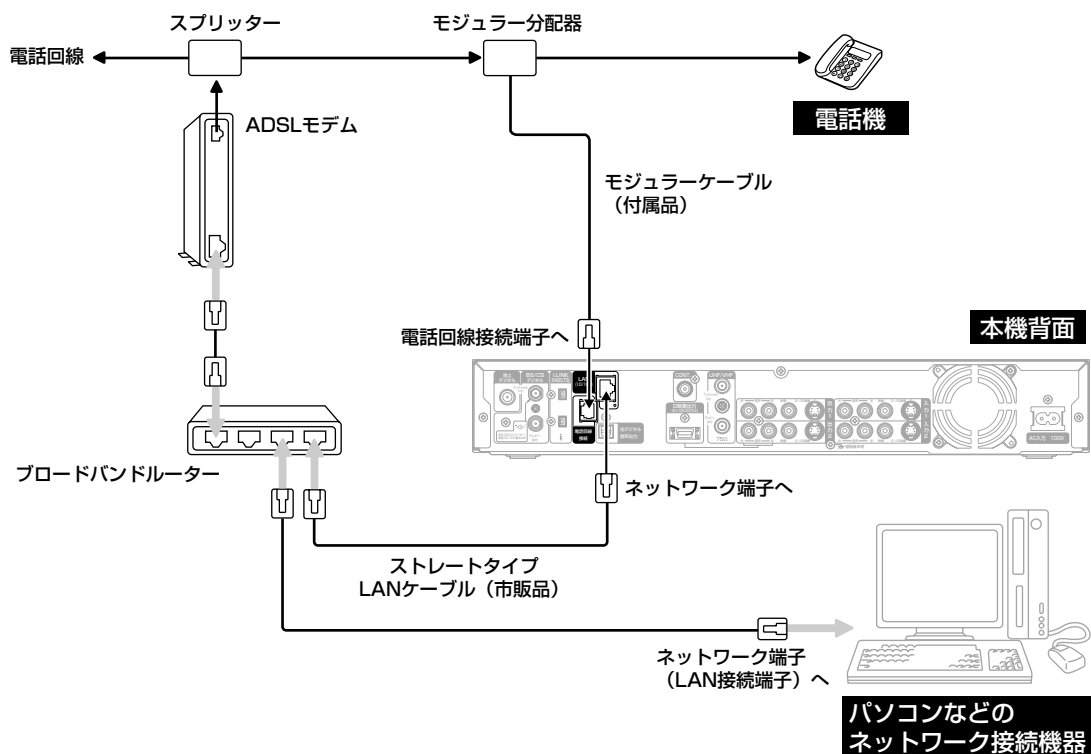
また、電話回線を接続したあとは、回線の種類や発信者番号通知などを必ず設定してください（80ページ）。なお、ご使用の電話回線コンセントがモジュラージャック式でない場合は、変換アダプターまたは工事が必要です。

お知らせ

● ホームテレホンやビジネスホンをご使用の場合は、販売店またはNTTの営業所や支店にご相談ください。

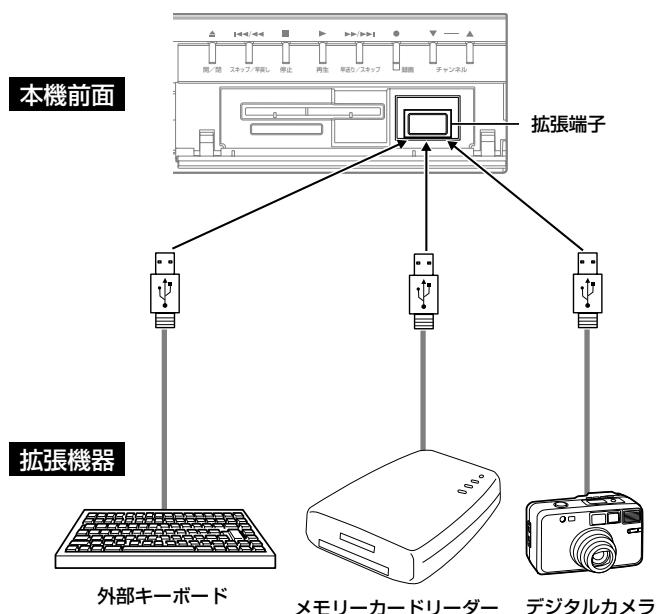
インターネット網に接続する

本機は、地上デジタル放送の新しい双方向データサービスに対応するため、インターネット網に常時接続環境で接続できるLANインターフェースを装備しています。地上デジタル放送の双方向サービスは、2005年3月現在はまだ利用できません。双方向サービスが開始されたときに、ご使用の環境に応じてインターネット網に接続してください。

お知らせ

- 本機でインターネット網に接続するには、回線業者やインターネットサービスプロバイダーとの契約が必要です。
- 本機は、ADSLモデムまたはブロードバンドルーターを経由してインターネット網に接続してください。電話回線から直接インターネット網へ接続することはできません。
- スプリッターを介して電話回線を分配する場合は、市販の分配器を使用してください。

拡張機器と接続する（DV-DH400Tのみ）

本機の拡張端子に対応した拡張機器を接続することができます。
拡張端子にメモリーカードリーダーを接続すると、SDメモリーカード以外のメモリーカードに記録された静止画像を再生することができます。また、デジタルカメラを接続すると、デジタルカメラで撮影した静止画を直接再生することができます。静止画の再生については、『操作編』の「デジタルカメラで撮影した静止画を見る」（76ページ）をご覧ください。
拡張端子にキーボードを接続すると、文字入力をするときに、接続したキーボードで文字を入力することができます。文字の入力方法については、『操作編』の「文字を入力する」（103ページ）をご覧ください。

接続する

本機と接続できる拡張機器

本機と接続したときの動作を確認できているメモリーカードリーダー、デジタルカメラ、日立パソコンPrius同梱のUSBキーボードについては、下記ホームページのQ&Aのコーナーをご覧ください（動作確認できている機器でも、正しく動作しないことがあります）。

● HITACHI AV-Worldホームページ：
http://av.hitachi.co.jp/

また、本機の拡張端子に対応する市販のキーボードは、下記のとおりです。(推奨キーボード)。

● エレコム（株）製ロングケーブルUSBフルキーボード：
TK-U12FY、TK-U12FYSV、TK-U12FYBK、
TK-U89MPSV、TK-U89MPLG、TK-U89MPBK
●（株）ロジクール製コードレスキーボード：CK-36

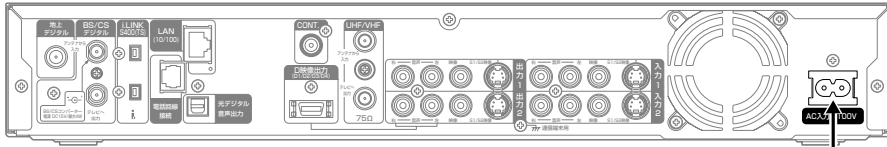
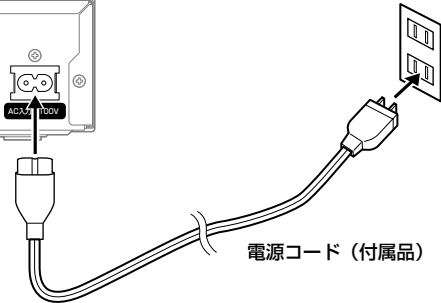
ご注意

● 途中でメモリーカードのデータが読めなくなった場合は、本機の電源を切ってメモリーカードを挿入し直し、もう一度電源を入れ直してください。
● 本機でメモリーカードへデータを書き込んだり、接続したデジタルカメラを操作することはできません。
● デジタルカメラの接続には、USBケーブルを使用してください。ただし、接続できるデジタルカメラは、USBマスストレージクラスかPTP方式に対応している必要があります。
● 本機で表示できる画像データは、DCF規格に準拠した画像データです。
● 日立DVDビデオカメラは、本機の拡張端子には接続できません。

お知らせ

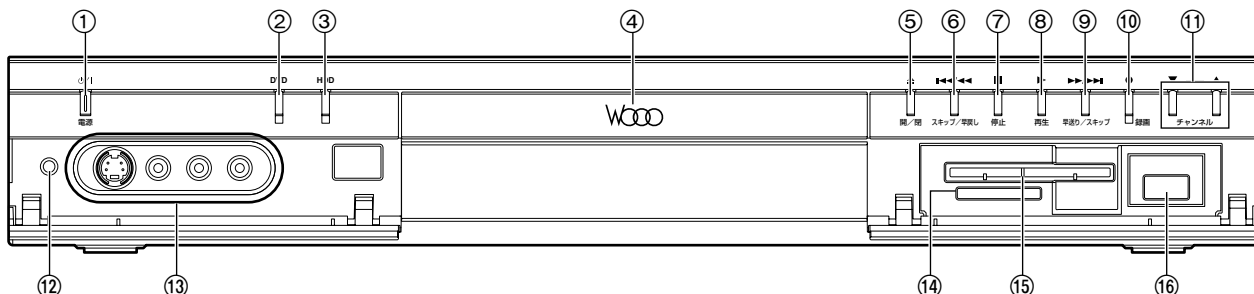
● 本機の拡張端子には、対応しているメモリーカードリーダーを接続してください。対応していないメモリーカードリーダーを接続すると、故障の原因となります。
● 本機とメモリーカードリーダーの接続および取り外し、各種メモリーカードのメモリーカードリーダーへの挿入および取り外しは、本機の電源を切った（機能待機ランプも消灯）状態で行ってください。
● 本機の拡張端子は、一般的なUSB機器に対応するものではありません。
● 大切なデータは、本機と接続する前にバックアップを取っておくことをおすすめします。

本機に電源コードを接続する

本機の電源コード差込口に電源コードを差し込んで、
電源コードの電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。

接続する

各部の名称と機能

本体

本体前面

① **電源ボタン（㊸ページ）**
本体の電源を入／切します。

② **DVDボタン（㊺ページ）**
操作するドライブをDVDに切り換えます。DVDに切り換えると、DVDランプが緑色に点灯します。

③ **HDDボタン（㊺ページ）**
操作するドライブをハードディスク（HDD）に切り換えます。HDDに切り換えると、HDDランプが青色に点灯します。

④ **ディスクトレイ（㊹ページ）**
DVDやCDをセットします。

⑤ **ディスクトレイ開／閉ボタン（㊹ページ）**
ディスクトレイを開／閉します。閉じるときは、ディスクトレイを軽く押しても閉じられます。

⑥ **スキップ／早戻しボタン（『操作編』64ページ）**
再生中のチャプターの先頭に戻ります。長く押すと早戻しします。

⑦ **停止ボタン（『操作編』㊷、63ページ）**
録画や再生を停止します。

⑧ **再生ボタン（『操作編』63ページ）**
ハードディスク（HDD）やDVDに録画されている番組を再生します。

⑨ **早送り／スキップボタン（『操作編』64ページ）**
次のチャプターにスキップします。長く押すと早送りします。

⑩ **録画ボタン（『操作編』㊷ページ）**
視聴中の番組をハードディスク（HDD）やDVDに録画します。

⑪ **チャンネルボタン（『操作編』㉑ページ）**
チャンネルを切り換えます。

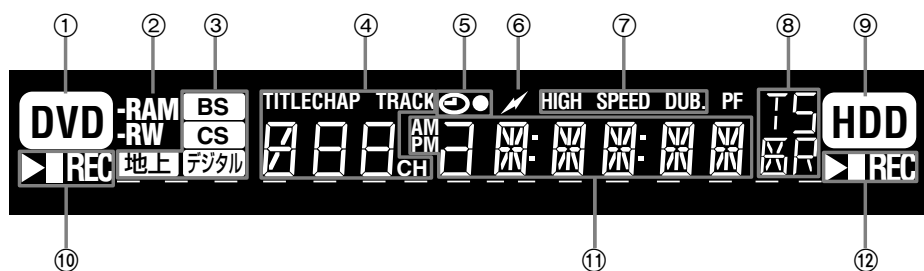
⑫ **リセットボタン**
本機をリセットします。リモコンや本機のボタンを押しても本機が動作しないときなどに押してください。

⑬ **外部入力3端子（㉚ページ）**
ビデオデッキやビデオカメラなどの外部機器を接続します。

⑭ **SDメモリーカード挿入口（『操作編』77ページ）**
SDメモリーカードを挿入します。SDメモリーカードに記録されている静止画を見ることができます。

⑮ **B-CASカード挿入口（㉔ページ）**
付属のB-CASカードを挿入します。

⑯ **拡張端子（DV-DH400Tのみ）（㉝ページ）**
拡張機器を接続します。

本体表示窓

① **DVD表示（㊺ページ）**
操作するドライブをDVDに切り換えると点灯します。

② **DVDディスクの種類（『操作編』⑬ページ）**
使用しているDVDディスクの種類を表示します。

③ **放送の種類（『操作編』⑳、㉑、㉒ページ）**
現在選んでいる放送の種類を表示します。

④ **番号表示**
選局中のチャンネル番号、タイトル番号、トラック番号を表示します。

⑤ **録画予約表示（『操作編』㊺ページ）**
録画予約すると点灯します。

⑥ **回線使用表示（㉜ページ）**
電話回線の使用中に点灯します。

⑦ **ダビング表示（『操作編』92ページ）**
ダビング中に点灯します。

⑧ **録画モード（『操作編』㊵ページ）**
選んだ録画モードを表示します。

⑨ **HDD表示（㊺ページ）**
操作するドライブをハードディスク（HDD）に切り換えると点灯します。

⑩ **DVD状態表示**
DVDの再生中、一時停止中、録画中などの状態を表示します。

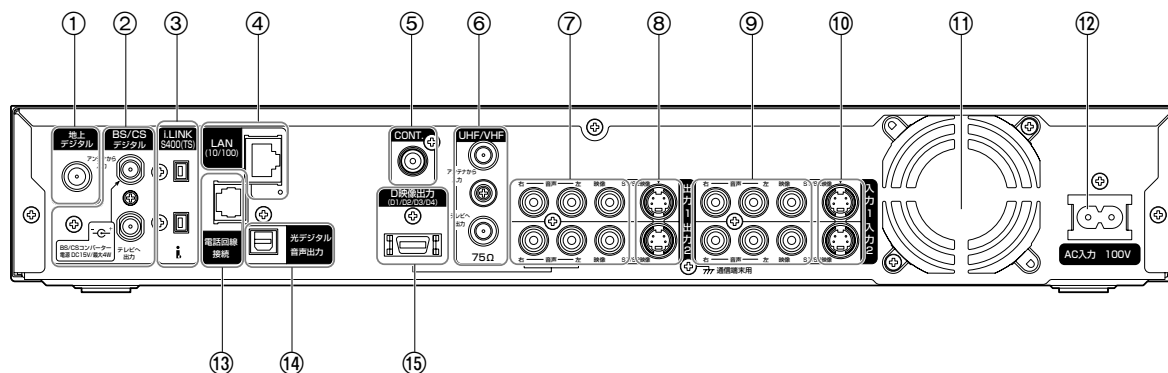
⑪ **情報表示**
録画時間や再生時間などの情報を表示します。

⑫ **HDD状態表示**
ハードディスク（HDD）の再生中、一時停止中、録画中などの状態を表示します。

本体表示窓のメッセージ表示

本体表示窓に次のようなメッセージが表示され、本機の状態をお知らせします。

メッセージ	内容	参照ページ
DWNLD	待機中にプログラム更新データをダウンロードしています。	67
PROG	リモコンから転送したGコード予約や手動予約を本機が受信しました。	『操作編』47 『操作編』50
ERR	リモコンから転送したGコードが正しく受信できませんでした。Gコードが正しいか確認してください。また、転送するときはリモコンをできるだけ揺らさないでください。	『操作編』47 『操作編』48
FULL	42番組以上の録画予約をリモコンから本機に転送しました。リモコンから本機に転送できる録画予約は42番組までです。	『操作編』47 『操作編』50
B-ON/ B-OFF	本機をボタン操作したときの操作音を、鳴る／鳴らないに設定しました。	『操作編』91
R-1/R-2/ R-3	本体とリモコンのリモコンコードが合っていないため、リモコンで本機を操作できません。本体とリモコンのリモコンコードを合わせてください。	72
EXT	CSチューナーなどの予約待機ができる外部機器を本機に接続し、その外部機器で録画予約した後、本機の電源を切ります。外部機器の放送開始に連動して本機に番組が録画されます。	59

本体背面

① **地上デジタル放送用アンテナ入力端子**
地上デジタル放送用のアンテナ線を接続します。

② **BS・110度CSデジタル放送用アンテナ入出力用端子**
BS・110度CSデジタル放送用のアンテナ線を接続します。

③ **i.LINK端子**
i.LINK対応機器を接続します。

④ **ネットワーク端子**
常時接続環境のインターネット網とLANケーブルで接続します。

⑤ **CONT端子（DV-DH400Tのみ）**
将来の拡張用制御入力端子です。

⑥ **地上アナログ放送用UHF/VHFアンテナ入出力端子**
地上アナログ放送用のUHF/VHFアンテナ線を接続します。

⑦ **映像・音声出力1／2端子**
テレビの映像・音声入力端子と接続します。

⑧ **S1／S2映像出力端子**
テレビのS映像入力端子と接続します。

⑨ **映像・音声入力1/2 端子**
ビデオデッキ、CATVホームターミナル、BS・CSチューナーなどの映像・音声出力端子と接続します。

⑩ **S1/S2 映像入力端子**
ビデオデッキ、CATVホームターミナル、BS・CSチューナーなどのS映像出力端子と接続します。

⑪ **冷却用ファン**

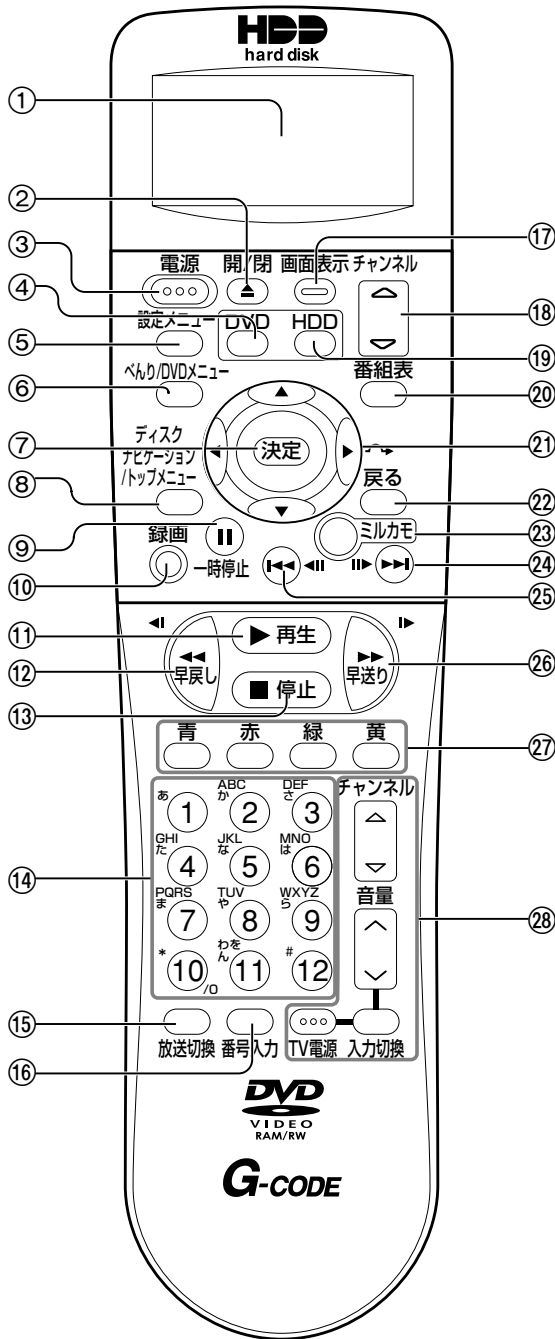
⑫ **電源コード差込口**
電源コードを接続します。

⑬ **電話回線接続端子**
電話回線と接続します。

⑭ **光デジタル音声出力端子**
光デジタル音声入力端子付きアンプやデコーダーと光デジタルケーブルで接続します。

⑮ **D映像出力端子**
D映像入力端子のあるテレビと接続します。

リモコン

フタを閉じている場合

① **表示窓**
日付時刻やGコード予約の内容などの情報を表示します。

② **ディスクトレイ開／閉ボタン（㊹ページ）**
ディスクトレイを開／閉します。閉じるときは、ディスクトレイを軽く押しても閉じられます。

③ **電源ボタン（㊸ページ）**
本体の電源を入／切します。

④ **DVDボタン（㊺ページ）**
操作するドライブをDVDに切り換えます。DVDに切り換えると、本体前面のDVDランプが緑色に点灯します。

⑤ **設定メニューボタン（㊾ページ）**
機能設定画面を表示して、本機の各種機能を設定することができます。

⑥ **べんり／DVDメニュー（『操作編』⓰ページ）**
べんり機能メニューを表示して、テレビ放送の視聴中や録画中、録画した番組の再生中などにさまざまな操作を行うことができます。また、DVDビデオディスクの再生中にDVDメニューを表示することができます。

⑦ **決定ボタン**
カーソルボタンを押して選んだ項目を決定します。

⑧ **ディスクナビゲーション／トップメニューボタン（『操作編』㊅ページ）**
ディスクナビゲーション画面を表示して、再生する録画番組を選ぶことができます。

⑨ **一時停止ボタン（『操作編』㊆ページ）**
再生を一時停止します。

⑩ **録画ボタン（『操作編』㊷ページ）**
視聴中の番組をハードディスク（HDD）やDVDに録画します。

⑪ **再生ボタン（『操作編』㊃ページ）**
ハードディスク（HDD）やDVDに録画されている番組を再生します。

⑫ **早戻しボタン（『操作編』㊄ページ）**
再生中の番組を早戻しします。

⑬ **停止ボタン（『操作編』㊷、㊃ページ）**
録画や再生を停止します。

⑭ **数字ボタン（『操作編』⓴、㉒、㊼、㊃ページ）**
チャンネル番号やGコード予約番号の入力、DVDビデオで再生するトラックの指定などができます。

⑮ **放送切換ボタン（『操作編』⓴、㉑、㉒ページ）**
放送の種類を切り換えます。

⑯ **番号入力ボタン（『操作編』㉒ページ）**
デジタル放送のチャンネル番号を直接入力するときに押します。

⑰ **画面表示ボタン（『操作編』㊲、㊂ページ）**
テレビ放送視聴中のチャンネル番号やDVDへ録画中の録画状態、再生中のDVDディスクの状態などを確認することができます。

⑱ **チャンネルボタン（『操作編』㉑ページ）**
テレビのチャンネルを切り換えます。

⑲ **HDDボタン（㊺ページ）**
操作するドライブをハードディスク（HDD）に切り換えます。HDDに切り換えると、HDDランプが青色に点灯します。

⑳ **番組表ボタン（操作編』㉕、㊺ページ）**
デジタル放送の視聴中に番組表を表示して、見たい番組や予約したい番組を選ぶことができます。

㉑ **カーソルボタン**
カーソルを上下左右に移動させてメニューや項目を選びます。

㉒ **戻るボタン**
一つ前の画面に戻るときや各操作を終了するときに押します。

㉓ **ミルカモボタン（『操作編』㊼ページ）**
ミルカモ予約画面を表示して、毎週同じ番組を録画するように予約することができます。

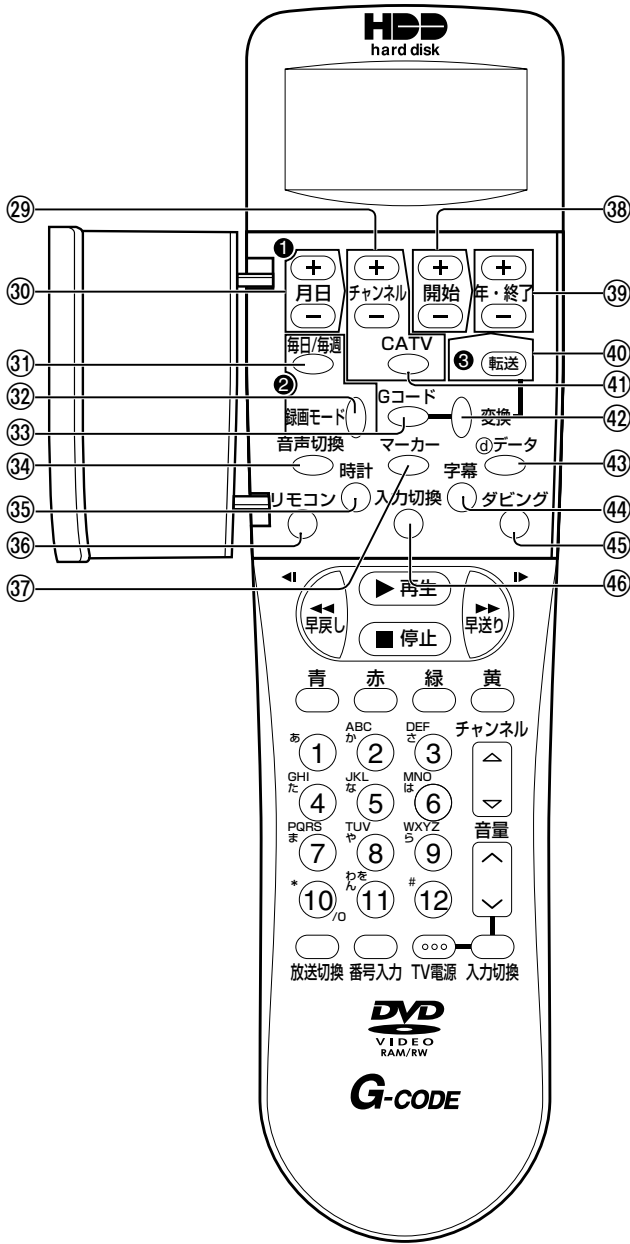
㉔ **スキップ／コマ送りボタン（『操作編』㊄、㊅ページ）**
再生中に押すと次のチャプターにスキップします。一時停止中に押すとコマ送りします。

㉕ **スキップ／コマ戻しボタン（『操作編』㊄、㊅ページ）**
再生中に押すとチャプターの先頭に戻ります。一時停止中に押すとコマ戻しします。

㉖ **早送りボタン（『操作編』㊄ページ）**
再生中の番組を早送りします。

㉗ **青、赤、緑、黄ボタン**
番組表やディスクナビゲーションなどの各画面で、色名で表示される機能を選ぶことができます。

㉘ **テレビ操作ボタン**
テレビの電源の入／切、外部入力の切換、音量調整、チャンネル選局などを行います。

フタを開けている場合

㉙ **チャンネルボタン（『操作編』50ページ）**
録画予約でチャンネルを切り換えます。

㉚ **月日ボタン（42ページ、『操作編』50ページ）**
時計や録画予約の日付を合わせます。

㉛ **毎日／毎週ボタン（『操作編』50ページ）**
録画予約する番組を毎日または毎週繰り返し録画するように設定することができます。

㉜ **録画モードボタン（『操作編』42ページ）**
録画モードの切り換えとディスク残量の確認ができます。押すたびに録画モードが切り換わります。［録画］ボタンを押すと、ここで設定した録画モードで録画されます。

㉝ **Gコードボタン（『操作編』47ページ）**
Gコード®で予約します。

㉞ **音声切換ボタン（『操作編』34、74ページ）**
音声言語やステレオ／モノラル放送を切り換えます。

㉟ **時計ボタン（42ページ）**
合わせた時計をスタートさせます。

㊱ **リモコンボタン（72ページ）**
他の機器との干渉を防ぐために、リモコンモードを変更します。

㊲ **マーカーボタン（『操作編』83ページ）**
チャプターを設定します。

㊳ **開始ボタン（42ページ／『操作編』48、50ページ）**
時計の時刻や録画予約の開始時刻を合わせます。

㊴ **年・終了ボタン（42ページ／『操作編』48、50ページ）**
時計の年や録画予約の終了時刻を合わせます。

㊵ **転送ボタン（『操作編』48、50ページ）**
録画予約した内容を本体に転送します。

㊶ **CATVボタン（『操作編』50ページ）**
Gコード予約時にチャンネルをCATV（ケーブルテレビ）のチャンネルに変更するときに押します。

㊷ **変換ボタン（『操作編』48ページ）**
入力したGコード予約番号を録画予約データに変換します。

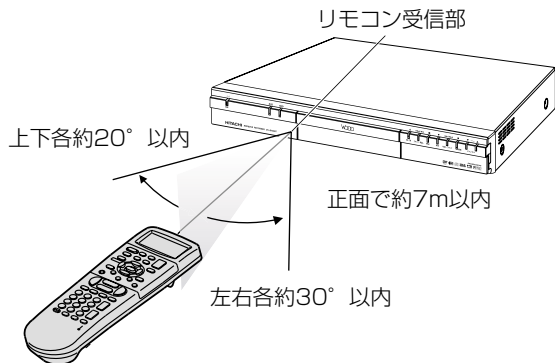
㊸ **データボタン（『操作編』37ページ）**
データ放送を見るときに押します。

㊹ **字幕ボタン（『操作編』74ページ）**
字幕の言語を切り換えます。

㊺ **ダビングボタン（『操作編』94ページ）**
ダビング画面を表示して、ハードディスク（HDD）やDVDに録画されている番組をダビングすることができます。

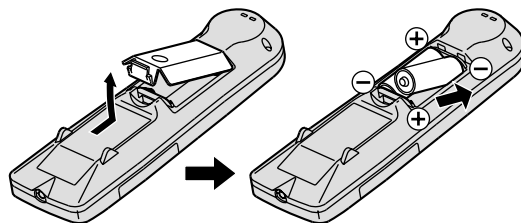
㊻ **入力切換ボタン（92ページ）**
外部機器の入力を選びます。押すたびにL2→L3→L1の順に切り換わります。

リモコンの準備

リモコンの使用範囲について

お知らせ

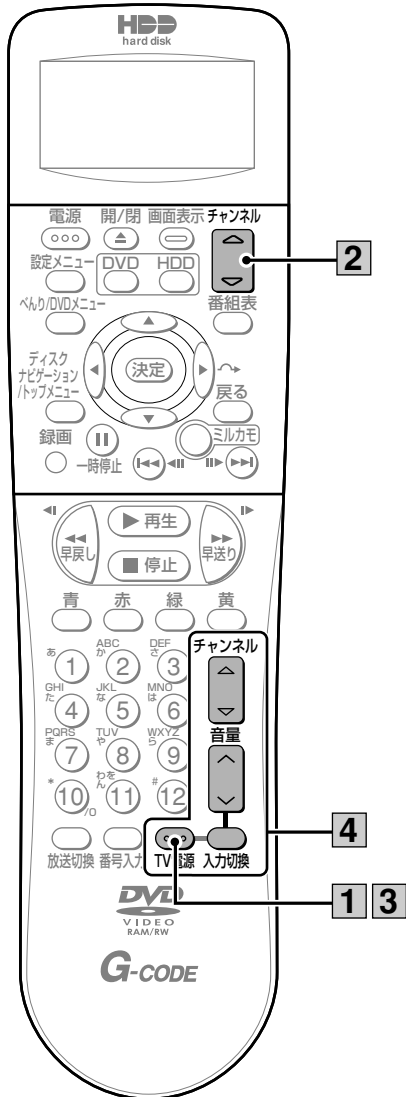
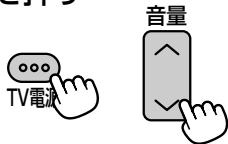
- 本機の受信部とリモコンの間に障害物を置かないでください。
- 本機の受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光を当てないでください。
- 本機をラックなどに入れて使用するときは、ラックのガラス扉の厚さや色などによって、リモコンの使用範囲が短くなることがあります。

電池を入れる

リモコンに電池を入れると、本機を操作できるようになります。
付属の単3形乾電池（2本）の⊕⊖を確認して、⊖側に押しながら入れてください。

⚠注意 乾電池の使用上のご注意

- 本機で指定されていない乾電池は使用しないでください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
- 乾電池をリモコンに挿入するときは、極性表示プラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、リモコンの表示どおりに正しく入れてください。向きを間違えて入れると、乾電池の破裂・液もれにより、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

リモコンでテレビを操作できるようにする

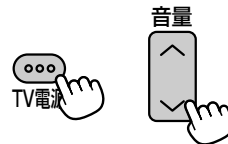
本機と接続しているテレビをリモコンで操作できるように設定します。

1 ［TV電源］を押しながら、［音量∨］を押す

2 ［チャンネル△▽］（レコーダー側）を押して、ご使用のテレビのメーカー番号を合わせる

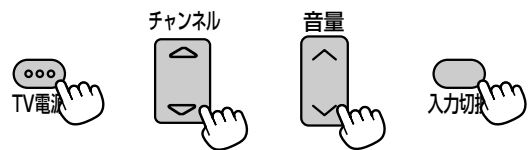
チャンネル

合わせた番号がリモコンの表示窓に表示されます。

● メーカー番号は下記の表をご覧ください。

メーカー	番号	メーカー	番号
日立	01	シャープ（1）	09
松下（1）	02	シャープ（2）	10
ビクター	03	富士通ゼネラル	11
ソニー	04	NEC	12
東芝	05	日立／松下（2）	13
三菱	06	松下（3）	14
サンヨー（1）	07	松下（4）	15
サンヨー（2）	08	パイオニア	16

3 ［TV電源］を押しながら、［音量∨］を押す

メーカー番号が設定され、リモコンでテレビを操作できるようになります。

4 リモコンをテレビに向け、［TV電源］、［入力切換］、［チャンネル△▽］（テレビ側）、［音量∧∨］などを押して、テレビを操作できるか確認する。

● テレビを操作できない場合は、テレビに付属のリモコンを使用してください。

お知らせ

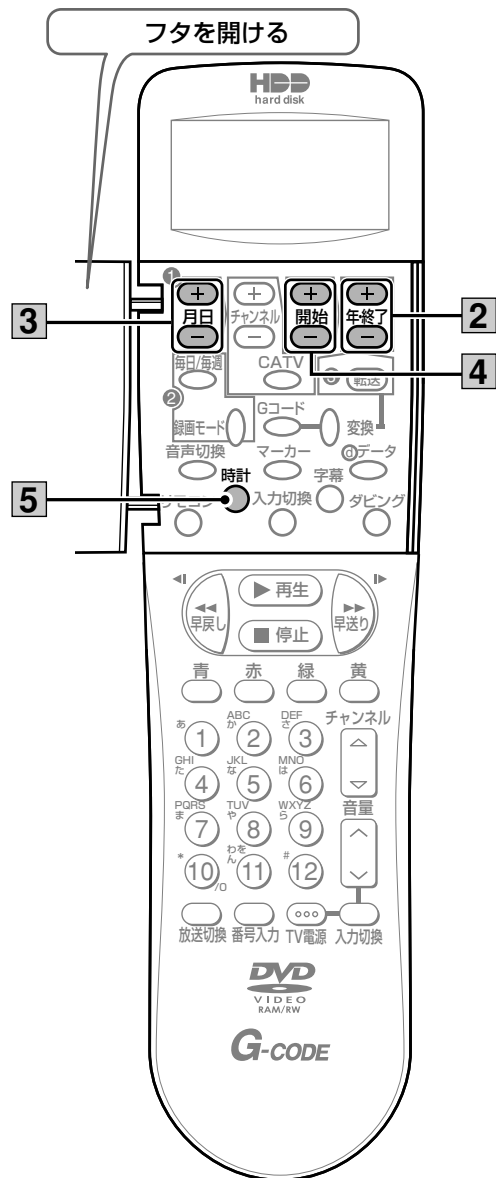
● メーカー番号が複数ある場合は、テレビの音量調節などを正しく操作できる番号を選んでください。

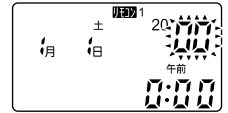
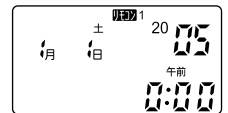
● 下記の日立製BSデジタルハイビジョンテレビをご使用の場合は、メーカー番号を「13」に合わせてください。

・W32-DH2000　・W36-DH2000

・36CL-DH2200　・32CL-DH2200

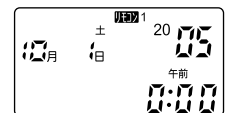
● テレビによっては本機のリモコンで操作できないことがあります。

時計を合わせる

1 リモコンのフタを開ける

年が「00」で点滅します。

2 ［年・終了＋－］を押して、年を西暦で合わせる

●西暦の下2桁を合わせてください。

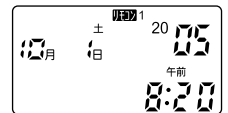
3 ［月日＋－］を押して、月日を合わせる

ボタンを長く押すと月を設定できます。

ボタンを短く押すと日を設定できます。

●曜日は自動的に設定されます。

4 ［開始＋－］を押して、時刻を合わせる

ボタンを長く押すと30分単位で設定できます。

ボタンを短く押すと1分単位で設定できます。

●時刻は12時間表示です。

5 ［時計］を押す

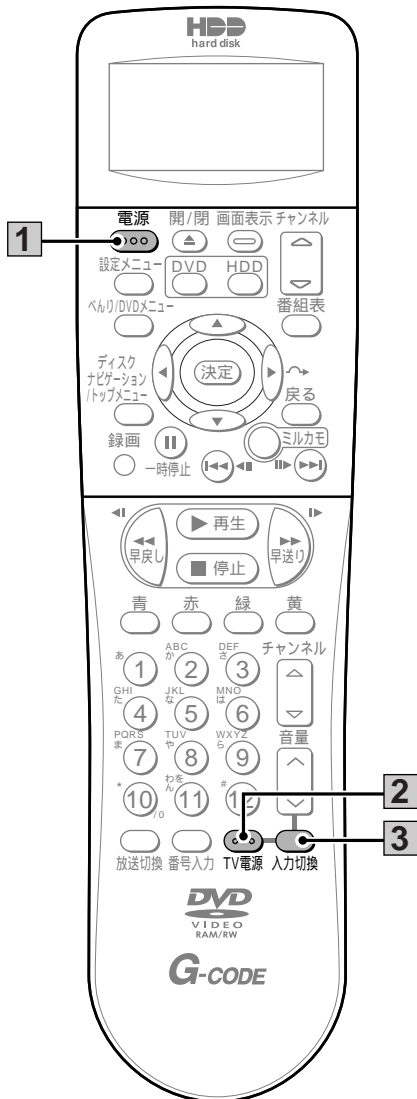
リモコンの時計が設定され、年の表示が消えます。

リモコンの時計を修正するには

リモコンの電池を換えたときや、一度合わせた時計を修正したいときは、**［時計］を2秒以上押して**から時計を合わせ直してください。

お知らせ

● 操作を約1分以上中断すると、操作途中の表示内容で時計が設定されてしまいます。そのような場合は、［時計］を2秒以上押して時計を合わせ直してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 ［電源］を押す

本体の表示窓に「HELLO」のメッセージが表示され、電源が入ります。

- 「HELLO」が繰り返し表示されている間はハードディスク（HDD）の起動処理を行っています。「HELLO」の表示が消えるまでしばらくお待ちください。（約40秒以上）
- 本体にDVDディスクを入れているときは、DVDディスクの確認処理を行うため、「HELLO」の表示が消えるまでさらに時間がかかります。

2 ［TV電源］を押す

テレビの電源が入ります。

3 ［入力切換］を押して本機の外部入力に切り換える

テレビ放送が表示されます。これでテレビ放送の視聴や録画、再生などが操作できるようになります。

- テレビ放送が表示されない場合は、［入力切換］を押して外部入力を切り換えるか、本機とテレビの接続を確認してください（㉖ページ）。

電源を切る

1 ［TV電源］を押す

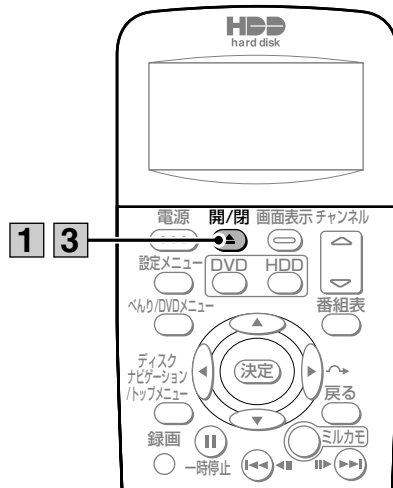
テレビの電源が切れます。

2 ［電源］を押す

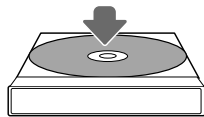
本体の表示窓に「BYE」のメッセージが表示され、電源が切れます。

- 電源を切った直後は、もう一度［電源］を押しても電源が入らない場合があります。そのような場合は、しばらく待ってからもう一度［電源］を押してください。

ディスクの入れかた／取り出しかた

ディスクを入れる

1 ［ディスクトレイ開/閉］を押す

ディスクトレイが開きます。

2 ラベル面を上にしてディスクをディスクトレイに入れる

- 両面ディスクの場合は、再生したい側の面を下にして入れてください。反対側を再生したい場合は、いったんディスクを取り出し、裏返して入れ直してください。
- DVD-RAM、DVD-Rディスクを使用する場合は、ディスクをカートリッジ、キャディー、ホルダーから取り出して使用してください。
- ディスクを取り扱うときの注意点については、『操作編』の「使用上の注意点」（⑮ページ）をご覧ください。

3 ［ディスクトレイ開/閉］を押す

ディスクトレイが閉まり、本機がディスクを読み込みます。

- ディスクトレイを手で軽く押してもディスクトレイが閉まります。

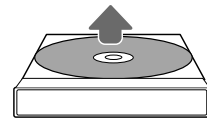
ご注意

- DVDディスクの書き込み性能は、周囲の温度によって変化することがあります。できるだけ高温にならない場所での使用をおすすめします。
- 本機で再生できないディスクをディスクトレイに入れないでください。ディスクが取り出せなくなることがあります。ディスクが取り出せなくなった場合は、『操作編』の「ディスクの取り出しかた」（⑬ページ）をご覧ください。

ディスクを取り出す

1 ［ディスクトレイ開/閉］を押す

ディスクトレイが開きます。

2 ディスクトレイからディスクを取り出す

- ディスクを取り扱うときの注意点については、『操作編』の「使用上の注意点」（⑮ページ）をご覧ください。

3 ［ディスクトレイ開/閉］を押す

ディスクトレイが閉まります。

- ディスクトレイを手で軽く押してもディスクトレイが閉まります。

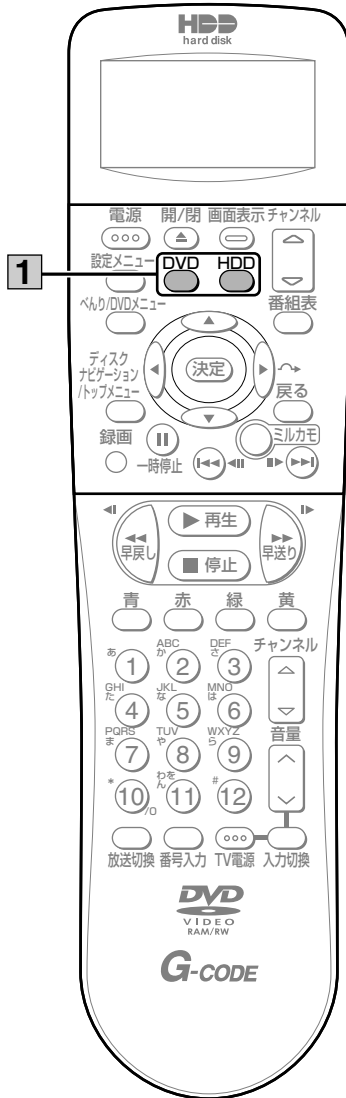
ハードディスク（HDD）とDVDの切り換えかた

ハードディスク（HDD）を操作するには

1 ［HDD］を押す

本体のHDDランプ（青色）が点灯し、ハードディスク（HDD）の操作に切り換わります。

お知らせ

- 電源を入れて本体表示窓の「HELLO」が消えるまでは、［HDD］を押してもハードディスク（HDD）に切り換えることができません。

DVDを操作するには

1 ［DVD］を押す

本体のDVDランプ（緑色）が点灯し、DVDの操作に切り換わります。

お知らせ

- 電源を入れて本体表示窓の「HELLO」が消えるまでは、［DVD］を押してもDVDに切り換えることができません。
- ディスクを読み込んでいる間は、DVDを操作できません。

本体の時計を合わせる

地上アナログ放送やCATV（ケーブルテレビ）などのアナログ番組を録画予約する前に、時計が合っていることを確認してください。時計が合っていない場合は、本体の時計を合わせてください。
デジタル放送を受信している場合は、電源を入れるたびに時計を自動的に合わせるため、時計を合わせる必要はありません。

時計を合わせる

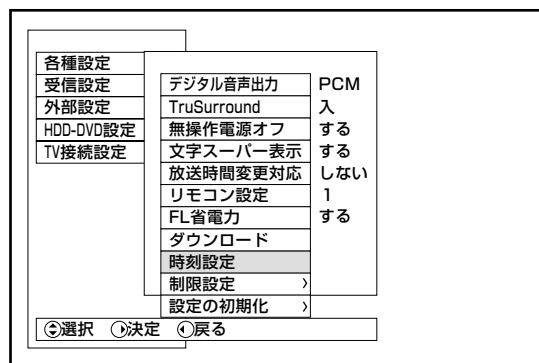
1 ［設定メニュー］を押す

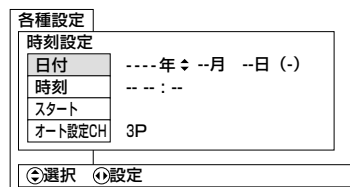
機能設定画面が表示されます。

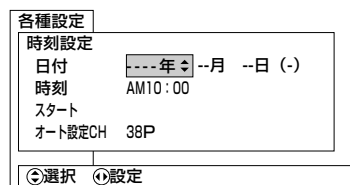
2 ［カーソル▲▼］で「各種設定」を選び、［決定］を押す

各種設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で「時刻設定」を選び、［決定］を押す

時刻設定画面が表示されます。

4 ［カーソル▲▼］で「日付」を選び、［決定］を押す

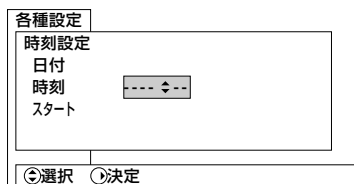
日付設定欄にカーソルが表示されます。

5 ［カーソル▲▼］で「年」を合わせ、［決定］を押す

「年」が設定され、「月」にカーソルが移動します。

- 同様の操作で「月」と「日」を合わせてください。「日」を設定すると、自動的に「曜日」が設定されます。
- 日付を設定し直したい場合は、［カーソル◀▶］を押して設定する項目を選んでください。

6 ［カーソル▲▼］で「時刻」を選び、［決定］を押す

時刻設定欄にカーソルが表示されます。

7 ［カーソル▲▼］で「時」を合わせ、［決定］を押す

「時」が設定され、「分」にカーソルが移動します。

- 同様の操作で「分」を合わせてください。
- 時刻を設定し直したい場合は、［カーソル◀▶］を押して設定する項目を選んでください。
- 本機の時刻表示は12時間表示です。

8 ［カーソル▲▼］で「スタート」を選び、［決定］を押す

本体の時計が設定されます。

- ［決定］は時報などに合わせて押してください。

9 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- デジタル放送を受信している場合は、時計を手動で合わせることができません。

自動時刻合わせを設定する（オート設定CH）

毎日正午に、NHK教育テレビの時報に合わせて2分以内の誤差を自動調整するように設定できます。2分以上時刻がずれている場合は、時計を合わせ直してください。
デジタル放送を受信している場合は、時刻情報を定期的に受信するため本機能を設定する必要はありません。

1 時刻設定画面で「オート設定CH」を選ぶ

オート設定CH画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］でNHK教育テレビのチャンネル番号を選び、［決定］を押す

自動時刻合わせが設定されます。

- チャンネルボタン番号は、必ずNHK教育テレビを設定してください。
- 未設定の状態にするには「・・P」を選択してください。

3 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- 放送番組の編成によっては時報が放送されないことがあります。また、音楽と一緒に鳴る時報では、時刻は自動調整されません。
- 本機能を設定すると、時刻設定ができなくなります。

地上アナログ放送のチャンネルを設定する

お住まいの地域の郵便番号および地域番号を入力すれば、地上アナログ放送のチャンネルを本機が自動的に設定します。
また、チャンネルを設定すると、お住まいの地域に関するデジタル放送の緊急放送やデータ放送を受信することもできます。

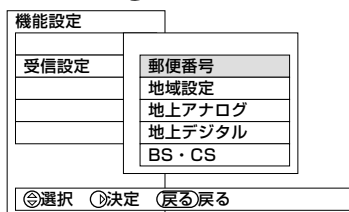
1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

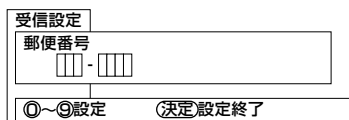
2 ［カーソル▲▼］で「受信設定」を選び、［決定］を押す

受信設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で「郵便番号」を選び、［決定］を押す

郵便番号の入力画面が表示されます。

4 数字ボタンでお住いの地域の郵便番号（7桁）を入力し、［決定］を押す

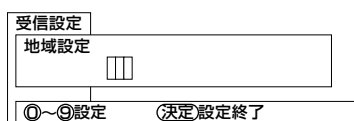
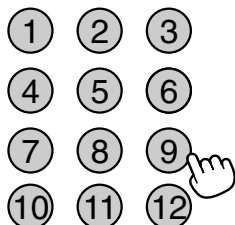
郵便番号が設定されます。

受信設定
郵便番号
⓪～⑨設定　決定 設定終了

●「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩］を押してください。

5 ［カーソル▲▼］で「地域設定」を選び、［決定］を押す

地域番号の入力画面が表示されます。

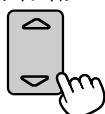
6 数字ボタンでお住いの地域の地域番号を入力し、[決定] を押す

入力した郵便番号と地域番号にもとづいて、地上アナログ放送のチャンネルが自動的に設定されます。

- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩］を押してください。
- 地域番号については、地域番号一覧表（㊿ページ）をご覧ください。
- 地域番号の頭に「0」がつく場合は、「0」を省略することができます。

7 [設定メニュー] を押す

設定メニュー

機能設定画面が消えます。

8 [チャンネル△▽] を押してチャンネルを切り換え、チャンネル番号と「地域番号一覧表」の放送局が合っているか確認する

チャンネルの手動設定について

以下のような場合は、チャンネルを手動で設定してください。

- チャンネルを自動的に設定したあと、各チャンネルを変更、削除、追加するとき
- テレビに表示されているチャンネル番号と映っている放送局が合っていないとき
- 地域番号一覧表に記載されていない地域のチャンネルを設定するとき

チャンネルの手動設定については、『「チャンネルを手動で合わせる」（60ページ）をご覧ください。

お知らせ

- ［チャンネル］を押してチャンネルを選局するとき、放送局が割り当てられていない空きチャンネルを自動的にスキップするように設定することができます（63ページ）。空きチャンネルをスキップするように設定しておくと、放送局が割り当てられているチャンネルのみ切り換えられるので、見たいチャンネルにすばやく切り換えることができます。

地域番号一覧表

地上デジタル放送用のチャンネルを確保するために、現在一部のアナログ放送局（中継局）でチャンネルを変更する作業が行われています。変更の対象となる地域にお住まいで、従来の地域番号でチャンネル受信ができない場合は、新しいチャンネル配置の地域番号（※マーク）で設定してください。
（例）宇都宮　009（従来の地域番号）
宇都宮※141（新しい地域番号）

表の見かた

東京 23区 013		
1 NHK総合	2	3 NHK教育
4 日本テレビ	●14 東京MXテレビ	6 TBS
●38 テレビ埼玉	8 フジテレビジョン	●42 TVKテレビ
10 テレビ朝日	●46 ちばテレビ	12 テレビ東京

北海道

ボタン	北海道 札幌(江別) 001	北海道 旭川 048
1	1 HBC 北海道放送	
2		2 NHK 教育
3	3 NHK 総合	
4	17 TVH	33 TVH
5	5 STV 札幌テレビ	37 UHB
6		39 HTB 北海道テレビ
7		7 STV 札幌テレビ
8	27 UHB	
9		9 NHK 総合
10	35 HTB 北海道テレビ	
11		11 HBC 北海道放送
12	12 NHK 教育	

ボタン	北海道 北見 049	北海道 帯広 050	北海道 釧路 051	北海道 函館 052	北海道 苫小牧 066
1				21 TVH	47 TVH
2	2 NHK 教育		2 NHK 教育	27 UHB	49 NHK 教育
3			39 HTB 北海道テレビ	35 HTB 北海道テレビ	51 NHK 総合
4		4 NHK 総合	41 UHB	4 NHK 総合	53 UHB
5					55 HBC 北海道放送
6		6 HBC 北海道放送		6 HBC 北海道放送	57 STV 札幌テレビ
7	7 STV 札幌テレビ	32 UHB	7 STV 札幌テレビ		61 HTB 北海道テレビ
8	53 HBC 北海道放送				
9	9 NHK 総合	34 HTB 北海道テレビ	9 NHK 総合		
10	59 UHB	10 STV 札幌テレビ		10 NHK 教育	
11	61 HTB 北海道テレビ		11 HBC 北海道放送		
12		12 NHK 教育		12 STV 札幌テレビ	

ボタン	北海道 小樽 067	北海道 室蘭 068	北海道 名寄 100	北海道 稚内 101	北海道 網走 102
1			24 HTB 北海道テレビ		1 HBC 北海道放送
2	2 NHK 教育	2 NHK 教育			
3		29 TVH	26 UHB		3 NHK 総合
4	4 HTB 北海道テレビ	37 UHB	4 NHK 総合	22 STV 札幌テレビ	
5		39 HTB 北海道テレビ		24 HTB 北海道テレビ	5 STV 札幌テレビ
6			6 STV 札幌テレビ	26 UHB	
7	7 STV 札幌テレビ	7 STV 札幌テレビ		28 NHK 総合	27 UHB
8				30 NHK 教育	
9	9 HBC 北海道放送	9 NHK 総合			35 HTB 北海道テレビ
10	24 TVH		10 HBC 北海道放送	10 HBC 北海道放送	
11	11 NHK 総合	11 HBC 北海道放送			
12	26 UHB		12 NHK 教育		12 NHK 教育

東　北

ボタン	青森 青森(弘前) 002	青森 八戸 053	青森 むつ 103	岩手 盛岡 003	岩手 釜石 104
1	1 RAB 青森放送				
2					2 NHK 総合
3	3 NHK 総合				
4		31 青森朝日放送	4 NHK 総合	4 NHK 総合	58 テレビ岩手
5	5 NHK 教育				
6		33 ATV 青森テレビ	56 青森朝日放送	6 IBC テレビ	60 めんこいテレビ
7	34 青森朝日放送	7 NHK 教育			
8			58 ATV 青森テレビ	8 NHK 教育	62 岩手朝日テレビ
9	38 ATV 青森テレビ	9 NHK 総合			
10			10 RAB 青森放送	33 めんこいテレビ	10 IBC テレビ
11		11 RAB 青森放送		31 岩手朝日テレビ	
12			12 NHK 教育	35 テレビ岩手	12 NHK 教育

地域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岩手／二戸 105		2 IBC テレビ			5 NHK 総合		27 岩手朝日 テレビ	29 めんこい テレビ	37 テレビ 岩手			12 NHK 教育
宮城／仙台 004	1 TBC テレビ		3 NHK 総合		5 NHK 教育		32 KHB 東日本放送		34 ミヤギ テレビ			12 仙台放送
宮城／石巻 106	59 TBC テレビ		51 NHK 総合		49 NHK 教育		61 KHB 東日本放送		55 ミヤギ テレビ			57 仙台放送
宮城／気仙沼 107		2 NHK 総合		4 TBC テレビ		6 仙台放送	37 ミヤギ テレビ	43 KHB 東日本放送		10 NHK 教育		
秋田／秋田 005		2 NHK 教育					31 AAB秋田 朝日放送	37 AKT 秋田テレビ	9 NHK 総合		11 ABS 秋田放送	
秋田／大館 054				4 NHK 総合	57 AKT 秋田テレビ	6 ABS 秋田放送		8 NHK 教育				59 AAB秋田 朝日放送
秋田／大曲(横手) 108		43 NHK 教育					41 AAB秋田 朝日放送	51 AKT 秋田テレビ	45 NHK 総合		47 ABS 秋田放送	
山形／山形 006				4 NHK 教育		36 テレビ ユー山形		8 NHK 総合		10 YBC 山形放送	30 さくらんぼ テレビ	38 YTS 山形テレビ
山形／鶴岡(酒田) 055	1 YBC 山形放送		3 NHK 総合			6 NHK 教育		22 テレビ ユー山形		39 YTS 山形テレビ		24 さくらんぼ テレビ
山形／米沢 109				50 NHK 教育		56 テレビ ユー山形		52 NHK 総合		54 YBC 山形放送	60 さくらんぼ テレビ	58 YTS 山形テレビ
福島／福島(郡山) 007		2 NHK 教育		31 テレビ ユー福島			33 福島中央 テレビ	35 KFB 福島放送	9 NHK 総合		11 福島 テレビ	
福島／会津若松 056	1 NHK 総合		3 NHK 教育			6 福島 テレビ		37 福島中央 テレビ	41 KFB 福島放送			47 テレビ ユー福島
福島／いわき 057		32 テレビ ユー福島		4 NHK 総合		34 福島中央 テレビ		8 福島 テレビ		10 NHK 教育		36 KFB 福島放送

関東

地域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
茨城／水戸 008	44(1) NHK 総合		46(3) NHK 教育	42(4) 日本 テレビ		40(6) TBS		38(8) フジ テレビジョン		36(10) テレビ 朝日		32(12) テレビ 東京
茨城／日立(ひたちなか) 069	52(1) NHK 総合		50(3) NHK 教育	54(4) 日本 テレビ		56(6) TBS		58(8) フジ テレビジョン		60(10) テレビ 朝日		62(12) テレビ 東京
栃木／宇都宮 009	29(1) NHK 総合		27(3) NHK 教育	25(4) 日本 テレビ		23(6) TBS	●31 とちぎ テレビ	21(8) フジ テレビジョン		19(10) テレビ 朝日		17(12) テレビ 東京
栃木／宇都宮※ 141	51(1) NHK 総合		49(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS	●31 とちぎ テレビ	57(8) フジ テレビジョン		41(10) テレビ 朝日		44(12) テレビ 東京
栃木／矢板 070	51(1) NHK 総合		49(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS	●33(31) とちぎ テレビ	57(8) フジ テレビジョン		59(10) テレビ 朝日		61(12) テレビ 東京
栃木／矢板※ 142	40(1) NHK 総合		30(3) NHK 教育	36(4) 日本 テレビ		42(6) TBS	●33(31) とちぎ テレビ	45(8) フジ テレビジョン		59(10) テレビ 朝日		61(12) テレビ 東京
群馬／前橋(高崎) 010	52(1) NHK 総合		50(3) NHK 教育	54(4) 日本 テレビ		56(6) TBS		58(8) フジ テレビジョン		60(10) テレビ 朝日	●48 群馬 テレビ	62(12) テレビ 東京
群馬／桐生 071	43(1) NHK 総合		45(3) NHK 教育	39(4) 日本 テレビ		37(6) TBS		35(8) フジ テレビジョン		33(10) テレビ 朝日	●41(48) 群馬 テレビ	31(12) テレビ 東京
群馬／桐生※ 143	51(1) NHK 総合		57(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS		35(8) フジ テレビジョン		59(10) テレビ 朝日	●41(48) 群馬 テレビ	61(12) テレビ 東京
埼玉／さいたま 011	1 NHK 総合		3 NHK 教育	4 日本 テレビ	●14 東京MX テレビ	6 TBS		8 フジ テレビジョン	●38 テレビ 埼玉	10 テレビ 朝日		12 テレビ 東京
埼玉／熊谷(児玉) 072	33(1) NHK 総合		35(3) NHK 教育	25(4) 日本 テレビ		23(6) TBS		21(8) フジ テレビジョン	●28(38) テレビ 埼玉	19(10) テレビ 朝日		17(12) テレビ 東京
埼玉／熊谷(児玉)※144	51(1) NHK 総合		35(3) NHK 教育	53(4) 日本 テレビ		55(6) TBS		57(8) フジ テレビジョン	●30(38) テレビ 埼玉	59(10) テレビ 朝日		61(12) テレビ 東京

埼玉	秩父	110
51(1) NHK総合		49(3) NHK教育
53(4) 日本テレビ		55(6) TBS
	57(8) フジテレビジョン	●47(38) テレビ埼玉
59(10) テレビ朝日		61(12) テレビ東京

埼玉	秩父※	145
14(1) NHK総合		49(3) NHK教育
16(4) 日本テレビ		18(6) TBS
	29(8) フジテレビジョン	●47(38) テレビ埼玉
38(10) テレビ朝日		44(12) テレビ東京

千葉	千葉	012
1 NHK総合		3 NHK教育
4 日本テレビ	●14 東京MXテレビ	6 TBS
	8 フジテレビジョン	
10 テレビ朝日	●46 ちばテレビ	12 テレビ東京

千葉	銚子	111
51(1) NHK総合		49(3) NHK教育
53(4) 日本テレビ		55(6) TBS
	57(8) フジテレビジョン	
59(10) テレビ朝日	●39(46) ちばテレビ	61(12) テレビ東京

東京	23区	013
1 NHK総合		3 NHK教育
4 日本テレビ	●14 東京MXテレビ	6 TBS
●38 テレビ埼玉	8 フジテレビジョン	●42 TVKテレビ
10 テレビ朝日	●46 ちばテレビ	12 テレビ東京

東京	八王子	073
51(1) NHK総合		49(3) NHK教育
53(4) 日本テレビ	●47(14) 東京MXテレビ	55(6) TBS
	57(8) フジテレビジョン	
59(10) テレビ朝日		61(12) テレビ東京

東京	八王子※	146
33(1) NHK総合		29(3) NHK教育
35(4) 日本テレビ	●40(14) 東京MXテレビ	37(6) TBS
	31(8) フジテレビジョン	
45(10) テレビ朝日		62(12) テレビ東京

東京	多摩	074
30(1) NHK総合		32(3) NHK教育
26(4) 日本テレビ	●28(14) 東京MXテレビ	24(6) TBS
	22(8) フジテレビジョン	
20(10) テレビ朝日		18(12) テレビ東京

東京	多摩※	147
49(1) NHK総合		47(3) NHK教育
51(4) 日本テレビ	●61(14) 東京MXテレビ	53(6) TBS
	55(8) フジテレビジョン	
57(10) テレビ朝日		59(12) テレビ東京

神奈川	横浜1	112
52(1) NHK総合		50(3) NHK教育
54(4) 日本テレビ		56(6) TBS
	58(8) フジテレビジョン	●48(42) TVKテレビ
60(10) テレビ朝日		62(12) テレビ東京

神奈川	横浜2	014
1 NHK総合		3 NHK教育
4 日本テレビ	●14 東京MXテレビ	6 TBS
	8 フジテレビジョン	●42 TVKテレビ
10 テレビ朝日		12 テレビ東京

神奈川	平塚(茅ヶ崎)	075
33(1) NHK総合		29(3) NHK教育
35(4) 日本テレビ		37(6) TBS
	39(8) フジテレビジョン	●31(42) TVKテレビ
41(10) テレビ朝日		43(12) テレビ東京

神奈川	小田原	076
52(1) NHK総合		50(3) NHK教育
54(4) 日本テレビ		56(6) TBS
	58(8) フジテレビジョン	●46(42) TVKテレビ
60(10) テレビ朝日		62(12) テレビ東京

神奈川	秦野	077
47(1) NHK総合		49(3) NHK教育
51(4) 日本テレビ		53(6) TBS
	55(8) フジテレビジョン	●61(42) TVKテレビ
57(10) テレビ朝日		59(12) テレビ東京

甲信越

新潟	新潟(長岡)	015
21 新潟テレビ21	5 BSN	29 TeNYテレビ新潟
	8 NHK総合	
35 NST		12 NHK教育

新潟	上越	078
1 NHK教育		3 NHK総合
		27 TeNYテレビ新潟
	33 NST	
10 BSN		37 新潟テレビ21

富山	富山	016
1 KNB北日本放送		3 NHK総合
	32 チューリップテレビ	
10 NHK教育		34 BBT富山テレビ

富山	高岡	079
50 KNB北日本放送		48 NHK総合
	42 チューリップテレビ	
46 NHK教育		44 BBT富山テレビ

石川	金沢(小松)	017
4 NHK総合		6 MRO
25 北陸朝日放送	8 NHK教育	
33 テレビ金沢		37 石川テレビ

石川	七尾	115
	5 NHK教育	
59 北陸朝日放送		9 NHK総合
57 テレビ金沢	11 MRO	55 石川テレビ

福井	福井	018
		3 NHK教育
		9 NHK総合
	11 FBCテレビ	39 福井テレビ

福井	敦賀	116
38 福井テレビ		6 NHK総合
	8 FBCテレビ	
		12 NHK教育

山梨	甲府	019
1 NHK総合		3 NHK教育
	5 YBS山梨放送	37 UTY

長野	長野1	113
	44(2) NHK総合	
	50(20) ABN長野朝日放送	
40(30) テレビ信州	42(38) NBS長野放送	46(9) NHK教育
	48(11) SBC信越放送	

長野	長野2	020
	2 NHK総合	
	20 ABN長野朝日放送	
30 テレビ信州	38 NBS長野放送	9 NHK教育
	11 SBC信越放送	

地域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
長野 飯田 058	40 NBS 長野放送		3 NHK 教育	4 NHK 総合		6 SBC 信越放送	42 テレビ信州		44 ABN長野朝日放送			
長野 松本 080		44 NHK 総合			50 ABN長野朝日放送		48 テレビ信州	42 NBS 長野放送	46 NHK 教育		40 SBC 信越放送	
長野 岡谷(諏訪) 114				4 NHK 総合		6 SBC 信越放送		8 NHK 教育		47 NBS 長野放送	59 テレビ信州	61 ABN長野朝日放送

東海

地域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
岐阜 岐阜(大垣) 021	1 東海テレビ		3 NHK 総合		5 CBC		35 中京テレビ	25 テレビ愛知	9 NHK 教育		11 メ~テレ	37 岐阜テレビ
岐阜 高山 117		2 NHK 教育		4 NHK 総合		6 CBC		8 東海テレビ		26 中京テレビ	38 岐阜テレビ	12 メ~テレ
岐阜 中津川 118		26 中京テレビ		4 NHK 総合		6 メ~テレ		8 CBC		10 東海テレビ	28 岐阜テレビ	12 NHK 教育
静岡 静岡(清水) 022		2 NHK 教育		31 静岡第一テレビ	33 静岡朝日テレビ	35 テレビ静岡			9 NHK 総合		11 SBS	
静岡 浜松 059				4 NHK 総合		6 SBS		8 NHK 教育	28 静岡朝日テレビ	30 静岡第一テレビ		34 テレビ静岡
静岡 富士(富士宮) 081		54 NHK 教育		27 静岡第一テレビ		29 静岡朝日テレビ			52 NHK 総合		41 SBS	39 テレビ静岡
静岡 沼津(三島) 082		51 NHK 教育		61 静岡第一テレビ		57 静岡朝日テレビ			53 NHK 総合		55 SBS	59 テレビ静岡
静岡 島田 083	56(1) NHK 総合		18(3) NHK 教育		22(5) SBS			48 静岡第一テレビ		50 静岡朝日テレビ		58 テレビ静岡
静岡 島田※ 150	56(1) NHK 総合		54(3) NHK 教育		62(5) SBS			48 静岡第一テレビ		50 静岡朝日テレビ		58 テレビ静岡
静岡 藤枝 119	42 NHK 総合		44 NHK 教育		40 SBS			24 静岡第一テレビ		26 静岡朝日テレビ		38 テレビ静岡
愛知 名古屋 023	1 東海テレビ		3 NHK 総合		5 CBC		25 テレビ愛知	●37 岐阜テレビ	9 NHK 教育	●33 三重テレビ	11 メ~テレ	35 中京テレビ
愛知 豊橋(豊川) 084	56(1) 東海テレビ		54(3) NHK 総合		62(5) CBC		52(25) テレビ愛知		50(9) NHK 教育		60(11) メ~テレ	58(35) 中京テレビ
愛知 豊田 085	57(1) 東海テレビ		53(3) NHK 総合		55(5) CBC		49(25) テレビ愛知		51(9) NHK 教育		61(11) メ~テレ	59(35) 中京テレビ
愛知 蒲郡田原 120	38(1) 東海テレビ		44(3) NHK 総合		36(5) CBC		32(25) テレビ愛知		46(9) NHK 教育		42(11) メ~テレ	40(35) 中京テレビ

近畿

地域	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
三重 津 024	1 東海テレビ		3 NHK 総合		5 CBC		25 テレビ愛知		9 NHK 教育	33 三重テレビ	11 メ~テレ	35 中京テレビ
三重 伊勢 086	57(1) 東海テレビ		53(3) NHK 総合		55(5) CBC				49(9) NHK 教育	59(33) 三重テレビ	61(11) メ~テレ	47(35) 中京テレビ
三重 名張(上野) 121	52 NHK 総合	2 NHK 総合	54 中京テレビ	4 MBS 毎日放送	56 メ~テレ	6 ABC テレビ	58 三重テレビ	8 関西テレビ	60 CBC	10 よみうりテレビ	62 東海テレビ	12 NHK 教育
滋賀 大津 025		28(2) NHK 総合		36(4) MBS 毎日放送		38(6) ABC テレビ		40(8) 関西テレビ	●34 KBS 京都	42(10) よみうりテレビ	30 BBC びわ湖放送	46(12) NHK 教育
滋賀 彦根 087		52(2) NHK 総合		54(4) MBS 毎日放送		58(6) ABC テレビ		60(8) 関西テレビ	●34 KBS 京都	62(10) よみうりテレビ	56(30) BBC びわ湖放送	50(12) NHK 教育
京都 京都 026		2 NHK 総合		4 MBS 毎日放送	●19 テレビ大阪	6 ABC テレビ	●26 奈良テレビ	8 関西テレビ	34 KBS 京都	10 よみうりテレビ	●36 サンテレビ	12 NHK 教育
京都 舞鶴1 122		43(2) NHK 総合		33(4) MBS 毎日放送		35(6) ABC テレビ		39(8) 関西テレビ	37(34) KBS 京都	41(10) よみうりテレビ		45(12) NHK 教育
京都 舞鶴2 123		51(2) NHK 総合		53(4) MBS 毎日放送		55(6) ABC テレビ		59(8) 関西テレビ	57(34) KBS 京都	61(10) よみうりテレビ		49(12) NHK 教育

京都	福知山 124	
	50(2) NHK 総合	
54(4) MBS 毎日放送	56(34) KBS 京都	58(6) ABC テレビ
	60(8) 関西 テレビ	
62(10) よみうり テレビ		52(12) NHK 教育

京都	宮津 125	
	43(2) NHK 総合	
33(4) MBS 毎日放送		35(6) ABC テレビ
	37(8) 関西 テレビ	39(34) KBS 京都
41(10) よみうり テレビ		45(12) NHK 教育

大阪	大阪 027	
	2 NHK 総合	
4 MBS 毎日放送	19 テレビ 大阪	6 ABC テレビ
●30 テレビ 和歌山	8 関西 テレビ	●34 KBS 京都
10 よみうり テレビ	●36 サン テレビ	12 NHK 教育

兵庫	神戸 028	
	2 NHK 総合	36 サン テレビ
4 MBS 毎日放送	●19 テレビ 大阪	6 ABC テレビ
●30 テレビ 和歌山	8 関西 テレビ	●34 KBS 京都
10 よみうり テレビ		12 NHK 教育

兵庫	神戸北 130	
	28(2) NHK 総合	36 サン テレビ
18(4) MBS 毎日放送	19 テレビ 大阪	20(6) ABC テレビ
	22(8) 関西 テレビ	
24(10) よみうり テレビ		26(12) NHK 教育

兵庫	神戸北※ 148	
	28(2) NHK 総合	36 サン テレビ
31(4) MBS 毎日放送	19 テレビ 大阪	41(6) ABC テレビ
	43(8) 関西 テレビ	
47(10) よみうり テレビ		45(12) NHK 教育

兵庫	川西1 131	
	29(2) NHK 総合	33(36) サン テレビ
35(4) MBS 毎日放送	21(19) テレビ 大阪	37(6) ABC テレビ
	39(8) 関西 テレビ	
41(10) よみうり テレビ		31(12) NHK 教育

兵庫	川西2 132	
	49(2) NHK 総合	53(36) サン テレビ
55(4) MBS 毎日放送	47(19) テレビ 大阪	57(6) ABC テレビ
	59(8) 関西 テレビ	
61(10) よみうり テレビ		51(12) NHK 教育

兵庫	姫路 088	
	50(2) NHK 総合	56(36) サン テレビ
54(4) MBS 毎日放送		58(6) ABC テレビ
	60(8) 関西 テレビ	
62(10) よみうり テレビ		52(12) NHK 教育

兵庫	明石(加古川) 089	
	51(2) NHK 総合	55(36) サン テレビ
53(4) MBS 毎日放送	●19 テレビ 大阪	57(6) ABC テレビ
	59(8) 関西 テレビ	
61(10) よみうり テレビ		49(12) NHK 教育

兵庫	三木 090	
	44(2) NHK 総合	36 サン テレビ
34(4) MBS 毎日放送		38(6) ABC テレビ
	40(8) 関西 テレビ	
42(10) よみうり テレビ		46(12) NHK 教育

奈良	奈良(橿原) 029	
	2 NHK 総合	
4 MBS 毎日放送	●19 テレビ 大阪	6 ABC テレビ
	8 関西 テレビ	55 奈良 テレビ
10 よみうり テレビ	●34 KBS 京都	12 NHK 教育

奈良	五条 126	
	43(2) NHK 総合	
33(4) MBS 毎日放送		35(6) ABC テレビ
	37(8) 関西 テレビ	41(55) 奈良 テレビ
39(10) よみうり テレビ		45(12) NHK 教育

和歌山	和歌山 030	
	32(2) NHK 総合	
42(4) MBS 毎日放送		44(6) ABC テレビ
	46(8) 関西 テレビ	
48(10) よみうり テレビ	30 テレビ 和歌山	26(12) NHK 教育

和歌山	和歌山※ 149	
	32(2) NHK 総合	
42(4) MBS 毎日放送		44(6) ABC テレビ
	46(8) 関西 テレビ	
48(10) よみうり テレビ	30 テレビ 和歌山	25(12) NHK 教育

和歌山	田辺(白浜) 127	
	50(2) NHK 総合	
54(4) MBS 毎日放送		58(6) ABC テレビ
	60(8) 関西 テレビ	
62(10) よみうり テレビ	56(30) テレビ 和歌山	52(12) NHK 教育

和歌山	田辺(槙山) 128	
	16(2) NHK 総合	
22(4) MBS 毎日放送		25(6) ABC テレビ
	27(8) 関西 テレビ	
29(10) よみうり テレビ	20(30) テレビ 和歌山	18(12) NHK 教育

和歌山	御坊 129	
	49(2) NHK 総合	
53(4) MBS 毎日放送		57(6) ABC テレビ
	59(8) 関西 テレビ	
61(10) よみうり テレビ	55(30) テレビ 和歌山	51(12) NHK 教育

中国

鳥取	鳥取 031	
1 日本海 テレビ		3 NHK 総合
4 NHK 教育		
22 BSS テレビ		24 山陰中央 テレビ

島根	松江 032	
30 日本海 テレビ		
		6 NHK 総合
	34 山陰中央 テレビ	
10 BSS テレビ		12 NHK 教育

島根	浜田 061	
	2 NHK 総合	54 日本海 テレビ
	5 BSS テレビ	
	58 山陰中央 テレビ	9 NHK 教育

岡山	岡山(倉敷) 033	
23 テレビ せとうち	25 KSB瀬戸 内海放送	3 NHK 教育
	5 NHK 総合	
35 OHK テレビ		9 RNC 西日本テレビ
	11 RSK テレビ	

岡山	津山 133	
	2 NHK 総合	
7 RSK テレビ	56 テレビ せとうち	58 RNC 西日本テレビ
60 OHK テレビ	62 KSB瀬戸 内海放送	12 NHK 教育

岡山	笠岡 134	
	2 NHK 総合	
4 NHK 教育		6 RSK テレビ
	17 RNC 西日本テレビ	
19 テレビ せとうち	21 KSB瀬戸 内海放送	60 OHK テレビ

岡山	笠岡※ 151	
	2 NHK 総合	
4 NHK 教育		6 RSK テレビ
	34 RNC 西日本テレビ	
22 テレビ せとうち	55 KSB瀬戸 内海放送	60 OHK テレビ

広島	広島 034	
31 TSS		3 NHK総合
4 RCCテレビ		
7 NHK教育		
35 広島ホームテレビ		12 広島テレビ

広島	福山 060	
		3 NHK教育
	5 NHK総合	54 TSS
7 RCCテレビ		57 広島ホームテレビ
	11 広島テレビ	

広島	尾道 135	
1 NHK総合		24 広島ホームテレビ
	26 TSS	
7 NHK教育		
10 RCCテレビ		12 広島テレビ

広島	呉 091	
1 NHK教育		24 広島ホームテレビ
	5 広島テレビ	
26 TSS		9 RCCテレビ
	11 NHK総合	

山口	山口 035	
1 NHK教育		
28 YAB山口朝日		
38 TYSテレビ山口		9 NHK総合
	11 KRY山口放送	

山口	下関 092	
	2 KBC九州朝日放送	33 TYSテレビ山口
4 KRY山口放送	35 FBS福岡放送	6 NHK総合
39 NHK総合	8 RKB毎日放送	23 TVQ九州放送
10 TNCテレビ西日本	21 YAB山口朝日	12 NHK教育

山口	宇部 093	
14 NHK教育		
	31 YAB山口朝日	
20 TYSテレビ山口		16 NHK総合
	18 KRY山口放送	

山口	宇部※ 152	
55 NHK教育		
	24 YAB山口朝日	
44 TYSテレビ山口		58 NHK総合
	61 KRY山口放送	

山口	岩国 094	
		3 NHK総合
4 RCCテレビ	31 TSS	35 広島ホームテレビ
7 NHK教育		28 YAB山口朝日
22 TYSテレビ山口	11 KRY山口放送	12 広島テレビ

山口	岩国※ 153	
		3 NHK総合
4 RCCテレビ	31 TSS	35 広島ホームテレビ
7 NHK教育		28 YAB山口朝日
62 TYSテレビ山口	11 KRY山口放送	12 広島テレビ

四国

徳島	徳島 036	
1 四国放送		3 NHK総合
4 MBS毎日放送		6 ABCテレビ
	8 関西テレビ	
10 よみうりテレビ		12 NHK教育

香川	高松 037	
19 テレビせとうち	33 KSB瀬戸内海放送	39 NHK教育
	37 NHK総合	
31 OHKテレビ		41 RNC西日本テレビ
	29 RSKテレビ	

香川	丸亀 095	
16 テレビせとうち	42 KSB瀬戸内海放送	40 NHK教育
	44 NHK総合	
22 OHKテレビ		20 RNC西日本テレビ
	18 RSKテレビ	

香川	丸亀※ 154	
16 テレビせとうち	42 KSB瀬戸内海放送	40 NHK教育
	44 NHK総合	
22 OHKテレビ		20 RNC西日本テレビ
	18 RSKテレビ	

愛媛	松山 038	
	2 NHK教育	
25 愛媛朝日	29 あいテレビ	6 NHK総合
●31 TSS	37 テレビ愛媛	●35 広島ホームテレビ
10 南海放送		

愛媛	新居浜 062	
	2 NHK総合	
4 NHK教育	14 愛媛朝日	6 南海放送
●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 RNC西日本テレビ
27 あいテレビ	●11 RSKテレビ	

愛媛	新居浜※ 155	
	2 NHK総合	
4 NHK教育	14 愛媛朝日	6 南海放送
●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 RNC西日本テレビ
16 あいテレビ	●11 RSKテレビ	

愛媛	今治 096	
	30 NHK教育	
14 愛媛朝日	27 あいテレビ	32 NHK総合
●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 西日本放送
34 南海放送	●11 RSKテレビ	

愛媛	今治※ 158	
	55 NHK教育	
14 愛媛朝日	16 あいテレビ	58 NHK総合
●42 KSB瀬戸内海放送	36 テレビ愛媛	●9 西日本放送
34 南海放送	●11 RSKテレビ	

愛媛	宇和島 136	
1 NHK教育		
16 愛媛朝日		6 NHK総合
32 テレビ愛媛		34 あいテレビ
10 南海放送		

愛媛	宇和島※ 156	
1 NHK教育		
16 愛媛朝日		6 NHK総合
27 テレビ愛媛		25 あいテレビ
10 南海放送		

高知	高知 039	
4 NHK総合		6 NHK教育
	8 高知放送	
38 テレビ高知		40 さんさんテレビ

九州

福岡	福岡 040	
1 KBC九州朝日放送		3 NHK総合
4 RKB毎日放送		6 NHK教育
		9 TNCテレビ西日本
	19 TVQ九州放送	37 FBS福岡放送

福岡	北九州 063	
	2 KBC九州朝日放送	23 TVQ九州放送
35 FBS福岡放送		6 NHK総合
	8 RKB毎日放送	
10 TNCテレビ西日本		12 NHK教育

福岡	久留米 097	
14 TVQ九州放送	46 NHK総合	48 RKB毎日放送
52 FBS福岡放送	54 NHK教育	57 KBC九州朝日放送
60 TNCテレビ西日本		

福岡	大牟田 098	
19 TVQ 九州放送	43 FBS 福岡放送	50 NHK 教育
53 NHK 総合	55 TNC テレビ西日本	58 KBC九州 朝日放送
61 RKB 毎日放送	8	9
10	11	12

福岡	行橋 137	
19 TVQ 九州放送	43 FBS 福岡放送	46 NHK 教育
49 NHK 総合	54 TNC テレビ西日本	57 KBC九州 朝日放送
60 RKB 毎日放送	8	9
10	11	12

佐賀	佐賀 041	
14 TVQ 九州放送	36 STSサガ テレビ	38 NHK 総合
40 NHK 教育	48 RKB 毎日放送	52 FBS 福岡放送
57 KBC九州 朝日放送	60 TNC テレビ西日本	9
10	11 RKK 熊本放送	12

長崎	長崎 042	
1 NHK 教育	2	3 NHK 総合
4	5 NBC 長崎放送	6
37 KTN テレビ長崎	8	25 NIB長崎 国際テレビ
10	27 NCC長崎 文化放送	12

長崎	諫早 139	
45 NHK 教育	2	47 NHK 総合
4	49 NBC 長崎放送	6
42 KTN テレビ長崎	8	20 NIB長崎 国際テレビ
10	24 NCC長崎 文化放送	12

長崎	諫早※ 157	
51 NHK 教育	2	59 NHK 総合
4	62 NBC 長崎放送	6
39 KTN テレビ長崎	8	32 NIB長崎 国際テレビ
10	56 NCC長崎 文化放送	12

長崎	佐世保 099	
1	2 NHK 教育	3
17 NIB長崎 国際テレビ	5	31 NCC長崎 文化放送
7	8 NHK 総合	9
10 NBC 長崎放送	11	35 KTN テレビ長崎

熊本	熊本(八代) 043	
1	2 NHK 教育	16 KAB熊本 朝日放送
4	5	6
22 KKT くまもと県民	34 TKU テレビ熊本	9 NHK 総合
10	11 RKK 熊本放送	12

大分	大分(別府) 044	
1	2	3 NHK 総合
4	5 OBS 大分放送	6
36 TOS テレビ大分	8	24 OAB大分 朝日放送
10	11	12 NHK 教育

大分	中津 138	
1	2	48 NHK 総合
4	51 OBS 大分放送	6
37 TOS テレビ大分	8	17 OAB大分 朝日放送
10	11	45 NHK 教育

宮崎	宮崎(都城) 045	
35 UMK テレビ宮崎	2	3
4	5	6
7	8 NHK 総合	9
10 MRT 宮崎放送	11	12 NHK 教育

宮崎	延岡 064	
39 UMK テレビ宮崎	2 NHK 教育	3
4 NHK 総合	5	6 MRT 宮崎放送
7	8	9
10	11	12

鹿児島	鹿児島 046	
1 MBC 南日本放送	2	3 NHK 総合
4	5 NHK 教育	6
30 KYT鹿児島 読売TV	8	32 KKB 鹿児島放送
10	38 KTS 鹿児島テレビ	12

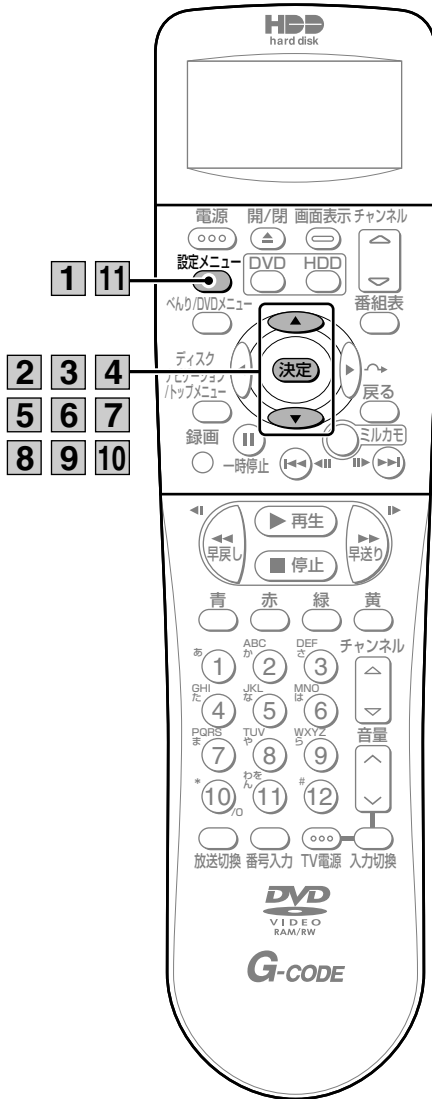
鹿児島	阿久根 065	
1	17 KYT鹿児島 読売TV	3
23 KKB 鹿児島放送	5	35 KTS 鹿児島テレビ
7	8 NHK 総合	9
10 MBC 南日本放送	11	12 NHK 教育

鹿児島	鹿屋 140	
1	2 NHK 教育	3
4 NHK 総合	5	6 MBC 南日本放送
7	25 KYT鹿児島 読売TV	9
31 KKB 鹿児島放送	11	33 KTS 鹿児島テレビ

沖縄

沖縄	那覇(沖縄) 047	
1	2 NHK 総合	3
4	5	6
7	8 沖縄テレビ (OTV)	28 QAB琉球 朝日放送
10 RBC テレビ	11	12 NHK 教育

地上デジタル放送のチャンネルを設定する

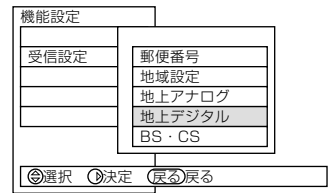
お住まいの都道府県名を設定すると、地上デジタル放送のチャンネルを本機が自動的に設定します。
はじめて地上デジタル放送を視聴する場合や、引越しなどでお住まいの地域が変更になった場合に設定してください。

1 [設定メニュー] を押す

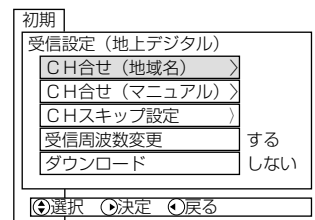
機能設定画面が表示されます。

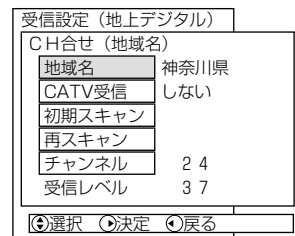
2 [カーソル▲▼] で「受信設定」を選び、[決定] を押す

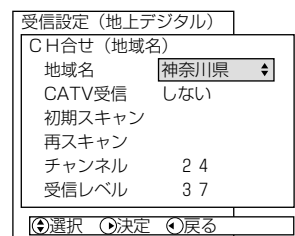
受信設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼] で「地上デジタル」を選び、[決定] を押す

地上デジタル放送の受信設定画面が表示されます。

4 [カーソル▲▼] で「CH合せ（地域名)」を選び、[決定] を押す

地上デジタル放送のチャンネル設定画面が表示されます。

5 [カーソル▲▼] で「地域名」を選び、[決定] を押す

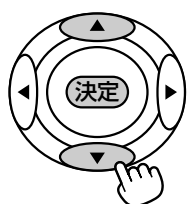
地域名の設定欄にカーソルが移動します。

6 [カーソル▲▼] でお住まいの都道府県を選び、[決定] を押す

地域名が設定されます。

● 地上アナログ放送のチャンネルを設定している場合は、設定した地域番号に対応した都道府県が最初に設定されています。

7 ［カーソル▲▼］で「CATV受信」を選び、［決定］を押す

CATV受信の設定欄にカーソルが移動します。

8 ［カーソル▲▼］で「しない」を選び、［決定］を押す

UHFアンテナから地上デジタル放送を受信するように設定されます。

受信設定（地上デジタル）
ＣＨ合せ（地域名）
地域名　神奈川県
CATV受信　しない
初期スキャン
再スキャン
チャンネル　２４
受信レベル　３７
選択　決定　戻る

● CATV（ケーブルテレビ）から地上デジタル放送が配信されている場合は、「する」に設定してください。

9 ［カーソル▲▼］で「初期スキャン」を選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

● すでに地上デジタル放送のチャンネルを設定していて、新しく開局された放送局を追加する場合や周波数が変更された場合は、「再スキャン」を選んでください。「再スキャン」を実行すると、現在設定されている地上デジタル放送のチャンネルが再設定されます。

10 ［カーソル▲▼］で「開始する」を選び、［決定］を押す

お住まいの地域で受信できる地上デジタル放送のチャンネルが、チャンネル1～12に自動的に設定されます。

受信設定（地上デジタル）
ＣＨ合せ（地域名）
地域名　：神奈川県
CATV受信　：しない
初期スキャン
再スキャン
チャンネル　：　１３
受信レベル　：　０
■開始する
□開始しない
選択　決定　実行

● 各チャンネルには数字ボタンの番号に対応した3桁のチャンネル番号が付きます。番組表などには、数字ボタンの番号ではなく、3桁のチャンネル番号が表示されます。

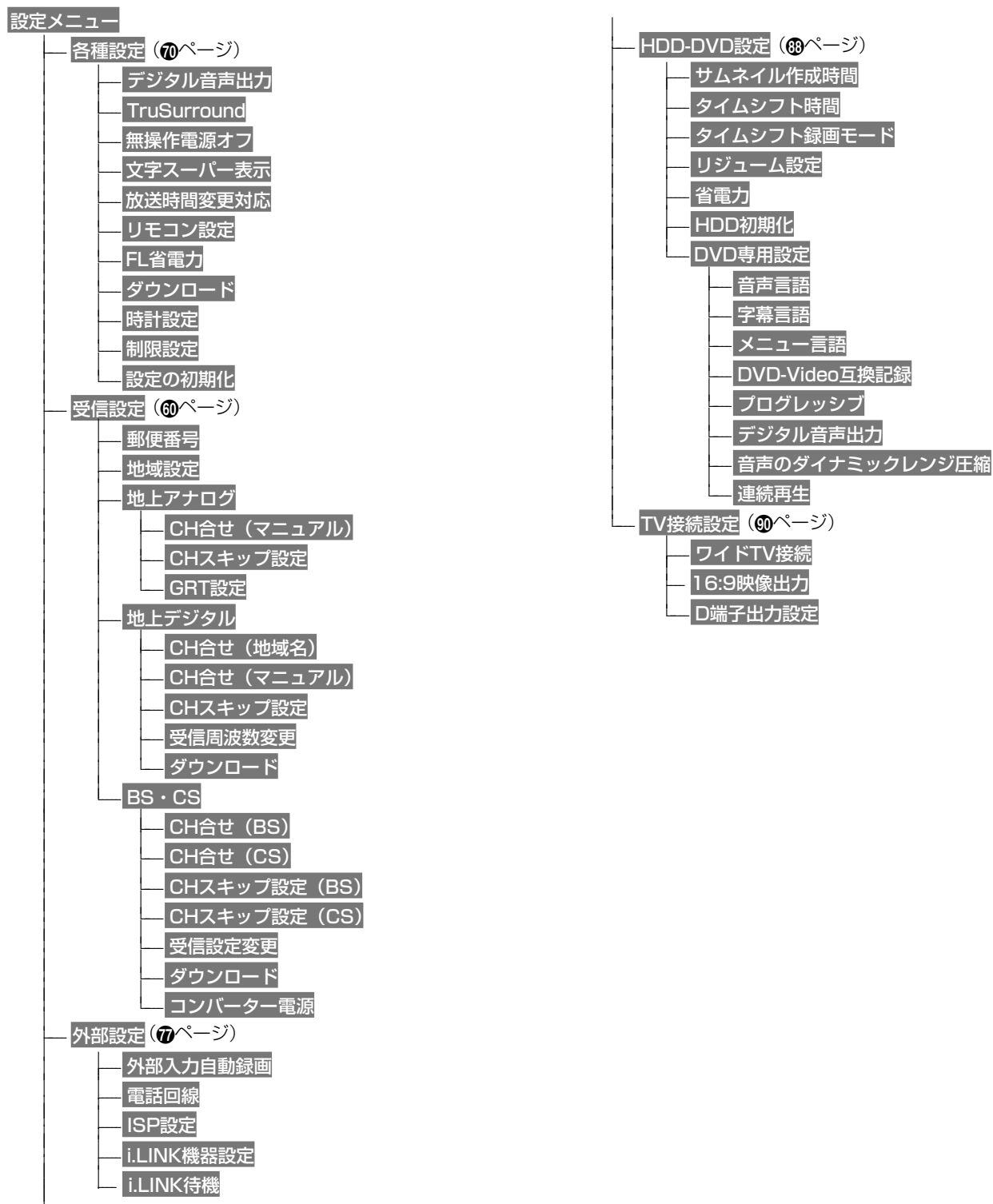
11 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- 隣接地域のチャンネルとチャンネル番号が同じ場合は、チャンネルを区別するために、4桁目の番号（枝番）が付きます。
- 地上デジタル放送の電波を受信できない場合は、チャンネルを設定することができません。受信アンテナの向きを調整したり、接続状況(接栓・分配・混合など)を確認してから（⓫、⓬ページ）、「受信レベル」の数値が70以上であることを確認し、「初期スキャン」を行ってください。
- プログラム更新データをダウンロードできる受信環境では、「再スキャン」を実行しなくても自動的にチャンネルが再設定される場合があります。
- 「初期スキャン」を行っていない場合は、「再スキャン」を行うことはできません。
- 「受信レベル」の数値の横に、受信状態を表すコードが表示されることがあります。

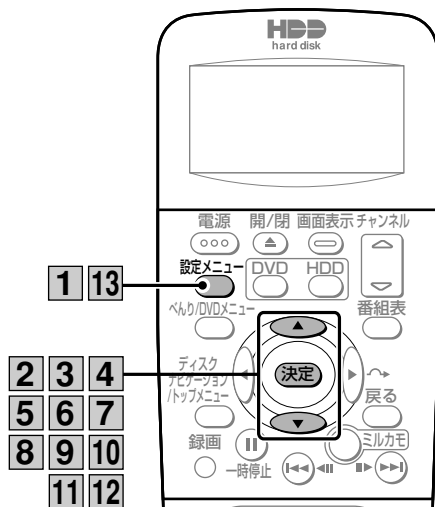
設定機能一覧

リモコンの［設定メニュー］を押すと各種機能の設定ができます。設定できる機能は、以下のとおりです。

テレビ放送の受信に関する機能を設定する

本機の「受信設定」メニューから、地上アナログ放送、地上デジタル放送、BS・CSデジタル放送の受信に関する各種機能を設定することができます。
受信設定メニューで設定できる機能は以下のとおりです。

機能名		機能説明	参照ページ
郵便番号		お住まいの地域の郵便番号および地域番号を入力して、地上アナログ放送のチャンネルを自動的に設定します。	48
地域設定			48
地上アナログ	CH合せ（マニュアル）	地上アナログ放送のチャンネルを手動で追加・変更します。	60
	CHスキップ設定	チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルをスキップするように設定します。	63
	GRT設定	画像が二重三重になったり、にじんで見えたり、色や明るさがおかしくなったりするゴースト妨害を軽減するように設定します。	64
地上デジタル	CH合せ（地域名）	お住まいの都道府県名を設定して、地上デジタル放送のチャンネルを自動的に設定します。	48
	CH合せ（マニュアル）	各数字ボタンに割り当てられている地上デジタル放送のチャンネルを変更します。	62
	CHスキップ設定	チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルをスキップするように設定します。	63
	受信周波数変更	放送局から送信される周波数の変更に合わせて、本機の周波数を自動的に変更するように設定します。	66
	ダウンロード	新しいソフトウェアを自動的にダウンロードして、本機の内蔵ソフトウェアが最新の状態になるように設定します。	68
BS・CS	CH合せ（BS）	各数字ボタンに割り当てられているBS・CSデジタル放送のチャンネルを変更します。	62
	CH合せ（CS）		
	CHスキップ設定（BS）	チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルをスキップするように設定します。	63
	CHスキップ設定（CS）		
	受信設定変更	衛星の故障などによって送信される周波数が変更されたとき、放送局からの指示に従って受信する周波数を変更します。	66
	ダウンロード	新しいソフトウェアを自動的にダウンロードして、本機の内蔵ソフトウェアが最新の状態になるように設定します。	68
	コンバーター電源	本機からBS・CSデジタル受信用アンテナのコンバーターへ電源を供給するように設定します。	69

チャンネルを手動で合わせる（地上アナログ放送）

地域番号一覧表に記載されていない地域や、地域番号を入力して自動的にチャンネルを合わせた後（48ページ）でチャンネルを追加・変更したいときは、手動でチャンネルを合わせることができます。

1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「受信設定」を選び、［決定］を押す

受信設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で「地上アナログ」を選び、［決定］を押す

地上アナログ放送の受信設定画面が表示されます。

4 ［カーソル▲▼］で「CH合せ（マニュアル）」を選び、［決定］を押す

チャンネルのマニュアル設定画面が表示されます。

5 ［カーソル▲▼］で「設定モード」を選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

6 ［カーソル▲▼］で「CH」を選び、［決定］を押す

チャンネルの設定モードになります。

- 各チャンネルの周波数を微調整する場合は、「微調」を選びます。

7 ［カーソル▲▼］で「ボタン番号」を選び、［決定］を押す

ボタン番号の設定欄にカーソルが移動します。

8 ［カーソル▲▼］でチャンネルのボタン番号を選び、［決定］を押す

ボタン番号が設定されます。

- ボタン番号を「1P～12P」に設定したチャンネルは、数字ボタンで選ぶことができます。「13P～38P」に設定したチャンネルは、チャンネルボタンで選ぶことができます。

9 ［カーソル▲▼］で「チャンネル」を選び、［決定］を押す

チャンネルの設定欄にカーソルが移動します。

10 ［カーソル▲▼］で受信するチャンネルを選び、［決定］を押す

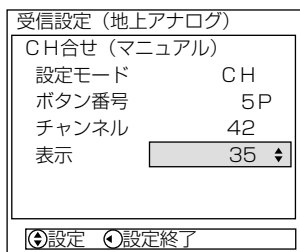
チャンネルが設定されます。

- 受信チャンネルについては、「地域番号一覧表」（50ページ）をご覧ください。
- 手順6で「微調」を選んだ場合は、［カーソル▲▼］を押すたびに、周波数が調整され、映像の映りが変わります。

11 ［カーソル▲▼］で「表示」を選び、［決定］を押す

表示の設定欄にカーソルが移動します。

12 [カーソル▲▼］で画面に表示されるチャンネル番号を選び、[決定］を押す

画面に表示されるチャンネル番号が設定されます。

● 続けてチャンネルを追加・変更したい場合は、手順7〜12を繰り返します。

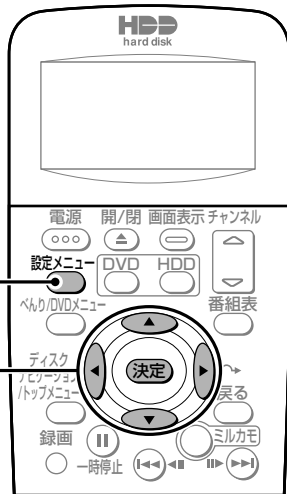
13 チャンネルの追加・変更が終了したら、[設定メニュー］を2回押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

● 地上アナログ放送を録画予約する場合、「表示」で設定した番号が予約一覧のチャンネルとして表示されます。複数のチャンネルで同じ表示番号を設定すると、正しく録画予約できないことがありますのでご注意ください。

数字ボタンで選局できるチャンネルを変更する（地上デジタル／BS・CSデジタル放送）

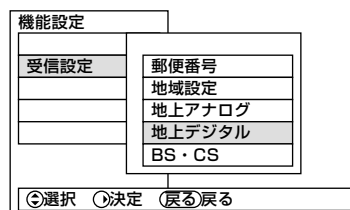
デジタル放送では、各数字ボタンに割り当てられているチャンネルを変更することができます。ただし、受信するチャンネルそのものを変更することはできません。
ここでは、地上デジタル放送を例に、各数字ボタンに割り当てられているチャンネルを変更する手順について説明します。

1 [設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

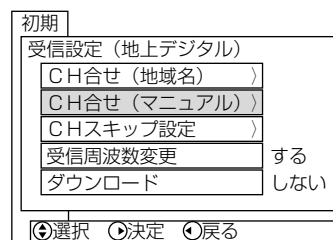
2 [カーソル▲▼］で「受信設定」を選び、[決定］を押す

受信設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼］で「地上デジタル」を選び、[決定］を押す

地上デジタル放送の受信設定画面が表示されます。

● BS・CSデジタル放送のチャンネルを変更する場合は、「BS・CS」を選びます。

4 [カーソル▲▼］で「CH合せ（マニュアル）」を選び、[決定］を押す

チャンネルのマニュアル設定画面が表示されます。

● BSデジタル放送のチャンネルを変更する場合は「CH合せ（BS）」を選びます。
CSデジタル放送のチャンネルを変更する場合は「CH合せ（CS）」を選びます。

5 ［カーソル▲▼］で「ボタン番号」を選び、［決定］を押す

ボタン番号の設定欄にカーソルが移動します。

受信設定（地上デジタル）
CH合せ（マニュアル）
放送局名　NHK総合・関東広域
ボタン番号　1P
チャンネル　31
3桁番号　011-0
受信レベル　37
選択　決定　戻る

6 ［カーソル▲▼］でチャンネルを変更したい数字ボタンの番号を選び、［決定］を押す

変更する数字ボタンの番号が設定されます。

受信設定（地上デジタル）
CH合せ（マニュアル）
放送局名　NHK総合・関東広域
ボタン番号　1P
チャンネル：　31
3桁番号　：　011-0
受信レベル　37
設定　設定終了

7 ［カーソル▲▼］で「3桁番号」を選び、［決定］を押す

3桁番号の設定欄にカーソルが移動します。

●BS・CSデジタル放送のチャンネルを設定する場合は、「チャンネル番号」を選びます。

8 ［カーソル▲▼］でチャンネルの3桁番号を選び、［決定］を押す

設定変更の確認メッセージが表示されます。

受信設定（地上デジタル）
CH合せ（マニュアル）
放送局名　NHK総合・関東広域
ボタン番号　1P
チャンネル：　31
3桁番号　：　011-0
受信レベル　37
設定　設定終了

9 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

数字ボタンに割り当てられているチャンネルが変更されます。

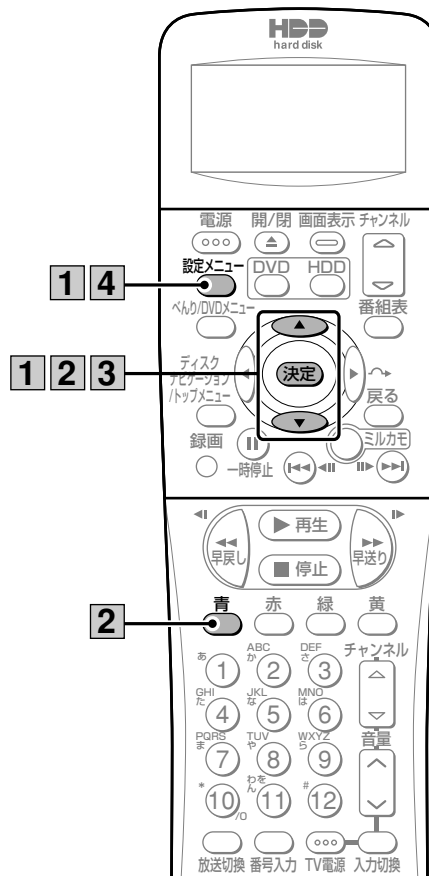
10 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

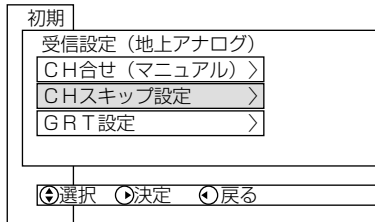
お知らせ

● デジタル放送の電波を受信できない場合は、チャンネルを変更することができません。受信アンテナの向きを調整したり、接続状況（接栓・分配・混合など）を確認してから受信レベルの数値が地上デジタル放送の場合は70以上、BS/CSデジタル放送の場合は60以上あることを確認してください。

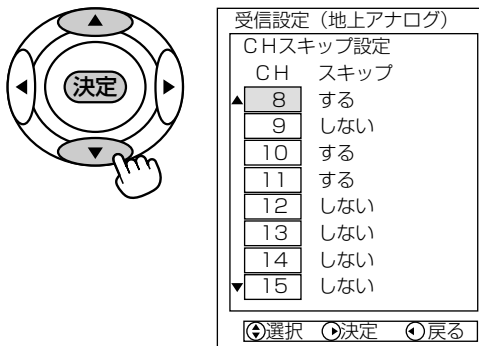
空きチャンネルをスキップする（地上アナログ／地上デジタル／BS・CSデジタル）

チャンネルボタンを押してチャンネルを選ぶとき、空きチャンネルをスキップするように設定することができます。空きチャンネルをスキップするように設定しておくと、受信しているチャンネルのみ切り換えられるので、見たいチャンネルにすばやく切り換えることができます。
ここでは、地上アナログ放送を例に、チャンネルスキップを設定する手順について説明します。

各種機能を設定する

1 ［設定メニュー］を押して、受信設定画面で「CHスキップ設定」を選ぶ

チャンネルスキップ設定画面が表示されます。

● BSデジタル放送のチャンネルスキップを設定する場合は、「CHスキップ設定（BS）」を選びます。
CSデジタル放送のチャンネルスキップを設定する場合は、「CHスキップ設定（CS）」を選びます。

2 ［カーソル▲▼］でスキップ設定したいチャンネルを選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で「する」を選び、［決定］を押す

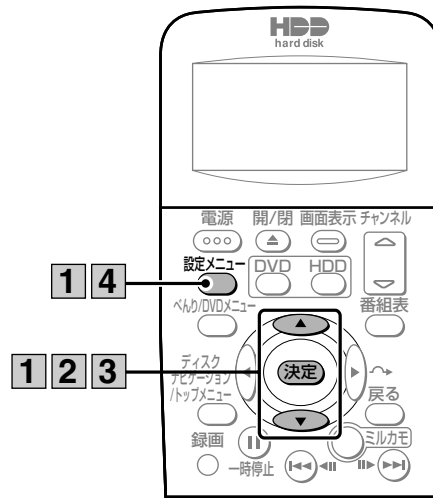
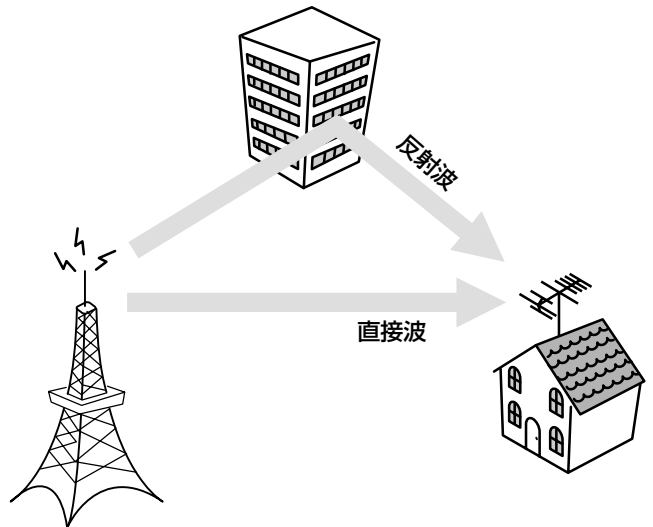
選んだチャンネルがスキップ設定されます。

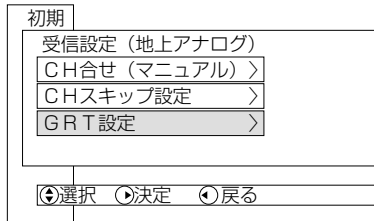
● 続けてスキップ設定したい場合は、手順3～4を繰り返します。

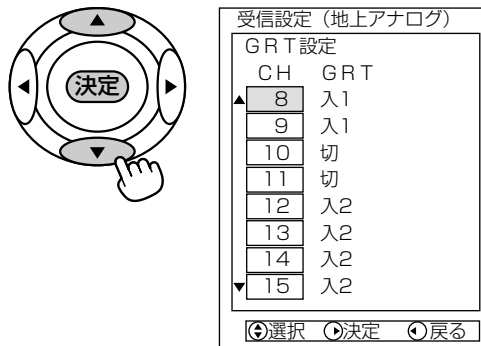
4 チャンネルのスキップ設定が終了したら、［設定メニュー］を2回押す

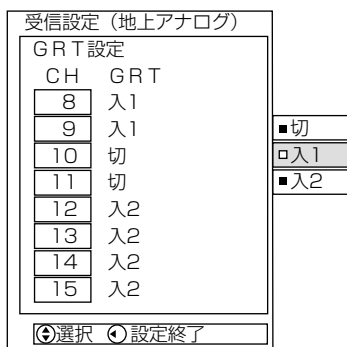
機能設定画面が消えます。

画像の二重三重映り（ゴースト）を軽減する（DV-DH400Tのみ）（地上アナログ放送）

地上アナログ放送の放送局から直接到着する電波（直接波）と、高層ビルや山などに反射して少し遅れて到着する電波（反射波）を同時に受信すると、画像が二重三重になったり、にじんで見えたり、色や明るさがおかしくなったりします。これらの現象をゴースト妨害といいます。
本機に搭載されているゴースト・リダクション・チューナー（GRT）により、ゴースト妨害を軽減する（ゴーストリダクション）ことができます。

1 ［設定メニュー］を押して、地上アナログ放送の受信設定画面で「GRT設定」を選ぶ

ゴーストリダクション設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］でゴーストリダクションを設定するチャンネルを選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で設定内容を選び、［決定］を押す

選んだチャンネルのゴーストリダクションが設定されます。

設定項目	内　容
切	ゴーストリダクションが無効になります。ゴースト妨害が発生しない地域で設定します。
入1	ゴーストリダクションの標準の設定値です。
入2	「入1」でゴーストリダクション効果が小さい場合に設定します。

● 続けて他のチャンネルのゴーストリダクションを設定したい場合は、手順2～3を繰り返します。

4 各チャンネルのゴーストリダクションを設定したら、［設定メニュー］を2回押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

● ゴーストリダクションが働くとき、画面がガタつくことがありますが故障ではありません。

● 放送局から送られてくる信号の中にゴースト除去基準信号（GCR信号）がない場合、ゴーストリダクションは働きません。

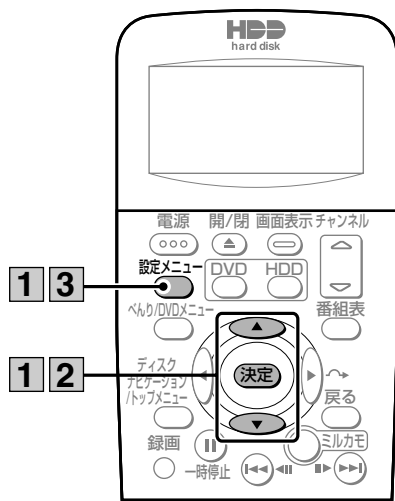
● デジタル放送やビデオ入力端子で入力した映像では、ゴーストリダクションは働きません。

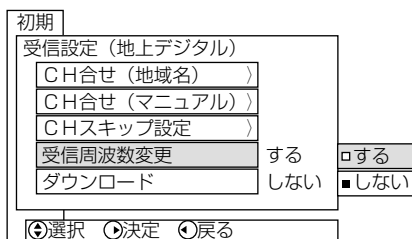
● 以下のような場合はゴーストリダクションが働かないことがあります。
- ・受信状態が良くないとき
- ・UHF/VHFアンテナの向きが合っていないとき
- ・UHF/VHFアンテナ線の接続が正しくないとき
- ・ゴースト妨害が大きいとき
- ・飛行機など動きのあるものに反射してゴースト妨害が発生したとき
- ・ゴースト妨害の数が多いとき

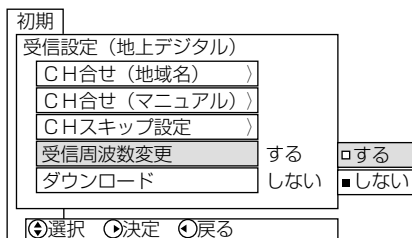
● 地域番号を合わせてチャンネルを設定したり（㊽ページ）、チャンネルを追加・変更したり（60ページ）すると、本機能は自動的に「入1」に設定されます。必要に応じてもう一度設定し直してください。

● UHF/VHFアンテナの設置や調整を行うときは、本機能を「切」にするとゴーストの少ない方向を確認しやすくなります。

受信周波数を自動的に変更する（地上デジタル放送）

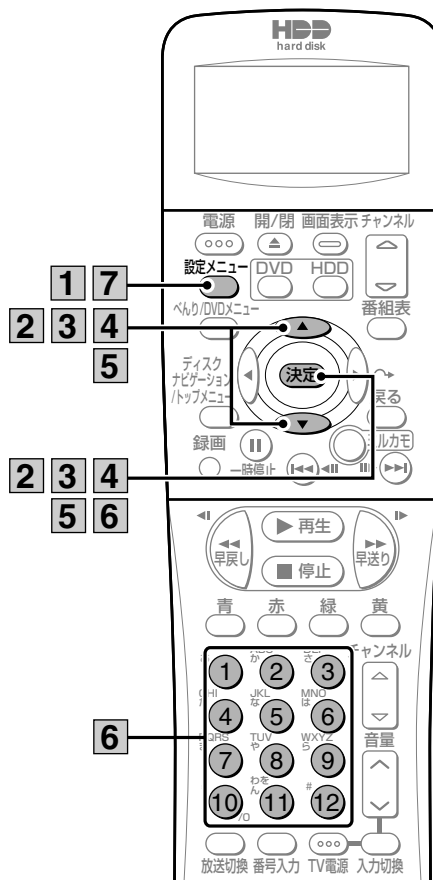
放送局から送信される周波数の変更に合わせて、本機の周波数も自動的に変更するように設定することができます。

1 ［設定メニュー］を押して、地上デジタル放送の受信設定画面で「受信周波数変更」を選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「する」を選び、［決定］を押す

受信周波数変更が設定されます。

3 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

衛星の周波数を変更する（BS・CSデジタル放送）

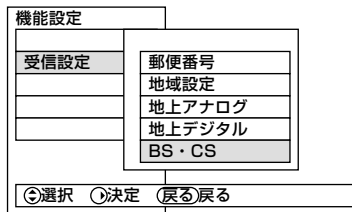
衛星の故障などによって送信される周波数が変更されたとき、放送局からの指示に従って受信する周波数を変更することができます。また、衛星に取り付けられているトランスポンダー（映像・音声信号を送受信する電気回路）の受信レベルを確認することもできます。周波数は放送局から変更の指示があった場合のみ、変更してください。

1 ［設定メニュー］を押す

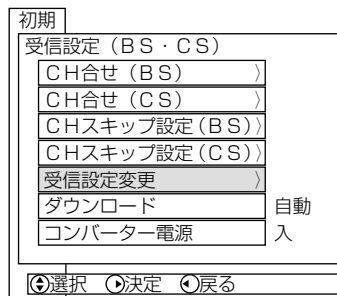
機能設定画面が表示されます。

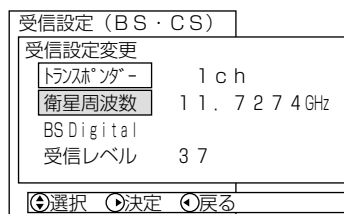
2 ［カーソル▲▼］で「受信設定」を選び、［決定］を押す

受信設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で「BS・CS」を選び、［決定］を押す

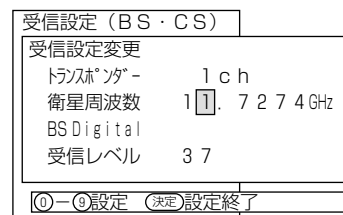
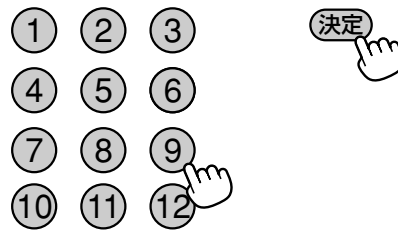
BS・CSデジタル放送の受信設定画面が表示されます。

4 ［カーソル▲▼］で「受信設定変更」を選び、［決定］を押す

受信設定変更画面が表示されます。

5 ［カーソル▲▼］で「衛星周波数」を選び、［決定］を押す

衛星周波数の入力欄にカーソルが移動します。

- トランスポンダーの受信レベルを確認したい場合は、「トランスポンダー」を選んだ後、［カーソル▲▼］で受信レベルを確認したいトランスポンダーを選んでください。「受信レベル」欄にトランスポンダーの受信レベルが表示されます。

6 数字ボタンで周波数を入力し、［決定］を押す

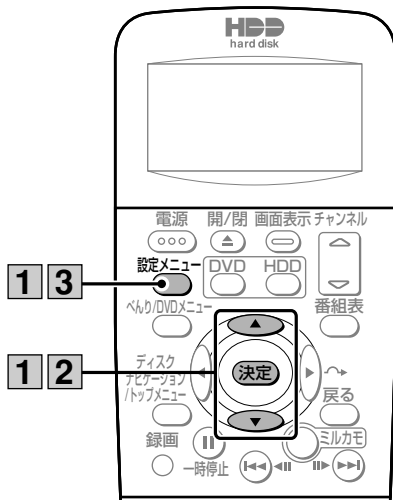
受信する周波数が変更されます。

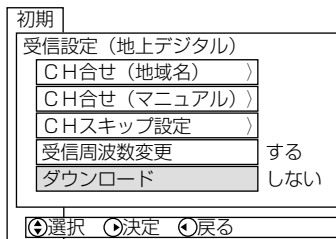
決定

- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩］を押してください。

7 ［設定メニュー］を押す

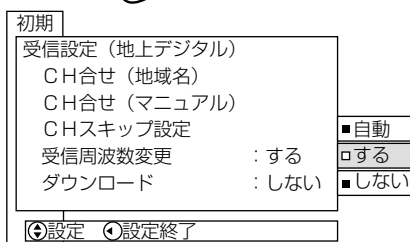
機能設定画面が消えます。

新しいソフトウェアをダウンロードする（地上デジタル／BS・CSデジタル放送）

本機で受信している地上デジタル放送またはBS・CSデジタル放送を利用して、本機の内蔵ソフトウェアを最新の状態にすることができます（ダウンロード）。
新しいソフトウェアは、本機の電源が切れている状態の午前4時頃に、自動的にダウンロードされます。
ここでは、地上デジタル放送を例に、ダウンロード方法を設定する手順について説明します。

1 ［設定メニュー］を押して、地上デジタル放送の受信設定画面で「ダウンロード」を選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で設定内容を選び、［決定］を押す

新しいソフトウェアのダウンロード方法が設定されます。

初期
受信設定（地上デジタル）
　ＣＨ合せ（地域名）
　ＣＨ合せ（マニュアル）
　ＣＨスキップ設定
　受信周波数変更　：する
　ダウンロード　：しない
■自動
□する
■しない
設定　設定終了

設定項目	内　容
自動	ソフトウェアの更新情報が届くと、新しいソフトウェアを自動的にダウンロードします。
する	ソフトウェアの更新情報が届くと、メールで予定時刻をお知らせします。予定時刻の経過後、新しいソフトウェアを手動でダウンロードしてください。
しない	ソフトウェアの更新情報が届くとメールで予定時刻をお知らせしますが、新しいソフトウェアはダウンロードしません。

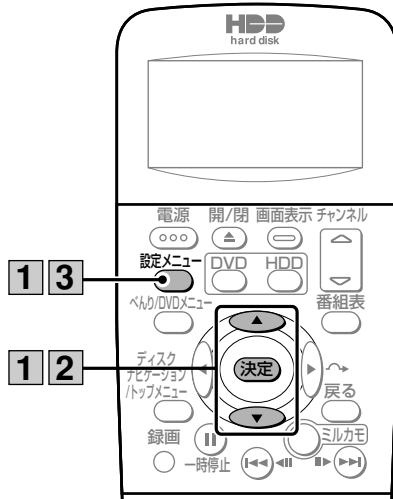
3 ［設定メニュー］を押す

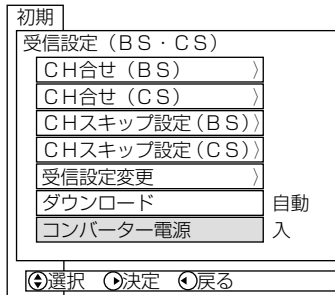
機能設定画面が消えます。

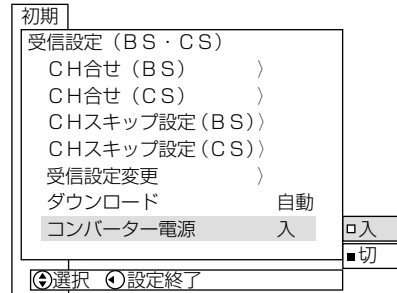
お知らせ

- 本機能を「しない」に設定すると、手動でプログラム更新データをダウンロードすることもできません。
- 「自動」を設定すると、本機の電源が切れている状態のときに自動的にダウンロードされます。このとき、本機の電源が自動的に入り、ファンが回ります。

コンバーターへの電源供給を設定する（BS・CSデジタル放送）

本機からBS・CSデジタル受信用アンテナのコンバーターへ電源を供給するように設定します。

1 ［設定メニュー］を押して、BS・CSデジタル放送の受信設定画面で「コンバーター電源」を選ぶ

設定内容が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で設定内容を選び、［決定］を押す

コンバーターへの電源供給が設定されます。

設定項目	内　容
入	本機からBS・CSデジタル受信用アンテナのコンバーターへ電源を供給します。個別にアンテナを設置している場合に設定してください。
切	本機からBS・CSデジタル受信用アンテナのコンバーターへ電源を供給しません。マンション共聴などで、コンバーターが本機以外の機器から電源を供給されている場合に設定してください。

3 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- 共聴受信などでコンバーターが本機からの電源供給を必要としない場合は、本機能を必ず「切」に設定してください。
- 本機能を「入」に設定している場合は、本機の電源を切っていてもコンバータへ電源を供給します。

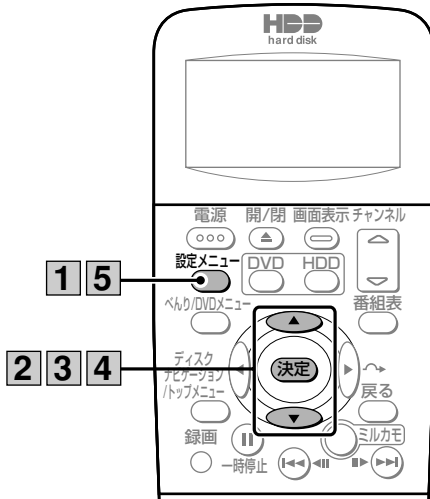
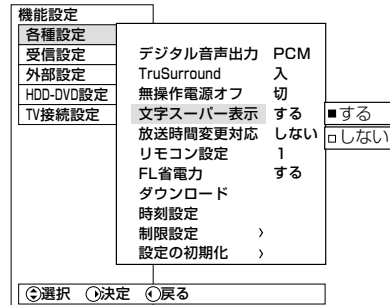
本機の各種機能を設定する

本機の各種設定メニューから、本体やリモコン、録画、再生に関する各種機能を設定することができます。
各種設定メニューで設定できる機能は以下のとおりです。

機能名	設定内容	機能説明	参照ページ
デジタル音声出力	AAC／PCM	デジタル放送視聴時や「TS」、「TSX」モードの録画番組再生時のデジタル音声出力を設定します。 MPEG-2 AACに対応したオーディオ機器を接続する場合、「AAC」に設定すると5.1chサラウンド音声を楽しめます。オーディオ機器がMPEG-2 AACに対応していない場合は、「PCM」に設定してください。 ●地上アナログ放送、CD、ビデオCD、外部接続したビデオデッキの再生時は、本機能の設定に関わらず「PCM」で音声が出力されます。	―
TruSurround	入／切	デジタル放送の音声をサラウンド効果で出力するように設定します。	―
無操作電源オフ	する／しない	本機を一定時間操作しないと、自動的に電源が切れるように設定します。 「する」に設定した場合、本機を操作しないまま約2時間が経過すると、自動的に本機の電源が切れます。 「しない」に設定した場合、操作しない状態が続いても本機の電源は切れません。	―
文字スーパー表示	する／しない	テレビ放送中の画面に表示される文字スーパーを表示するように設定します。 ●「する」に設定していても、視聴中の番組に字幕や文字スーパーがない場合は、文字スーパーが表示されません。	―
放送時間変更対応	する／しない	番組表から録画予約したデジタル放送番組の放送時間が変更された場合、番組の放送時間に合わせて録画時間も変更するように設定します。 ●番組放送の開始時刻が3時間以上遅れた場合、本機能は働きません。 ●番組の放送延長が、録画予約で設定した終了時刻の1分前までに確定していない場合、本機能は働きません。 ●番組表から録画予約しても、予約一覧で録画予約の内容を変更した場合、本機能は働きません。 ●マニュアル予約（36ページ）の録画予約では、本機能は働きません。 ●変更された放送時間が他の録画予約と重なる場合、他の録画予約がキャンセルされます。	―
リモコン設定	1／2／3	当社製の他のDVDレコーダーやDVDプレーヤーのリモコンと本機のリモコンの干渉を防ぐために、リモコンコードを変更します。	72
FL省電力	する／しない	待機時の本機の消費電力を軽減するように設定します。また、本機の電源を切ったとき、本体表示窓になにも表示しないように設定します。表示させないことで、約1.2Wの電力を節約できます。 「する」に設定した状態で待機状態になったり、本機の電源を切ったりすると、本体表示窓になにも表示されません。 「しない」に設定した状態で待機状態になったり、本機の電源を切ったりすると、本体表示窓に時計や録画予約マークなどが表示されます。	―
ダウンロード	―	プログラム更新データを手動でダウンロードします。	73
時計設定	―	本体の時計を合わせます。	46
制限設定	視聴制限：しない 暗証番号：なし 視聴可能制限：20才 番組購入上限：なし DVD視聴制限：しない	番組やDVDビデオの視聴可能年齢や有料番組を購入するときの金額上限を設定します。	74
設定の初期化	―	データ放送で登録した個人情報や受信したメール、デジタル放送関連の設定値を消去します。	76

は初期値（工場出荷時の設定）です。

設定メニューの使いかた

ここでは「各種設定」を例に説明しています。他の設定も同様の操作でお使いください。

1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

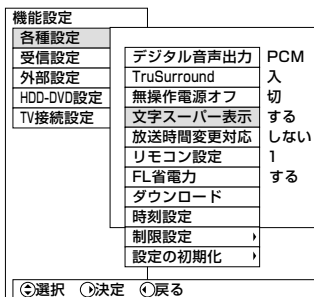
2 ［カーソル▲▼］で「各種設定」を選び、［決定］を押す

各種設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で設定したい機能を選び、［決定］を押す

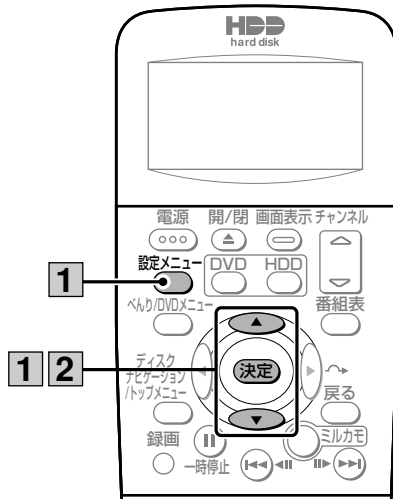
設定内容が表示されます。

4 ［カーソル▲▼］で設定したい内容を選び、［決定］を押す

選んだ内容が設定されます。

5 ［設定メニュー］を押す

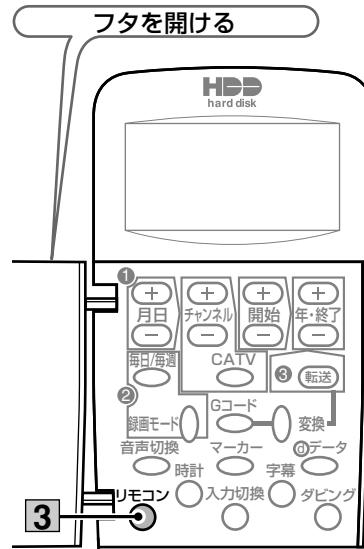
機能設定画面が消えます。

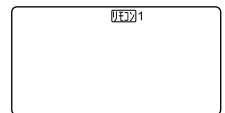
リモコンコードを変更する

当社製の他のDVDレコーダーやDVDプレーヤーのリモコンと本機のリモコンはほとんど同じ方式のため、お互いに干渉する場合があります。このような場合は、リモコンコードを変更すると、他のリモコンの干渉を防ぐことができます。
まず本体のリモコンコードを変更し、次にリモコンのリモコンモードを変更してください。
● 通常は変更する必要はありません。

1 ［設定メニュー］を押して、各種設定メニューで「リモコン設定」を選ぶ

設定内容が表示されます。

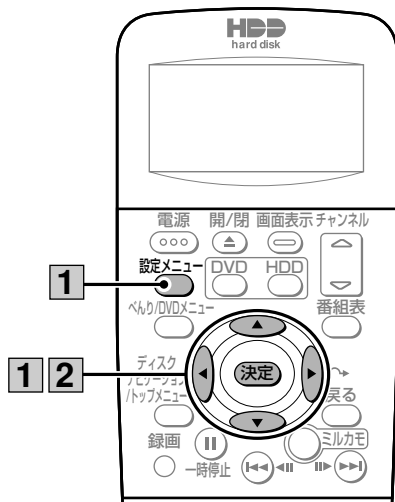
2 ［カーソル▲▼］で「2」または「3」を選び、［決定］を押す

本体のリモコンコードが設定されます。

3 リモコンのフタを開けて、［リモコン］を押す

［リモコン］を押すたびに、2→3→1の順にリモコンのリモコンコードが切り換わります。手順2で設定した本体のリモコンコードに合わせてください。

お知らせ

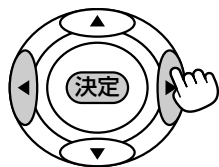
● 本体とリモコンのリモコンコードが合っていない場合、リモコンを操作すると本体の表示窓に「R−1」「R−2」「R−3」のいずれかが表示されます。このような場合は、本体とリモコンのリモコンコードが合っているか確認してください。

新しいソフトウェアをダウンロードする

本機で受信しているデジタル放送を利用して、本機の内蔵ソフトウェアを最新の状態にすることができます（ダウンロード）。お買い上げ時は自動的にダウンロードするように設定されていますが、新しいソフトウェアがある場合は各種設定メニューから手動でダウンロードすることもできます。
ここでは、手動でダウンロードする方法を説明します。

1 ［設定メニュー］を押して、各種設定メニューで「ダウンロード」を選ぶ

ダウンロードの確認メッセージが表示されます。

●「ダウンロード」がグレー表示されているときは、新しいソフトウェアはありません。

2 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

新しいソフトウェアがダウンロードされます。

ダウンロード
　ソフトウェアのダウンロードを行います
・ダウンロードには□分ほど時間がかかります
・ダウンロード中は電源を切らないでください
　ソフトウェアが正しく書き込みできません
・ダウンロード終了後に、自動的に再起動されます
　ダウンロードしますか
はい　いいえ

ダウンロード中の動作について

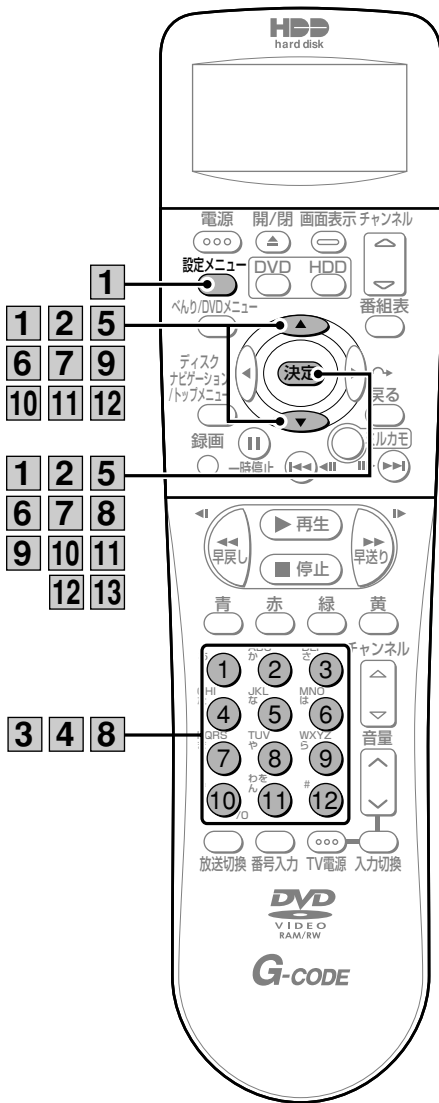
ダウンロード中は本体表示窓に「DWNLD」と表示されます。電源ボタン以外は操作できません。
また、ダウンロード中に［電源］を押すと、以下のようなメッセージが表示されます。以降はダウンロードが終了するまでお待ちください。

ダウンロード
　ダウンロード中です
・ダウンロード中は電源を切らないでください
　電源を切／入すると、ソフトウェアが正常に
　書き込みできません。□分ほどお待ちください
・ダウンロード終了後に、自動的に再起動されます
　終了するまではテレビの操作はできません
50%

お知らせ

- ダウンロードの時間は、更新するソフトウェアの内容によって異なります。
- お買い上げ時は、受信設定メニューの「地上デジタル」および「BS・CS」の「ダウンロード」が「自動」に設定されているため（67ページ）、本体の電源が切れているときに自動的に新しいソフトウェアがダウンロードされます。
- 受信設定メニューの「地上デジタル」および「BS・CS」の「ダウンロード」を「しない」に設定した場合（67ページ）は、本機能で新しいソフトウェアをダウンロードできません。
- 新しいソフトウェアが無い場合は、ダウンロードできません。
- ダウンロード中は電源コードを抜かないでください。ソフトウェアの更新が中断し、正常に更新されない場合があります。
- ダウンロードと録画予約が重なった場合は、録画予約が優先されます。
- 録画予約開始の約30分前になると、本機能は選べません。

視聴制限を設定する

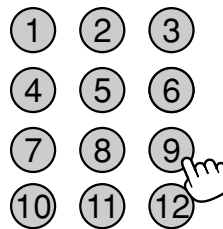
子どもに見せたくない番組やDVDビデオの視聴を制限したり、有料番組を購入するときの金額の上限を設定したりできます。
視聴制限を設定すると、視聴制限の対象となる番組の放送時やDVDビデオの再生時、また上限を超える有料番組の購入時に、暗証番号の入力画面が表示されます。暗証番号を入力しないと、視聴や再生、購入はできません。

1 ［設定メニュー］を押して、「各種設定」メニューで「制限設定」を選ぶ

制限設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「暗証番号」を選び、［決定］を押す

暗証番号の入力欄にカーソルが移動します。

● はじめて視聴制限を設定する場合、「暗証番号」以外は選べません。

3 数字ボタンを押して4桁の暗証番号を入力する

暗証番号の再入力メッセージが表示されます。

「0」を入力するときは、数字ボタン［⑩］を押してください。

4 数字ボタンを押して、手順3と同じ4桁の暗証番号を入力する

暗証番号が登録され、他の項目が設定できるようになります。

5 ［カーソル▲▼］で「視聴制限」を選び、［決定］を押す

視聴制限の設定欄にカーソルが移動します。

6 ［カーソル▲▼］で「する」を選び、［決定］を押す

視聴制限の設定が有効になります。

7 ［カーソル▲▼］で「視聴可能年齢」を選び、［決定］を押す

視聴可能年齢の入力欄にカーソルが移動します。

8 数字ボタンで年齢（4～20）を入力し、［決定］を押す

視聴可能年齢が設定されます。

初期
制限設定
視聴制限　：する
暗証番号　：＊＊＊＊
視聴可能年齢：－－才
番組購入上限：　１００円
DVD試聴制限：しない
⓪－⑨設定　決定設定終了

● 1桁の年齢を入力するときは、はじめに［10］を押して「0」を入力してください。
● 視聴可能年齢を「20」に設定すると、番組の対象年齢に関係なく番組を視聴することができます。

9 ［カーソル▲▼］で「番組購入上限」を選び、［決定］を押す

番組購入上限の設定内容が表示されます。

10 ［カーソル▲▼］で金額の上限を選び、［決定］を押す

番組購入上限が設定されます。

11 ［カーソル▲▼］で「DVD視聴制限」を選び、［決定］を押す

DVD視聴制限の設定内容が表示されます。

12 ［カーソル▲▼］で視聴制限のレベルを選び、［決定］を押す

DVD視聴制限が設定されます。

●「レベル1」がもっとも視聴制限が厳しくなります。

13 ［決定］を押す

視聴制限が設定されます。

視聴制限を一時的に解除するには

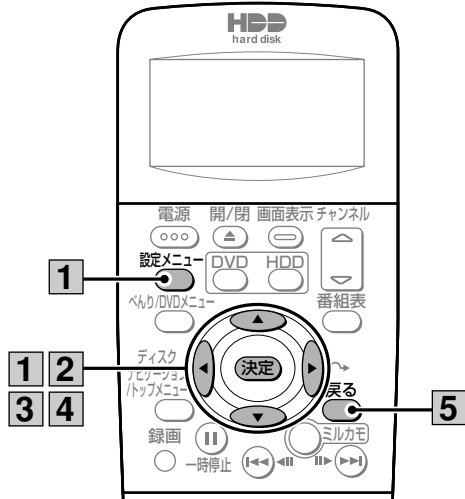
視聴制限の対象になる番組やDVDビデオを選ぶと、制限解除画面が表示されます。数字ボタンを押して暗証番号を入力すると、視聴制限を一時的に解除することができます。

● チャンネルを切り換えると、視聴制限の状態に戻ります。
● 視聴制限を一時解除しない場合は、他のチャンネルに切り換えてください。

お知らせ

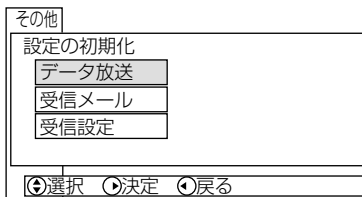
● 視聴制限の番組で登録した暗証番号は、忘れないようにメモしておいてください。万が一忘れてしまった場合は、視聴したい放送局のカスタマーセンターにお問い合わせください。

情報を消去する（データ放送、受信メール、受信設定）

本機を他の人に譲ったり、廃棄したりする場合は、その前にデータ放送で登録した個人情報や受信したメール、およびデジタル放送関連の設定を消去してください。

1 ［設定メニュー］を押して、「各種設定」メニューで「設定の初期化」を選ぶ

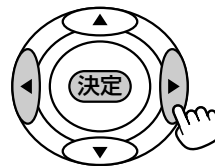
設定の初期化画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で消去（初期化）する項目を選び、［決定］を押す

初期化の確認メッセージが表示されます。

設定項目	内　容
データ放送	データ放送の視聴時に登録した個人情報を消去します。
受信メール	デジタル放送の放送局から送られてきたメールを消去します
受信設定	デジタル放送関連の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

3 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

もう一度初期化の確認メッセージが表示されます。

4 ［カーソル◀▶］で「はい」を選び、［決定］を押す

選んだ項目の情報および設定が初期化されます。

● 続けて他の項目の情報および設定を初期化する場合は、手順2〜4を繰り返します

5 各項目のデータを削除したら、［戻る］を押す

各種設定メニュー画面に戻ります。

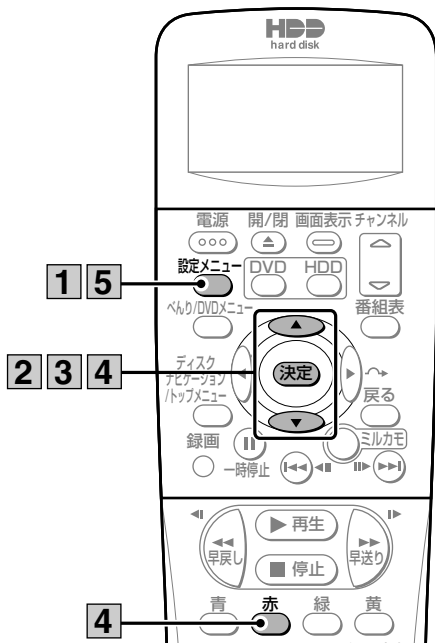
外部機器の接続に関する機能を設定する

本機能の外部設定メニューから、本機に接続した外部機器の操作に関する各種機能を設定することができます。
外部設定メニューで設定できる機能は以下のとおりです。

機能名	機能説明	参照ページ
外部入力自動録画	予約待機ができる外部機器と連動して、本機のハードディスク（HDD）に録画できるように設定します。	⑲
電話回線	回線の種類や内線発信番号、番号通知など、電話回線に関する機能を設定します。	⑳
ISP設定	常時接続環境のインターネット網に接続して地上デジタル放送の双方向データサービスを利用できないとき、IPアドレスおよびLAN接続を手動で設定します。	㊱
i.LINK機器設定	接続したi.LINK対応機器を本機で操作できるように設定します。	下記
i.LINK待機	本機の電源を切っていても、接続しているi.LINK対応機器からの制御を受けたり、データを中継したりできるように設定します。	⑱

i.LINK対応機器を登録する

接続したi.LINK対応機器を本機に登録すると、本機でi.LINK対応機器を操作したり、録画を予約したりできるようになります。
同時に登録できるi.LINK対応機器は最大3台です。

● i.LINK対応機器の接続については、「i.LINK対応機器の複数接続について」（㉙ページ）をご覧ください。

1 [設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

2 [カーソル▲▼］で「外部設定」を選び、[決定］を押す

外部設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼］で「i.LINK機器設定」を選び、[決定］を押す

i.LINK機器設定画面が表示されます。

各種機能を設定する

4 ［カーソル▲▼］で本機に登録するi.LINK対応機器を選び、［決定］を押す

操作欄が「する」に切り換わり、選んだi.LINK対応機器が本機に登録されます。

操作欄に「する」が表示されているi.LINK対応機器を本機で操作することができます。

外部機器接続設定

ｉ．ＬＩＮＫ機器設定

表示名	メーカー	機器名称	操作
D-VHS2	HITACHI	DT-DRX100	しない
D-VHS3	HITACHI	DT-DRX100	する
D-VHS4	HITACHI	DT-DRX100	する
D-VHS4	HITACHI	DT-DRX100	しない

選択　決定 設定変更　戻る　赤 機器削除

- ［決定］を押すたびに、「する」（登録）と「しない」（解除）が交互に切り換わります。
- 本機に登録されていても、接続されていないi.LINK対応機器の操作欄には「不可」と表示されます。
- i.LINK対応機器の登録をすべて解除する場合は、すべてのi.LINK対応機器を取り外してから、［赤］を押してください。

5 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

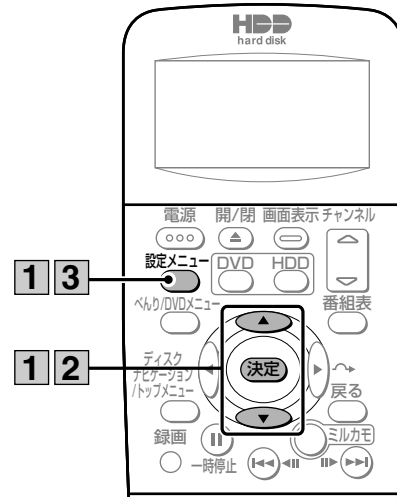
ご注意

- 本機に搭載されているi.LINK端子（MPEG（TS））は、MPEG2圧縮TS（トランスポート・ストリーム）データをやりとりします。DVカメラやDVビデオデッキに搭載されているDV端子は、DV圧縮データをやりとりします。したがって、本機とDVカメラやDVビデオデッキで使用するケーブルや端子の形状は同じですが、扱うデジタルデータの圧縮方式が異なるため、相互にデジタルデータをやりとりすることができません。また、同じMPEG2圧縮データを扱う機器であっても、MPEG2圧縮TSデータ以外のデータをやりとりする機器と接続した場合、デジタルデータのやりとりはできません。

お知らせ

- 4台目のi.LINK対応機器を登録したい場合は、すでに登録されている3台のうち、いずれか1台を解除してください。
- 接続しているi.LINK対応機器のメーカー名や機種名が画面に表示されないときは、i.LINKケーブルを抜いてからもう一度差し込んでください。ただし、接続したi.LINK対応機器によっては、メーカー名や機種名が表示されないことがあります。
- D-VHSビデオ以外の機器は表示されないことがあります。
- 本機で操作中のi.LINK対応機器は登録を解除できません。

i.LINK対応機器の制御を受ける

本機の電源を切っていても、接続しているi.LINK対応機器からの制御を受けたり、データを中継したりできるように設定します。

1 ［設定メニュー］を押して、外部設定メニューで「i.LINK待機」を選ぶ

設定内容が表示されます。

機能設定

各種設定	外部入力自動録画	切
受信設定	電話回線	
外部設定	ISP設定	
HDD-DVD設定	i.Link機器設定	
TV接続設定	i.Link待機	しない

選択　決定　戻る

2 ［カーソル▲▼］で設定内容を選び、［決定］を押す

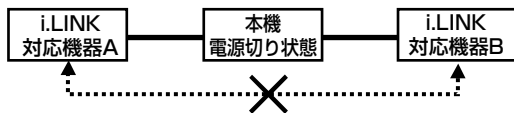
i.LINK待機が設定されます。

設定項目	内　容
する	本機の電源を切っていても、i.LINK対応機器からの制御を受けたり、データを中継したりできます。
しない	本機の電源を切ると、i.LINK対応機器からの制御を受けたり、データを中継したりできません。

3 ［設定メニュー］を押す

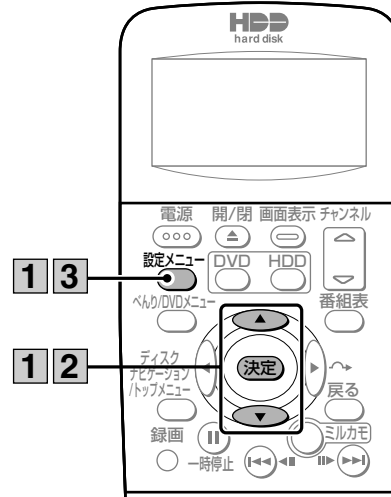
機能設定画面が消えます。

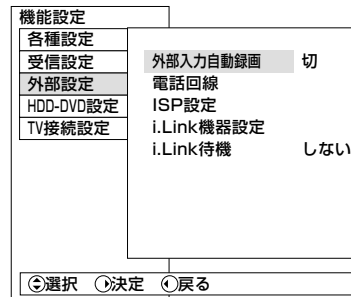
お知らせ

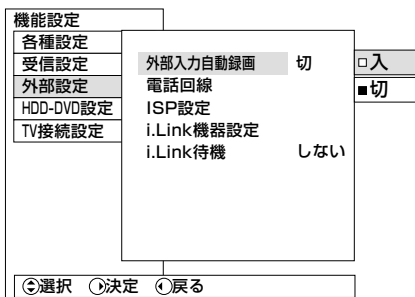
- 本機を中継するかたちで複数のi.LINK対応機器を接続した場合、本機能を「しない」に設定して電源を切った状態にすると、接続されているi.LINK対応機器間の制御やデータのやりとりができなくなります。

- 本機能を「しない」に設定していても、録画予約を設定している場合は「する」と同じ状態になり、i.LINK対応機器間の制御やデータのやりとりができます。
- i.LINK対応機器を接続していない場合は、消費電力が少なくなるように、本機能を「しない」に設定してください。

予約待機できる外部機器と連動して録画する

CSチューナーなどの予約待機ができる外部機器を本機に接続したとき、外部機器の放送開始と連動させて本機に録画するように設定することができます。

- 外部機器の接続方法については、「ビデオデッキと接続する」（㉘ページ）をご覧ください。
- 予約待機できる外部機器と連動させて録画する方法については、『操作編』の「予約待機できる外部機器を接続して録画する」（㊾ページ）をご覧ください。

1 ［設定メニュー］を押して、外部設定メニューで「外部入力自動録画」を選ぶ

設定内容が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で設定内容を選び、［決定］を押す

外部入力自動録画機能が設定されます。

設定項目	内　容
入	外部機器の放送開始と連動して本機のハードディスク（HDD）に録画します。
切	外部機器が放送を開始しても、本機のハードディスク（HDD）には録画されません。

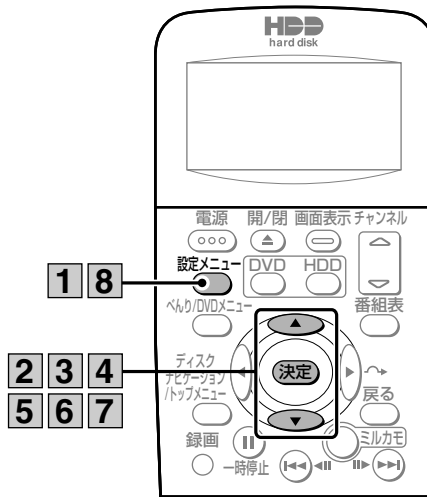
3 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

● 本機能は予約待機できる外部機器を本機背面のS1映像入力端子または映像・音声入力1端子に接続している場合のみ有効になります。

電話回線を設定する

デジタル放送では、電話回線を使って有料番組の視聴記録送信や、視聴者参加番組でのデータ送信などを行うことができます。デジタル放送を視聴する場合は、必ず電話回線を接続し、電話回線の種類や番号通知などの設定を行ってください。

電話回線の種類を設定する

お使いの電話回線の種類を設定します。

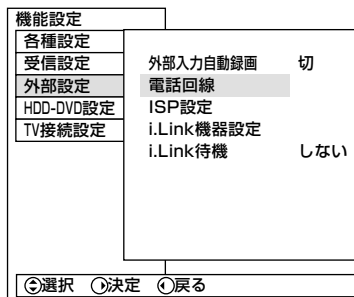
1 ［設定メニュー］を押す

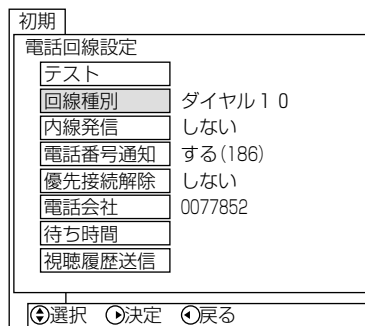
機能設定画面が表示されます。

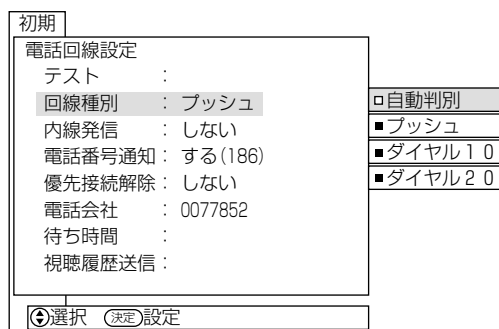
2 ［カーソル▲▼］で「外部設定」を選び、［決定］を押す

外部設定メニューが表示されます。

3 [カーソル▲▼] で「電話回線」を選び、[決定] を押す

電話回線設定画面が表示されます。

4 [カーソル▲▼] で「回線種別」を選び、[決定] を押す

設定内容が表示されます。

5 [カーソル▲▼] で「自動判別」を選び、[決定] を押す

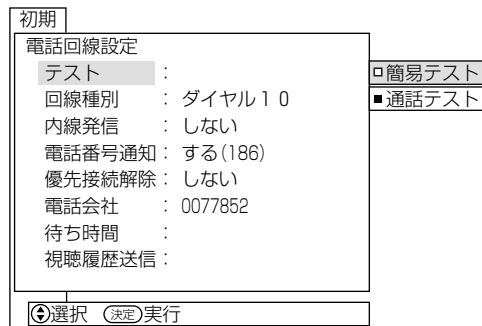
電話回線の種類を本機が自動的に判別し、約1分後、判別結果が回線種別として設定されます。

● 自動判別できなかった場合は、ご使用になっている回線の種類を選んでください。

6 [カーソル▲▼] で「テスト」を選び、[決定] を押す

設定内容が表示されます。

7 [カーソル▲▼] で「簡易テスト」を選び、[決定] を押す

回線が正常に接続できるかどうかのテストを行い、約1分後テスト結果が表示されます。

初期
電話回線設定
テスト :
回線種別 : ダイヤル１０
内線発信 : しない
電話番号通知 : する(186)
優先接続解除 : しない
電話会社 : 0077852
待ち時間 :
視聴履歴送信 :
□簡易テスト
■通話テスト
選択 決定 実行

● 実際に回線を接続してテストする場合は、「通話テスト」を選んでください。この場合、約10円の通話料がかかります。

8 [設定メニュー] を押す

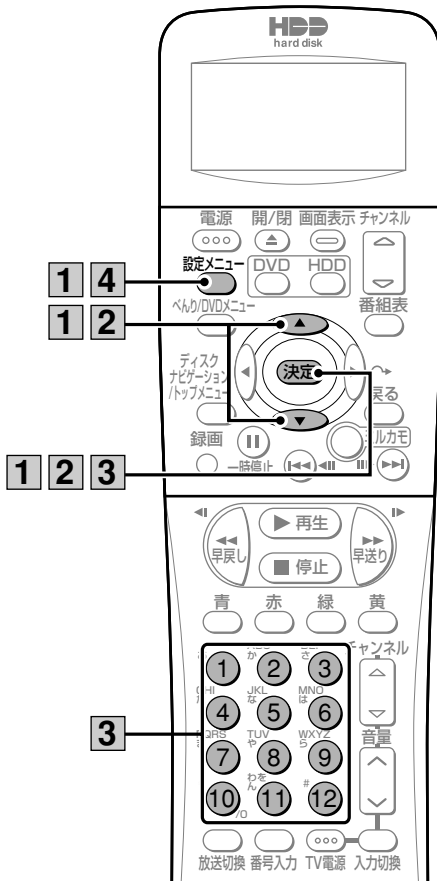
機能設定画面が消えます。

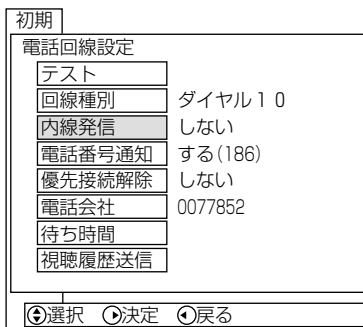
お知らせ

● ご使用の電話回線がプッシュ式かダイヤル式かわからない場合は、ご使用の電話機でダイヤルしてください。受話器から「ピッポッパッ」と聞こえるときはプッシュ（トーン）式、「ガリガリ」または「ジリジリ」とダイヤルを回す音が聞こえるときはダイヤル（パルス）式です。

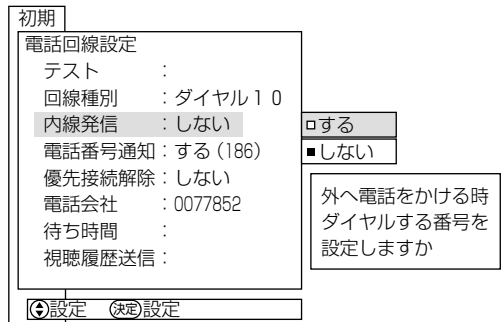
● 押しボタン式の電話機でもダイヤル式の場合があります。電話回線の種類がわからない場合は、最寄りの電話局にお問い合わせください。

内線発信を設定する

本機に接続している電話機が内線電話として使用されている場合、外線発信時のダイヤル番号を設定します。

1 ［設定メニュー］を押して「外部設定」を選び、電話回線設定画面で「内線発信」を選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「する」を選び、［決定］を押す

内線発信番号の入力欄が表示されます。

初期
電話回線設定
テスト　：
回線種別　：ダイヤル１０
内線発信　：しない
電話番号通知：する（186）
優先接続解除：しない
電話会社　：0077852
待ち時間　：
視聴履歴送信：

□する
■しない

外へ電話をかける時ダイヤルする番号を設定しますか

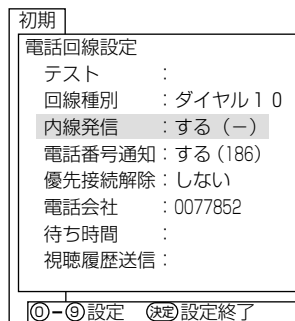
設定　決定 設定

3 数字ボタンで内線発信番号を入力し、［決定］を押す

- 内線発信番号が設定されます。
- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩］を押してください。

初期
電話回線設定
テスト　：
回線種別　：ダイヤル１０
内線発信　：する（−）
電話番号通知：する（186）
優先接続解除：しない
電話会社　：0077852
待ち時間　：
視聴履歴送信：

外へ電話をかける時ダイヤルする番号を設定しますか

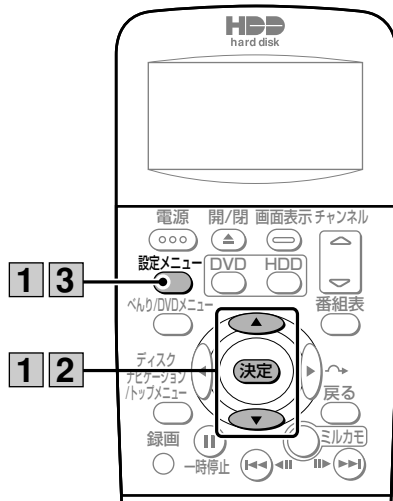
⓪−⑨設定　決定 設定終了

4 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

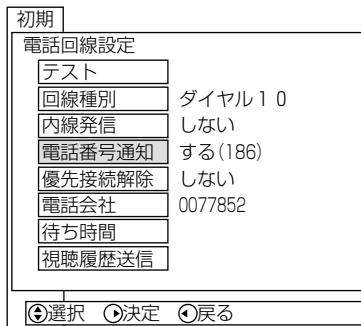
お知らせ

- 外線へ発信できない場合は、電話装置メーカーや保守業者へお問い合わせください。
- 本機能を「しない」に設定すると、すでに登録されている内線発信番号は消去されます。

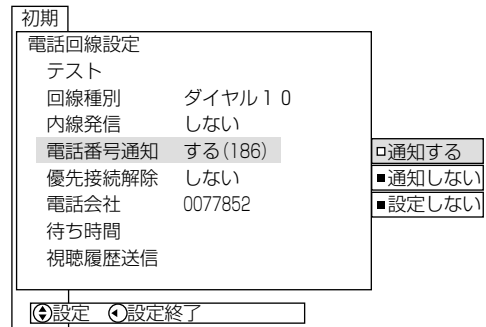
番号通知を設定する

電話をかけるとき、相手（放送局など）に電話番号を通知するかどうかを設定します。

1 [設定メニュー］を押して「外部設定」を選び、電話回線設定画面で「電話番号通知」を選び、[決定］を押す

設定内容が表示されます。

初期
電話回線設定
テスト
回線種別　ダイヤル１０
内線発信　しない
電話番号通知　する(186)
優先接続解除　しない
電話会社　0077852
待ち時間
視聴履歴送信
選択　決定　戻る

2 [カーソル▲▼］で設定内容を選び、[決定］を押す

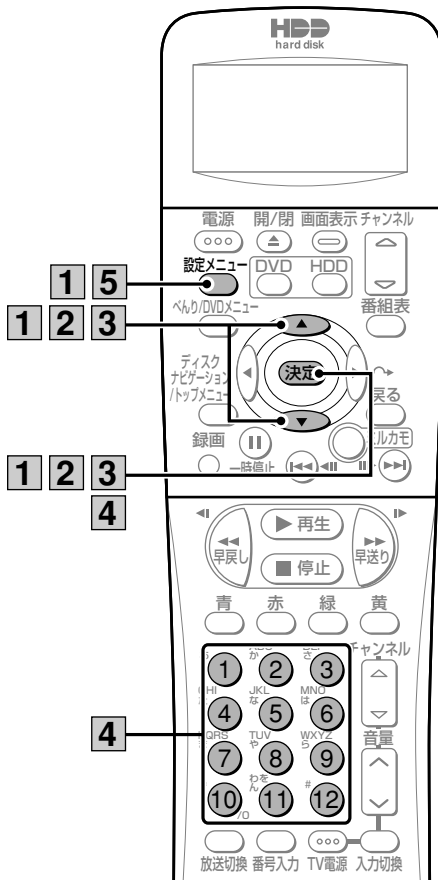
番号通知が設定されます。

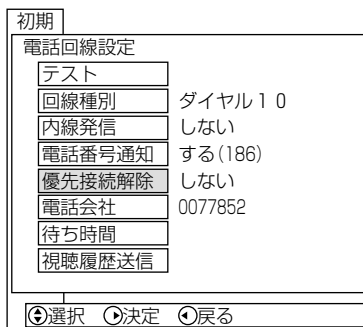
初期
電話回線設定
テスト
回線種別　ダイヤル１０
内線発信　しない
電話番号通知　する(186)
優先接続解除　しない
電話会社　0077852
待ち時間
視聴履歴送信
□通知する
■通知しない
■設定しない
設定　設定終了

設定項目	内　容
通知する	電話番号に「186」をつけてダイヤルし、番号を通知します。
通知しない	電話番号に「184」をつけてダイヤルし、番号を通知しません。
設定しない	電話会社との契約内容に従います。

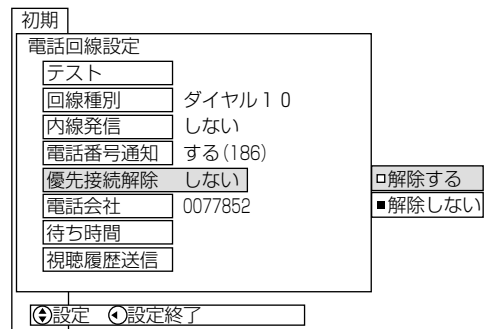
3 [設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

一時的に別の電話会社を利用する

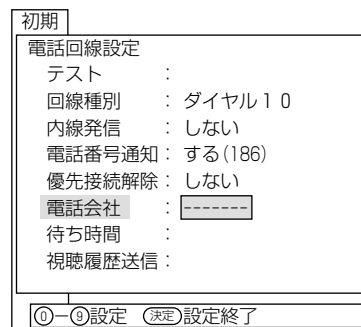
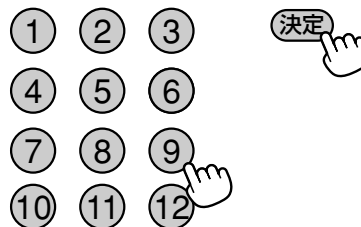
マイラインプラスを登録している場合、一時的に別の電話会社を利用するように設定することができます。

1 ［設定メニュー］を押して「外部設定」を選び、電話回線設定画面で「優先接続解除」を選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「解除する」を選び、［決定］を押す

マイライン登録している電話会社の優先設定が解除されます。

3 ［カーソル▲▼］で「電話会社」を選び、［決定］を押す

電話会社番号の入力欄が表示されます。

4 数字ボタンで一時的に利用する電話会社の番号を入力し、［決定］を押す

一時的に利用する電話会社が設定されます。

- 番号を間違えて入力した場合は、［カーソル◀▶］を押して修正したい番号にカーソルを合わせて入力し直してください。
- 「0」を入力するときは、数字ボタンの［⑩］を押してください。

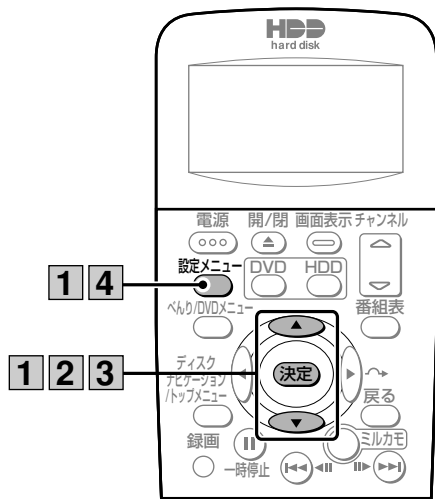
5 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

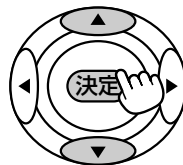
お知らせ

- 利用する電話会社をマイライン登録している電話会社に戻す場合は、「優先接続解除」を「解除しない」に設定してください。
- 1つの電話番号の回線に、モジュラー分配器で本機と電話機やファクシミリなどを接続している場合、電話機やファクシミリなどの使用中は本機で通信できません。
- 本機に付属のモジュラー分配器を使って本機と電話機やファクシミリなどを接続した場合、本機から通信を行うと電話機やファクシミリに呼び出し音が鳴る場合があります。このような場合は、市販の自動転換器（パソコン対応用）を使用すると改善される場合があります。
  また、電話機にノイズ（雑音）が入る場合は、市販の自動転換器（一般用）、または電話回線用ノイズフィルター（雑音防止器）を使用すると改善される場合があります。
  詳しくは、ご使用の電話機やファクシミリなどの通信機器メーカーへお問い合わせください。

待ち時間を設定する

内線発信、番号通知、マイライン登録している電話会社の優先設定解除、別の電話会社の一時利用を行うとき、付加番号を発信してから電話を発信するまでの待ち時間を設定します。

1 ［設定メニュー］を押して「外部設定」を選び、電話回線設定画面で「待ち時間」を選び、［決定］を押す

待ち時間設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で待ち時間を設定したい項目を選び、［決定］を押す

待ち時間の設定欄にカーソルが移動します。

3 ［カーソル▲▼］で待ち時間を選び、［決定］を押す

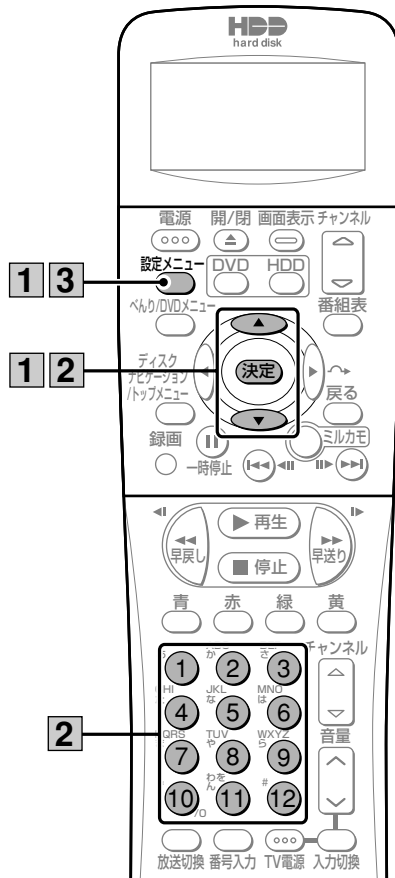
選んだ項目の待ち時間が設定されます。

- 続けて他の項目の待ち時間を設定したい場合は、手順3～4を繰り返します。

4 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

ISP設定について

パソコンのインターネット契約をしているプロバイダを使って、本機を常時接続環境のインターネット網に接続しても、地上デジタル放送の双方向データサービスを利用できない場合は、IPアドレスを手動で設定してください。

1 [設定メニュー] を押して、「外部設定」メニューで「ISP設定」を選び、[決定] を押す

ISP設定画面が表示されます。

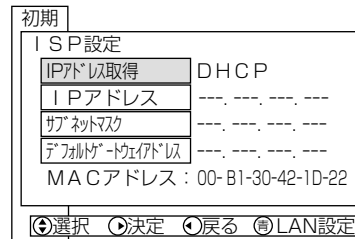
2 [カーソル▲▼] で設定したい項目を選び、[決定] を押す

選んだ項目を設定できる状態になります。各項目を設定してください。

初期
ＩＳＰ設定

IPｱﾄﾞﾚｽ取得	ＤＨＣＰ
ＩＰアドレス	---. ---. ---. ---
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	---. ---. ---. ---
ﾃﾞﾌｫﾙﾄｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ	---. ---. ---. ---

ＭＡＣアドレス：00-B1-30-42-1D-22

選択　決定　戻る　LAN設定

設定項目	内　容
IPアドレス取得	IPアドレスの取得方法を設定します。IPアドレスを手動で設定する場合は、「手動」に設定してください。
IPアドレス	インターネットなどのTCP/IPネットワークに接続されている機器1台ごとに割り振られた識別番号を数字ボタンで入力します。
サブネットマスク	TCP/IPネットワークを分割管理している複数の小さなネットワークのアドレスを数字ボタンで入力します。
デフォルトゲートウェイアドレス	ネットワーク上で、媒体や通信手順が異なるデータを相互に変換して通信を可能にする機器の識別番号を入力します。

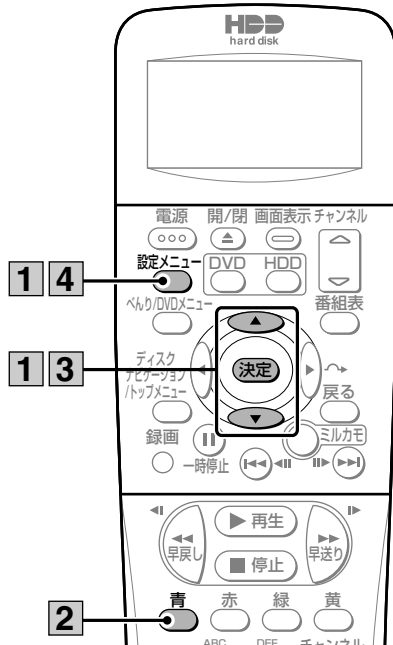
3 各項目の設定が終了したら、[設定メニュー] を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

● MACアドレスを設定することはできません。

LAN設定について

パソコンのインターネット契約をしているプロバイダを使って、本機を常時接続環境のインターネット網に接続しても、地上デジタル放送の双方向データサービスを利用できない場合は、通信方法を手動で設定してください。

1 [設定メニュー] を押して、外部設定メニューで「ISP設定」を選び、[決定] を押す

ISP設定画面が表示されます。

2 [青] を押す

LAN設定画面が表示されます。

3 [カーソル▲▼] で設定したい項目を選び、[決定] を押す

選んだ項目の設定内容が表示されます。設定内容を選んでください。

設定項目	内　容
通信設定	LAN接続を手動で設定する場合は、「手動」に設定してください。
通信速度	本機に接続したADSLモデムやケーブルモデムの通信速度を設定します。
通信モード	本機に接続したモデムの通信モードを設定します。

4 各項目の設定が終了したら、[設定メニュー] を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- 「通信速度」と「通信モード」については、本機に接続したADSLモデムやケーブルモデムの取扱説明書をご覧ください。

HDD-DVDの各種機能を設定する

本機の「HDD-DVD設定」メニューから、ハードディスク（HDD）およびDVDの動作に関する各種機能を設定することができます。
HDD-DVD設定メニューで設定できる機能は以下のとおりです。
　　　は初期値（工場出荷時の設定）です。

機能名		設定内容	機能説明
サムネイル作成時間		0分／…／10分 （1分単位）	録画開始前後に、サムネイルを作成するまでの時間を設定します。
タイムシフト時間		なし／30分／ 60分／90分	タイムシフトの録画時間を設定します。「なし」に設定すると、タイムシフトできません。
タイムシフト録画モード		XP／SP／EP／LP	タイムシフト時の録画モードを設定します。 ●デジタル放送のタイムシフト時は、本機能の設定に関わらず「TS」モードで録画されます。
リジューム設定		する／しない	録画番組を再生するとき、前回停止した位置から再生するように設定します。「しない」に設定すると、毎回先頭から再生されます。 ●DVD再生時にディスクトレイを開閉すると、リジューム設定が無効となります。 ●DVD-RW（ビデオモード）では、本機の電源を切るとリジューム設定が記憶されません。
省電力		する／しない	録画・再生していないときに、本機の消費電力を軽減するように設定します。 ●「する」に設定している場合、HDDの起動が遅くなることがあります。
HDD初期化		する／しない	HDDを初期化します。 ●HDDを初期化すると、すべての内容が消去されます。大切な内容はDVDなどに保存してから初期化してください。 ●初期化中はHDDを操作できません。
DVD専用設定	音声言語	日本語／英語	DVD再生時の音声言語を設定します。
	字幕言語	日本語／英語／ 字幕なし	DVD再生時の字幕言語を設定します。
	メニュー言語	日本語／英語	DVDビデオのメニュー画面の言語を設定します。
	DVD-Video互換記録	する／しない	二重音声放送の番組を録画するとき、放送中の二重音声のまま録画するように設定します。「する」に設定して二重音声放送の番組を録画すると、再生時に音声を切り換えることができません。
	プログレッシブ	する／しない	DVDビデオ再生時に、画面のちらつきを抑えるように設定します。
	デジタル音声出力	ダウンミックス／ ビットストリーム	ドルビーデジタル、DTS対応のオーディオ機器を本機に接続している状態でDVDビデオを再生したときの、デジタル音声出力のフォーマットを設定します。 接続したオーディオ機器がドルビーデジタル、DTSに対応していない場合は「ダウンミックス」、対応している場合は「ビットストリーム」に設定します。
	音声のダイナミックレンジ圧縮	する／しない	視聴環境に応じて自動的に音量を調整するように設定します。
	連続再生	する／しない	VRフォーマットのDVDに録画されているタイトルのうち、選択したタイトルから日付の新しいタイトルへ順番に連続再生するように設定します。最新のタイトルを選択した場合は、選択したタイトルのみの再生となります。

1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「HDD-DVD設定」を選び、［決定］を押す

HDD-DVD設定メニューが表示されます。

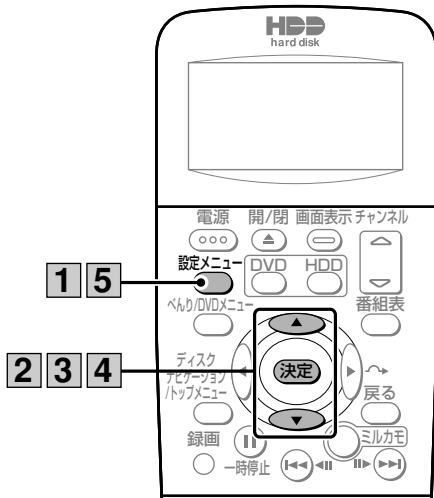
3 ［カーソル▲▼］で設定したい機能を選び、［決定］を押す

設定内容が表示されます。

4 ［カーソル▲▼］で設定したい内容を選び、［決定］を押す

選んだ内容が設定されます。

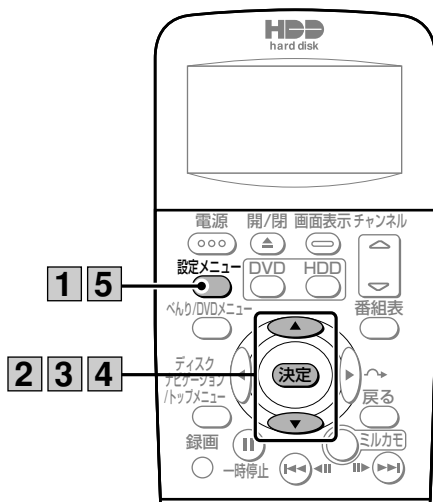
5 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- 「タイムシフト時間」、「タイムシフト録画モード」、「省電力」、「HDD初期化」はHDDのみに有効な機能です。
- 「プログレッシブ」を「する」に設定した場合、著作権保護信号によって一部のハイビジョンテレビで映像に影響が出ることがあります。このような場合は、「プログレッシブ」を「しない」に設定するか、ビデオ出力で本機をテレビに接続してください。

その他の機能を設定する

接続するテレビに関する機能を設定する

本機に接続するテレビの種類に応じて、テレビ画面の縦横比や接続端子などを設定します。

1 ［設定メニュー］を押す

機能設定画面が表示されます。

2 ［カーソル▲▼］で「TV接続設定」を選び、［決定］を押す

TV接続設定メニューが表示されます。

3 ［カーソル▲▼］で設定したい項目を選び、［決定］を押す

各項目の設定欄にカーソルが移動します。

設定項目	内　容
ワイドTV接続	本機にワイドTVを接続している場合は「する」、接続していない場合は「しない」を設定します。
16:9映像出力	16:9映像のワイド放送を4:3サイズのテレビに出力するときの映像出力を設定します。 映像の左右をカットして表示する場合は、「パンスキャン」に設定します。上下に黒帯を付けて表示する場合は、「レターボックス」に設定します。 ●「ワイドTV接続」を「する」に設定した場合、「レターボックス」は設定できません。
D端子出力設定	本機に接続するテレビのD端子の種類を設定します。

4 ［カーソル▲▼］で設定する内容を選び、［決定］を押す

各項目が設定されます。

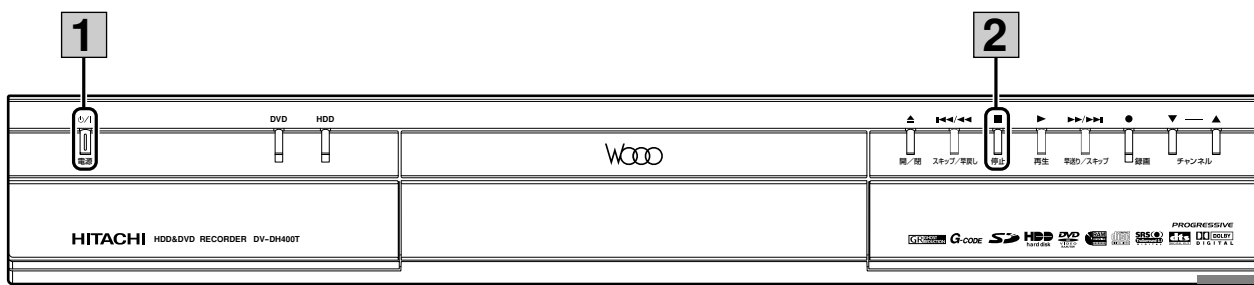
5 各項目の設定が終了したら、［設定メニュー］を押す

機能設定画面が消えます。

お知らせ

- ● D1／D2映像入力端子のあるテレビに接続する場合は、D端子をいったん外して「テレビのD映像入力端子と接続する」(㉖ページ）の接続を行ってから、「D端子出力設定」を「D1固定」または「D2自動」に設定してください。「TV接続設定」の設定が正しくないと、D映像入力端子からの映像がテレビに映りません。
- ● テレビの接続設定で「D3」を選択すると、「自動」「固定」を選択する画面になります。通常は「自動」を選択してください。お使いのテレビが「D3（1125i）固定」の場合は「固定」を選択してください。お使いのテレビ取扱説明書をご覧ください。
- ●「D端子出力設定」を「D3固定」に設定した場合、著作権保護法にの制限よって、以下のような場合はD1モードで出力されます。
  - ･DVDビデオを再生した場合
  - ･DVDへ録画したデジタル放送番組を再生した場合
  - ･「XP」、「SP」、「EP」、「LP」、のいずれかの録画モードで録画したデジタル放送を再生した場合
  - ･ライン入力の番組を視聴、録画、再生した場合

操作音が鳴らないように設定する

本機をボタン操作したときに操作音が鳴らないように設定することができます。

1 **［電源］を押す**

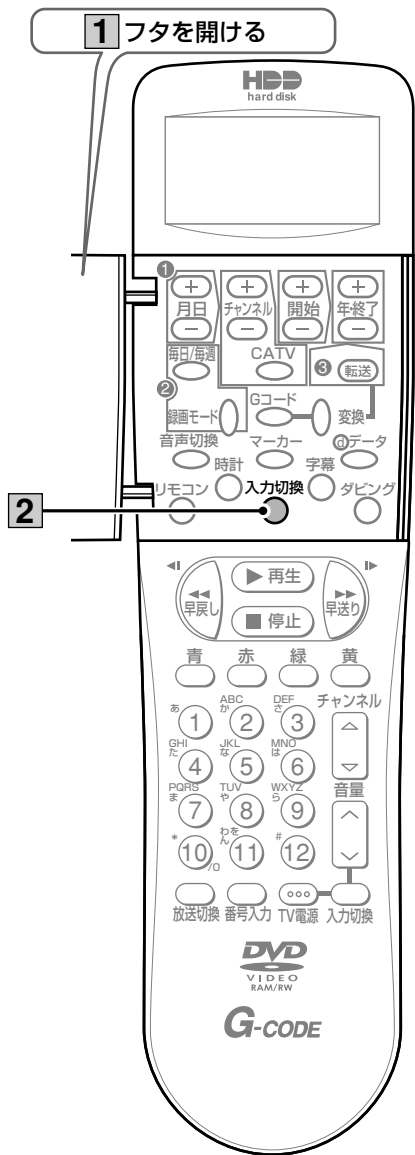
本体の電源が切れます。

2 **［停止］を押す**

本体表示窓に「B-OFF」と表示され、ボタン操作時に操作音が鳴らなくなります。

- ［停止］を押すたびに、操作音のなし（「B-OFF」）とあり（「B-ON」）が交互に切り換わります。

接続した外部機器の映像を見る

本機の映像・音声入力1／2端子（またはS1／S2映像入力端子）（㉘ページ）、外部入力3端子に接続した機器の映像を見るときは、リモコンのフタを開けて操作します。

1 リモコンのフタを開ける

2 ［入力切換］を押して、接続した外部機器を選ぶ

［入力切換］を押すたびに、L2→L3→L1の順に切り換わります

設定項目	内容
L1	背面の映像・音声入力1端子（またはS1映像入力端子）に接続した機器の映像を見るときは、L1に切り換えます。
L2	背面の映像・音声入力2端子（またはS2映像入力端子）に接続した機器の映像を見るときは、L2に切り換えます。
L3	前面の外部入力3端子に接続した機器の映像を見るときは、L3に切り換えます。

3 選んだ外部機器を操作する

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買上げの販売店へ

なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

受付時間　365日／9：00～19：00

ハイビジョンHDD/DVDレコーダー商品情報

http://av.hitachi.co.jp/

商品情報やお取り扱いについてのご相談は安心コールセンターへ

TEL 0120-122-790

または

TEL 045-869-5923

（通話料金はお客様のご負担となります）

受付時間　10：00～20：00（平日）
10：00～17：30（土日、祝日）

年始年末は休ませていただきます。

付録